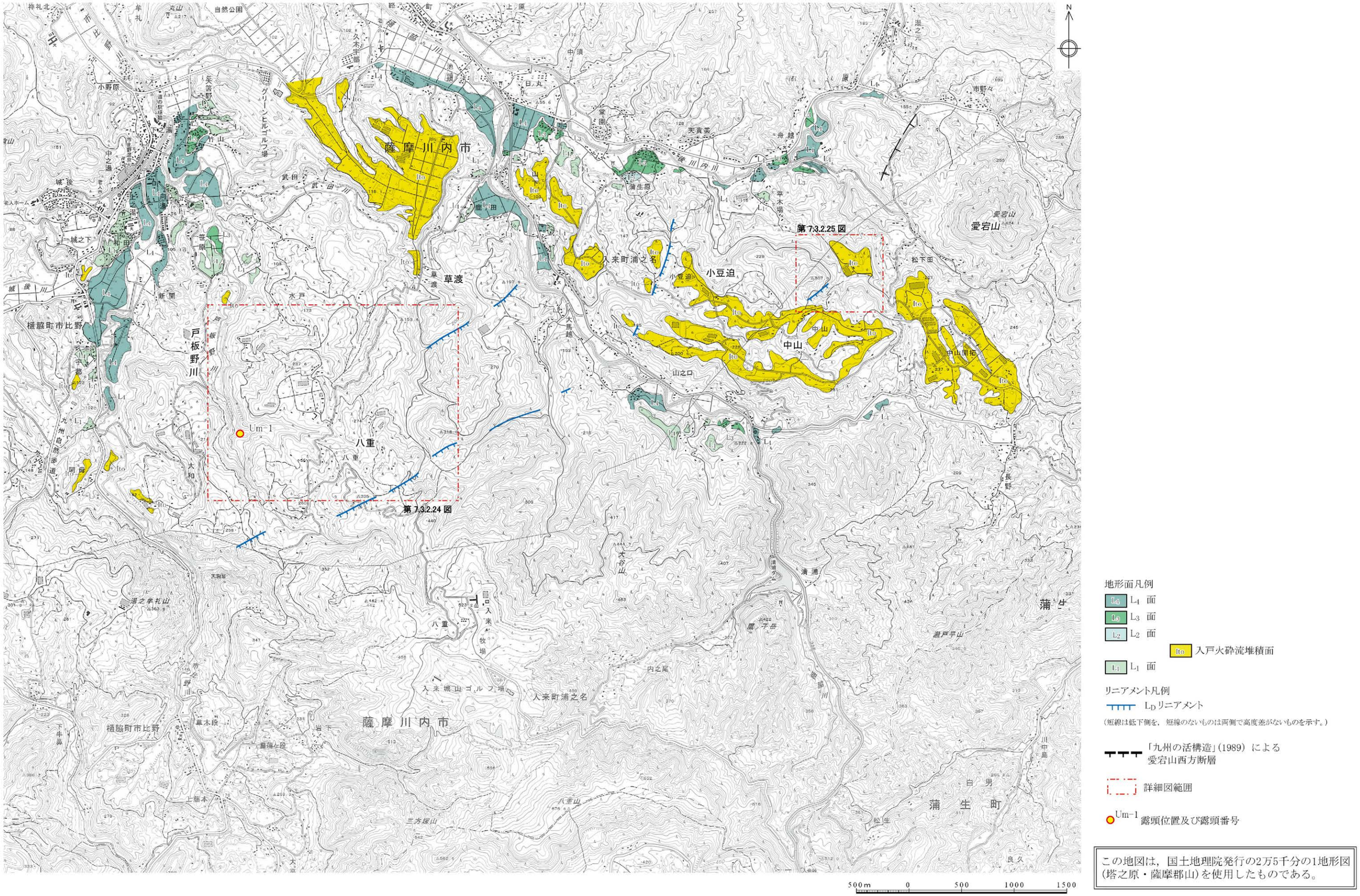
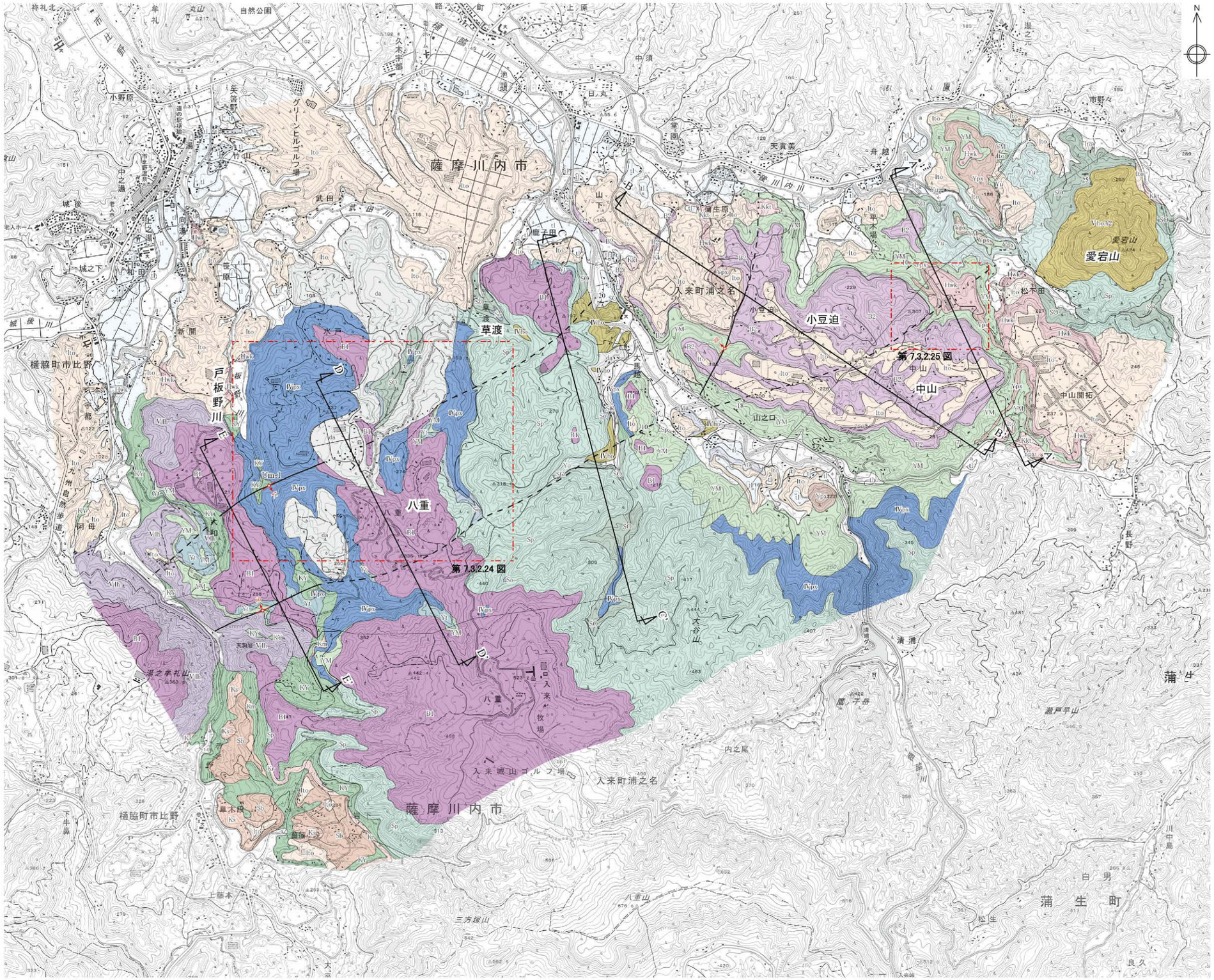


第 7.3.2.20 図　浦之名断層系周辺の空中写真判読図



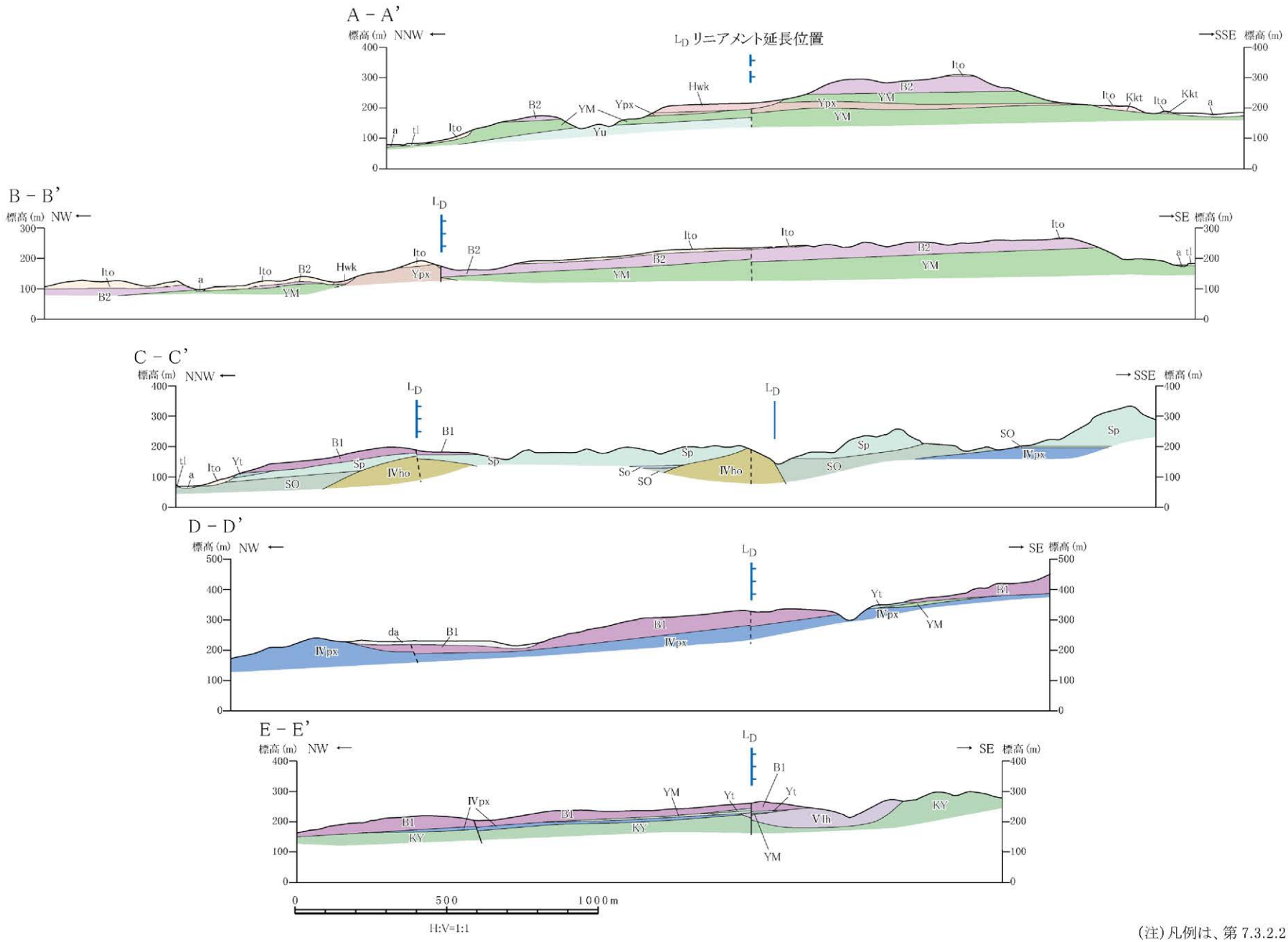
凡　例

- a　沖積層
- tl　低位段丘堆積物
- Ito　入戸火砕流堆積物
- Ata　阿多火砕流堆積物
- Kkt　加久藤火砕流堆積物
- Hwk　樋脇火砕流堆積物
- da　岩屑なだれ堆積物
- B2　川内玄武岩2（溶岩）
- B1　川内玄武岩1（溶岩）
  - } 川内玄武岩類
- Yu　八重山火砕流堆積物
- Ypx　輝石安山岩溶岩
- YM　山之口層
- VhoA2　愛宕山角閃石安山岩溶岩
- Vih　市比野玄武岩質火砕岩類
  - } 北薩火山岩類Ⅴ
- Sp　三方塚山火砕流堆積物
- Yu　湯之元火砕流堆積物
- So　草渡火砕流堆積物
- SO　草渡層
- IVpx　輝石安山岩溶岩
- IVho　角閃石安山岩溶岩
  - } 北薩火山岩類Ⅳ
- Ks　草木段火砕流堆積物
- Km　楠元火砕流堆積物
- Sb　菖蒲ヶ段火砕流堆積物
- KY　郡山層
- Kr　倉野火砕流堆積物

Um-1　断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
14　層理面の走向・傾斜
地質境界
断層（破線は推定，点線は伏在）
A　A'　断面線位置及び番号
詳細図範囲

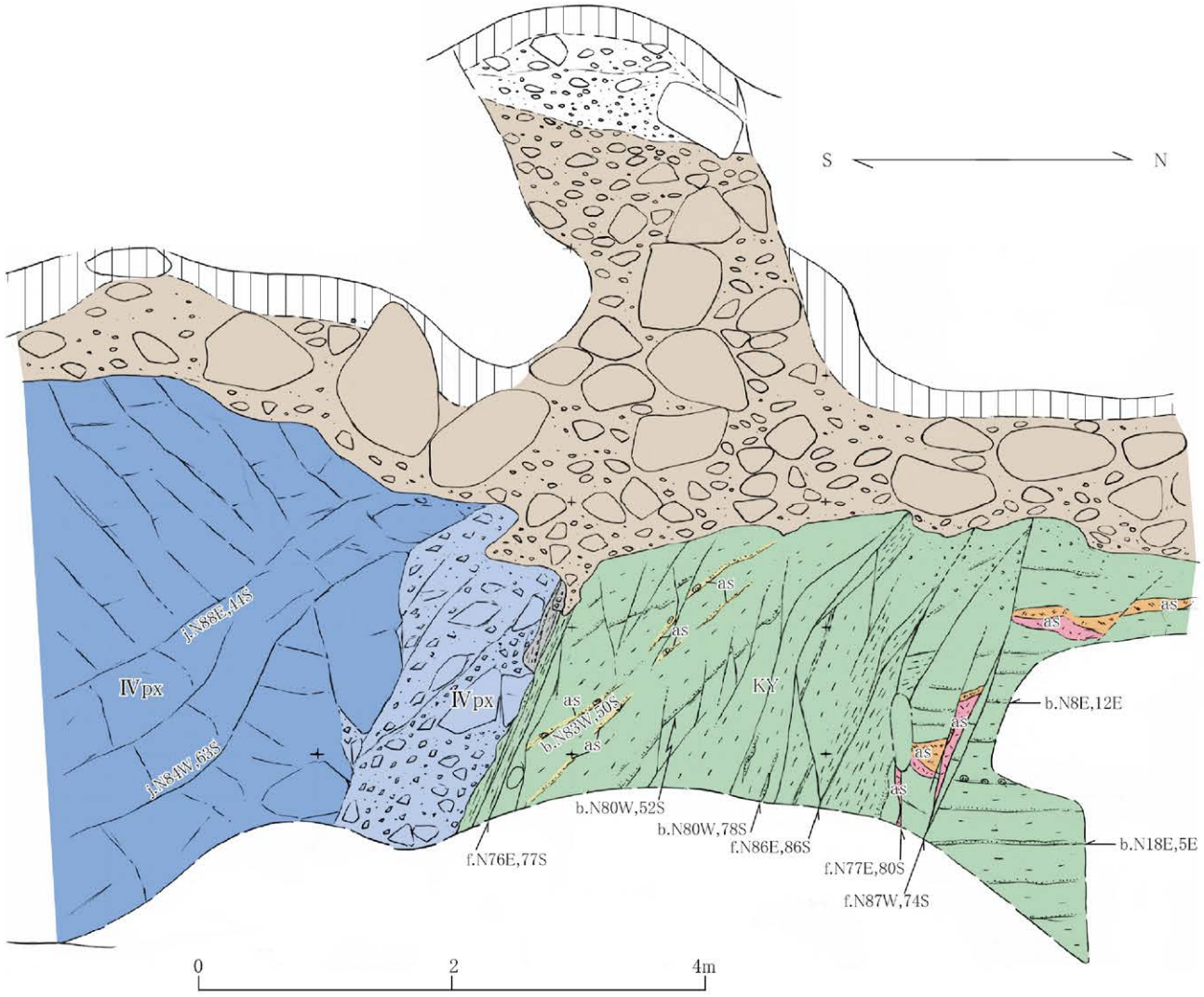
この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図（塔之原・薩摩郡山）を使用したものである。

第 7.3.2.21 図　浦之名断層系周辺の地質図



(注)凡例は、第 7.3.2.21 図を参照。

第 7.3.2.22 図　浦之名断層系周辺の地質断面図

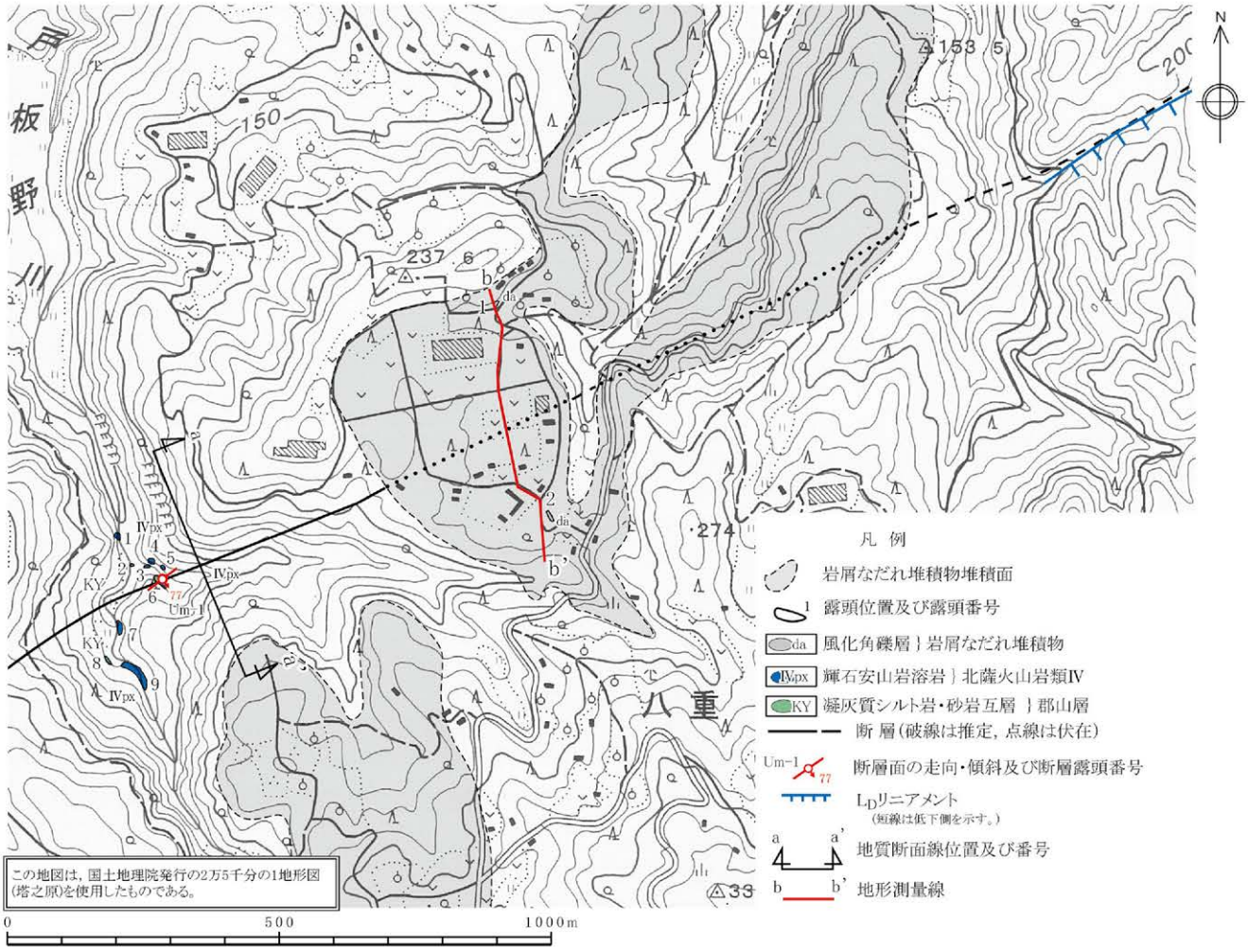


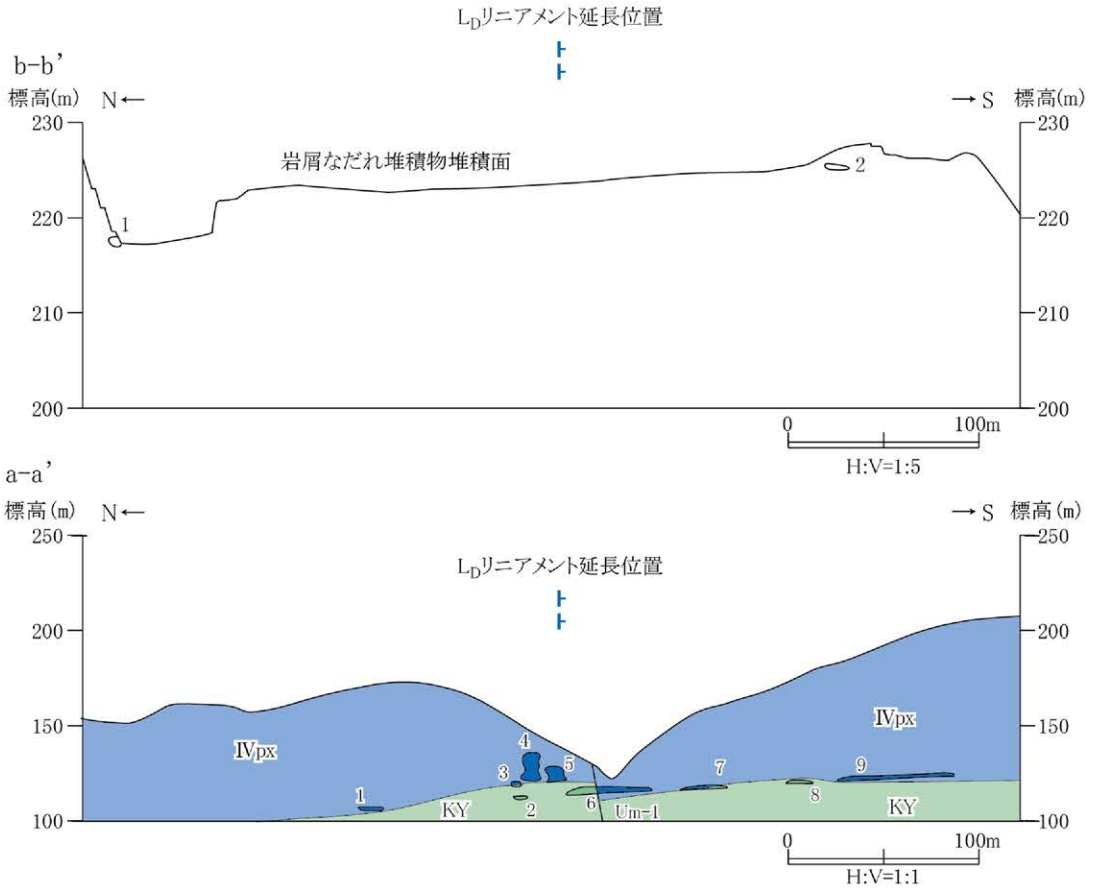
南側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅳ）と北側の郡山層とを境する正断層。
郡山層の凝灰質シルト岩中の断層面は，平面的であるが，癒着しており，破砕部は認められない。輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅳ）と郡山層とを境する断層面沿いには，安山岩・シルト岩擾乱部が認められるものの，固結している。

凡例
- 黒色土壌
- 不淘汰礫層
- 亜円礫層 } 段丘堆積物
- IVpx 塊状輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅳ
- IVpx 輝石安山岩自破砕状溶岩 } 北薩火山岩類Ⅳ
- as 火山灰層 } 郡山層
- KY 凝灰質シルト岩 } 郡山層
- 安山岩・シルト岩擾乱部

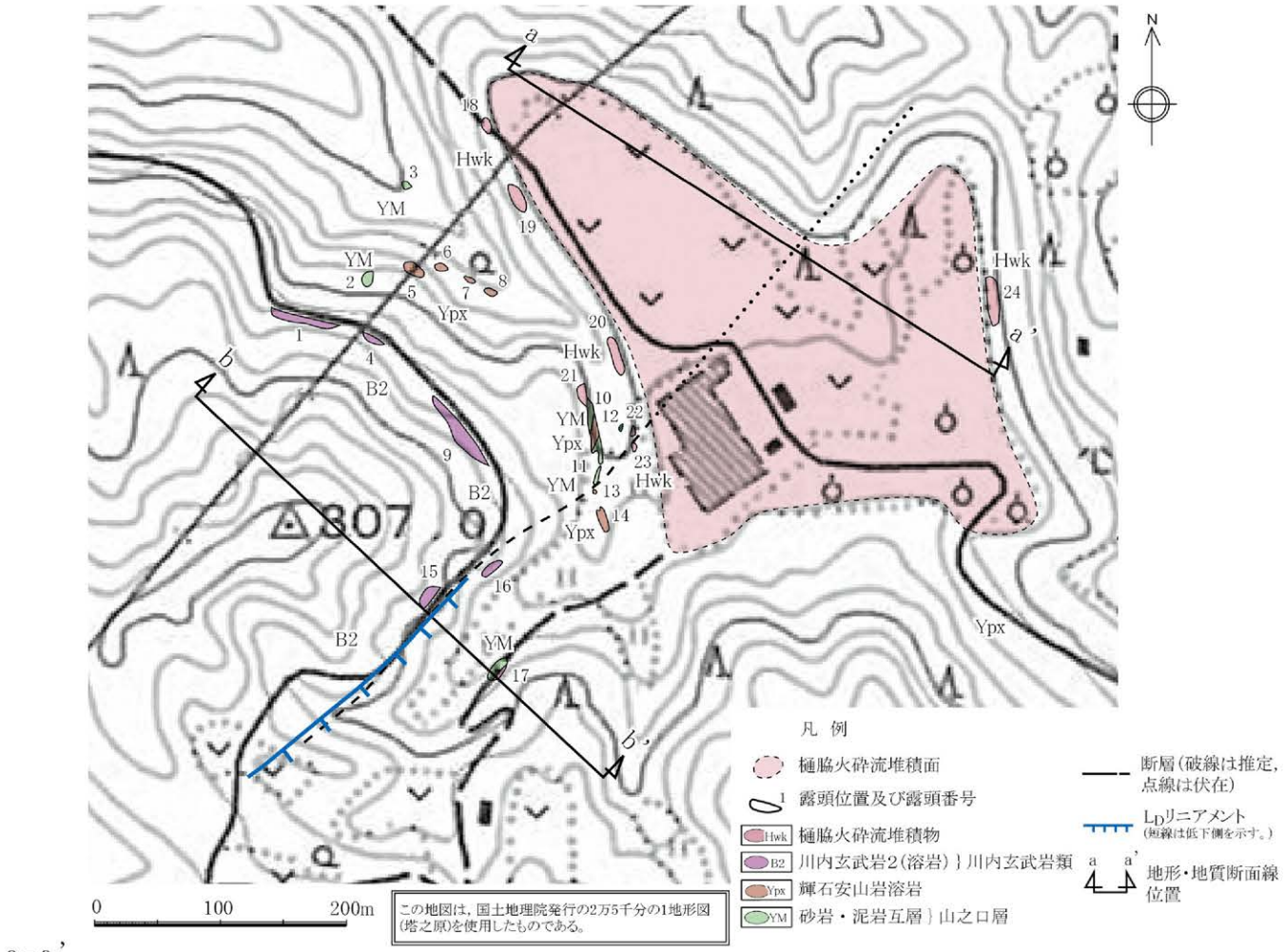
f.N77E,80S 断層面の走向・傾斜
j.N88E,44S 節理面の走向・傾斜
b.N83W,50S 層理面の走向・傾斜

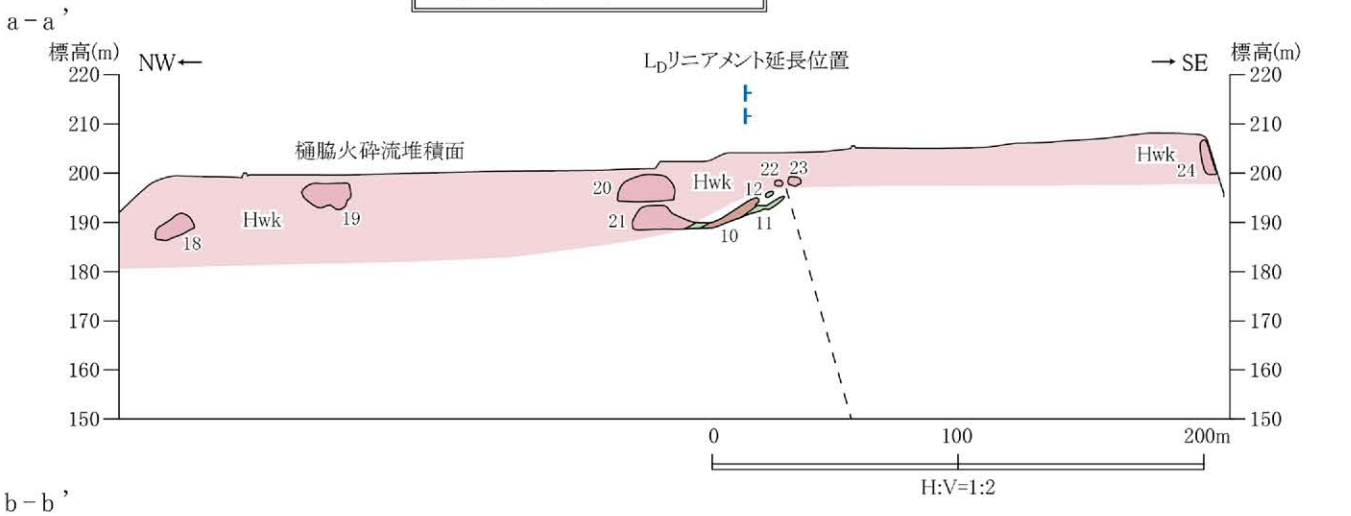
第 7.3.2.23 図　露頭スケッチ（Loc.Um-1，薩摩川内市戸板野川支流左岸）

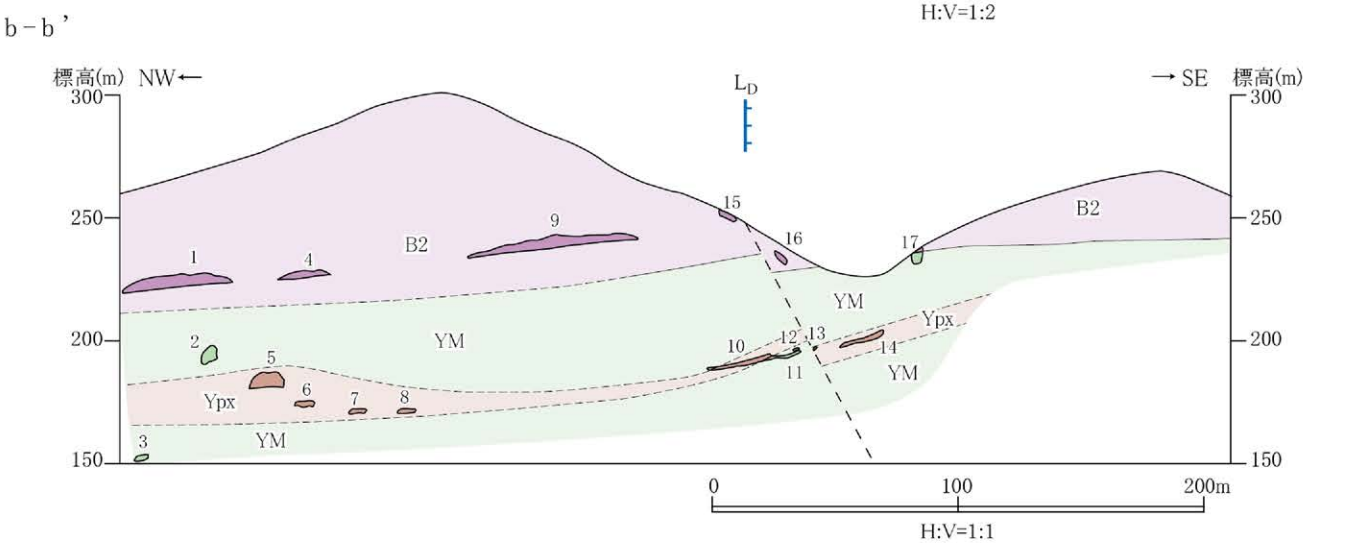




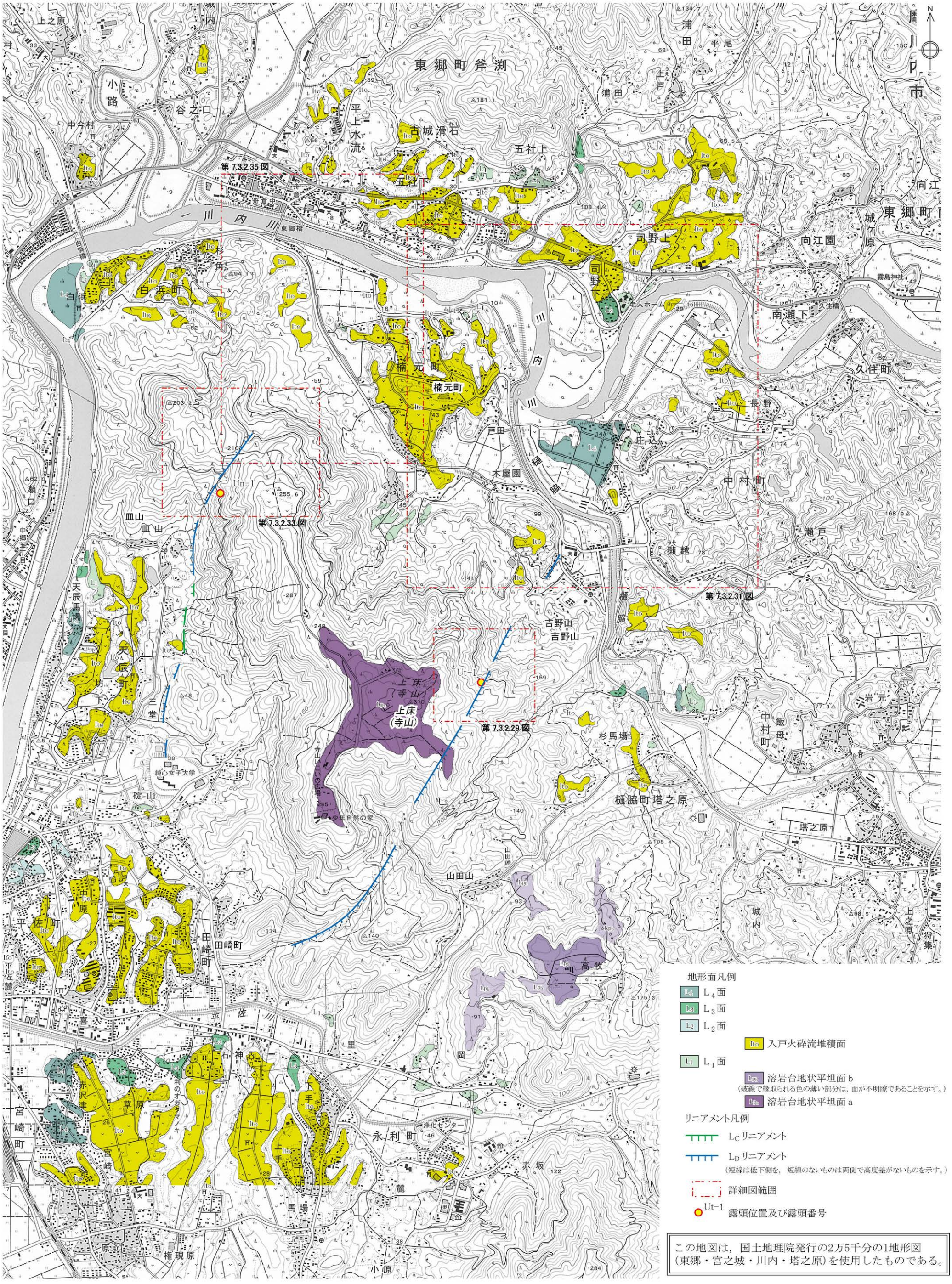
第 7.3.2.24 図　ルートマップ及び地形・地質断面図（薩摩川内市八重付近）



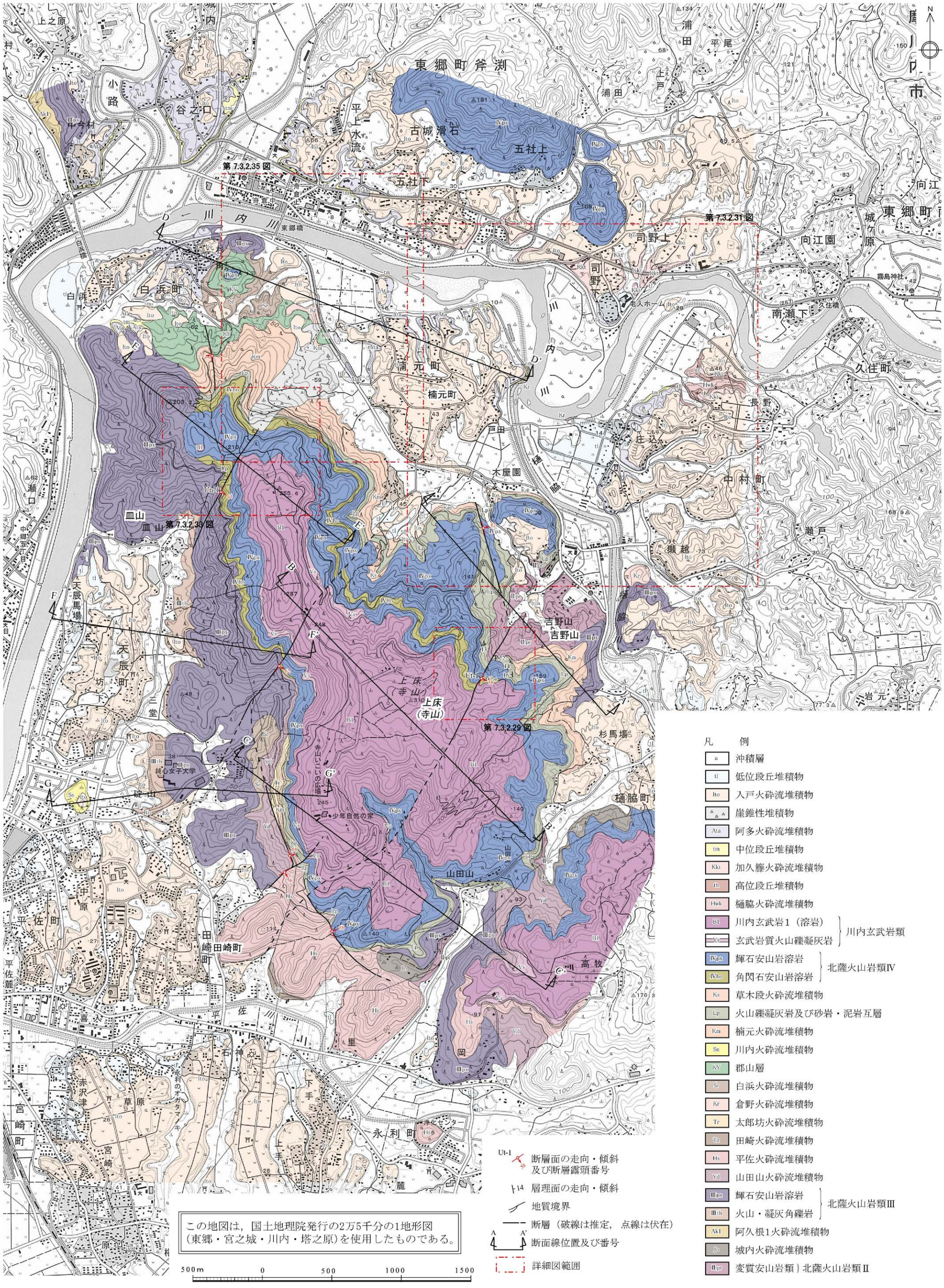




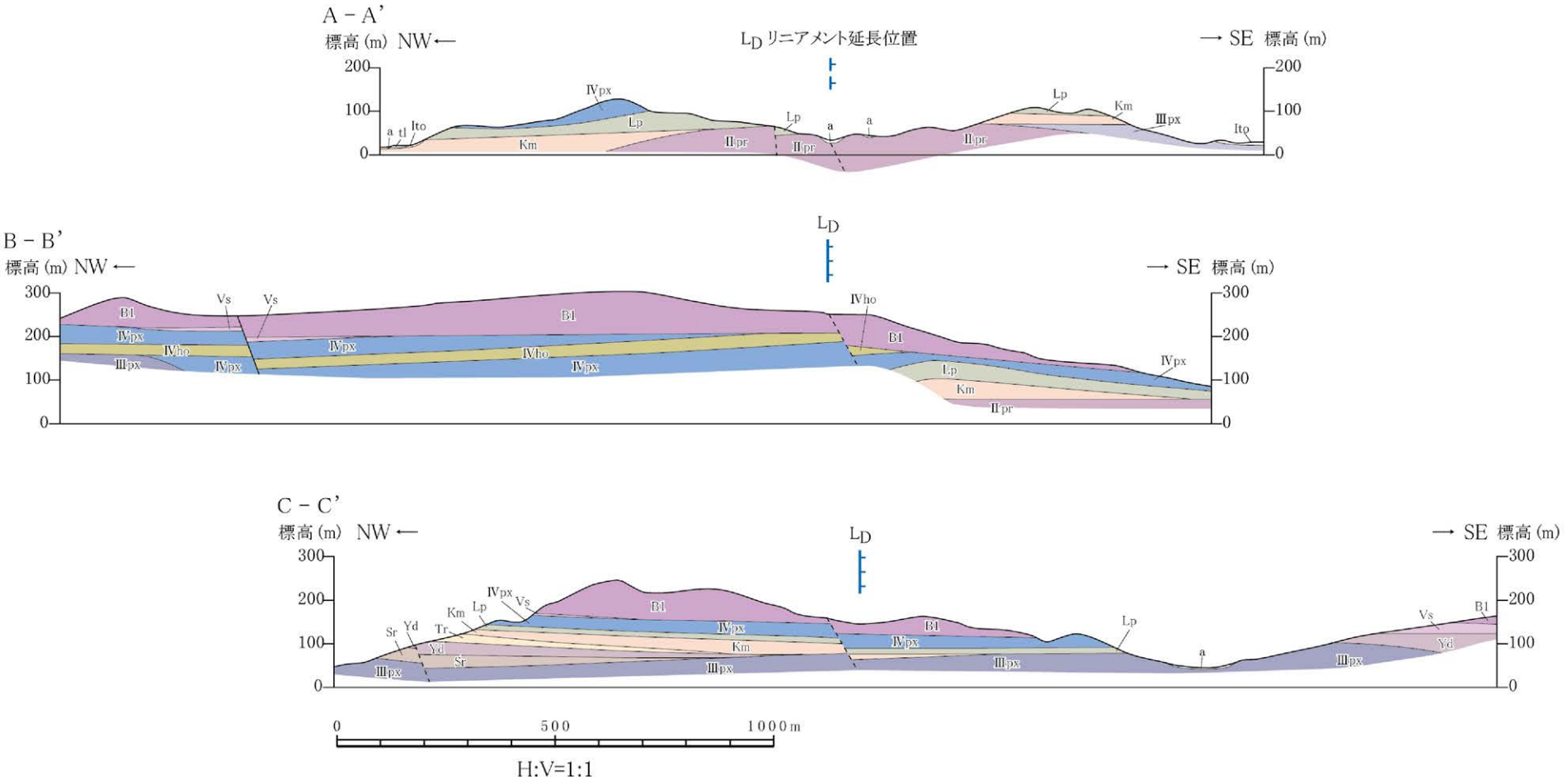
第 7. 3. 2. 25 図　ルートマップ及び地形・地質断面図（薩摩川内市中山北方付近）



第 7.3.2.26 図　上床断層及び上床西リニアメント周辺の空中写真判読図

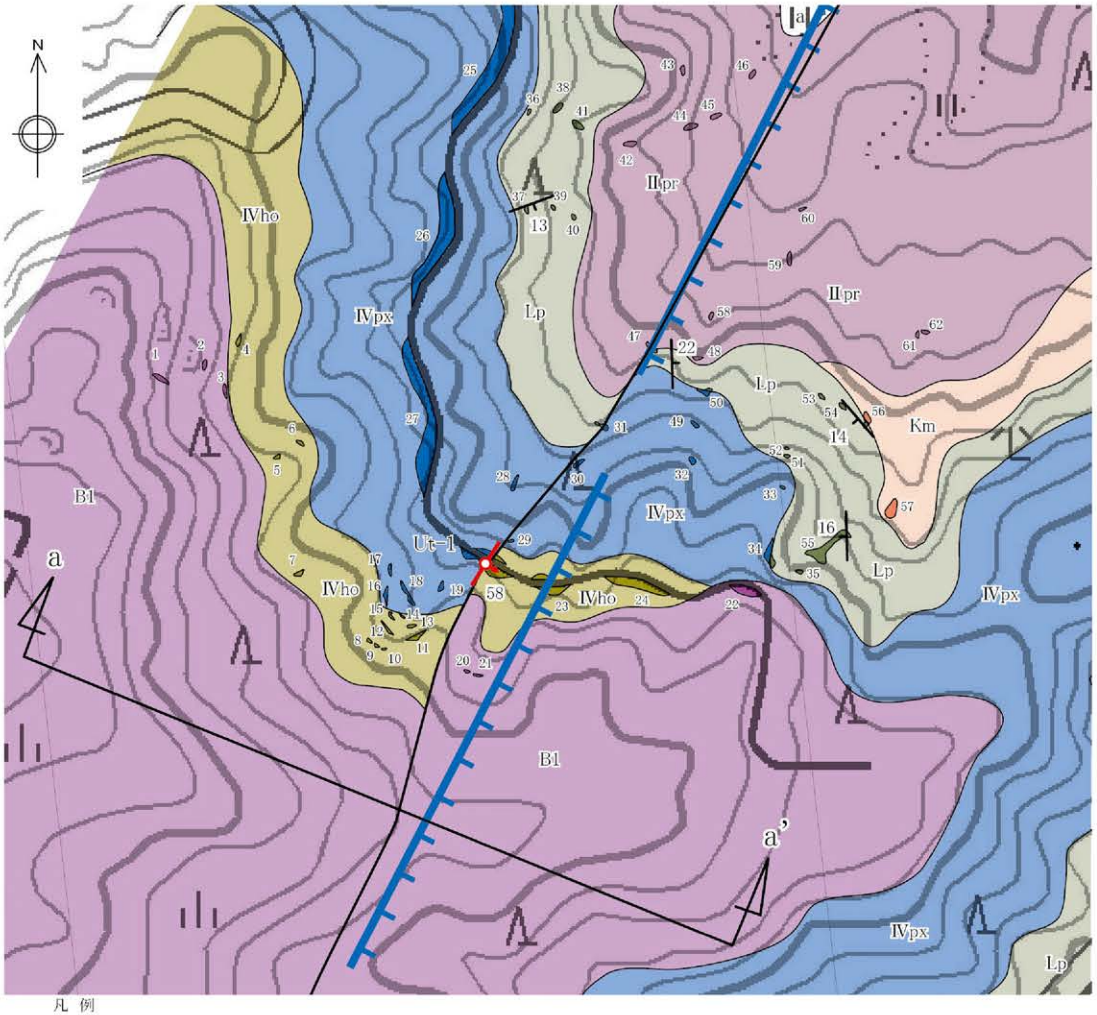


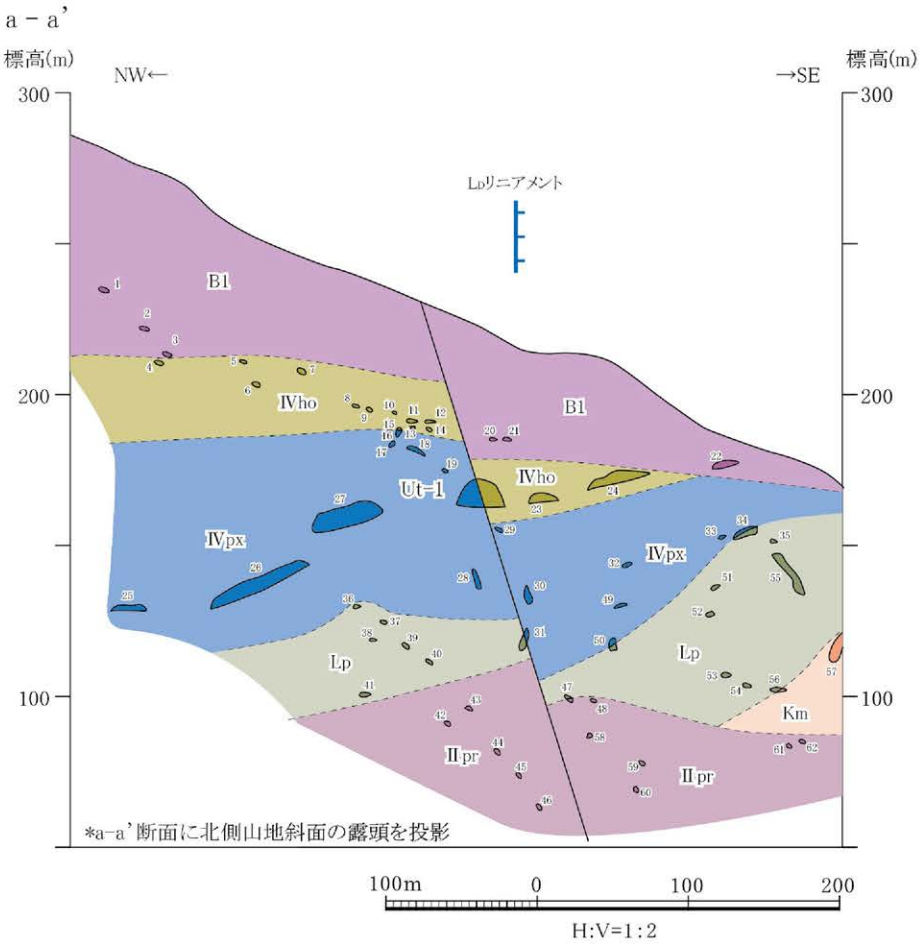
第 7.3.2.27 図　上床断層及び上床西リニアメント周辺の地質図



（注）凡例は、第 7.3.2.27 図を参照。

第 7. 3. 2. 28 図　上床断層周辺の地質断面図





凡例

a	沖積層
B1	川内玄武岩1(溶岩)｝川内玄武岩類
IVho	角閃石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅳ
IVpx	輝石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅳ
Lp	火山礫凝灰岩及び砂岩・泥岩互層
Km	楠元火砕流堆積物
IIpr	変質安山岩類｝北薩火山岩類Ⅱ

16 層理面の走向・傾斜

58 断層面の走向・傾斜

LDリニアメント (短線は低下側を示す。)

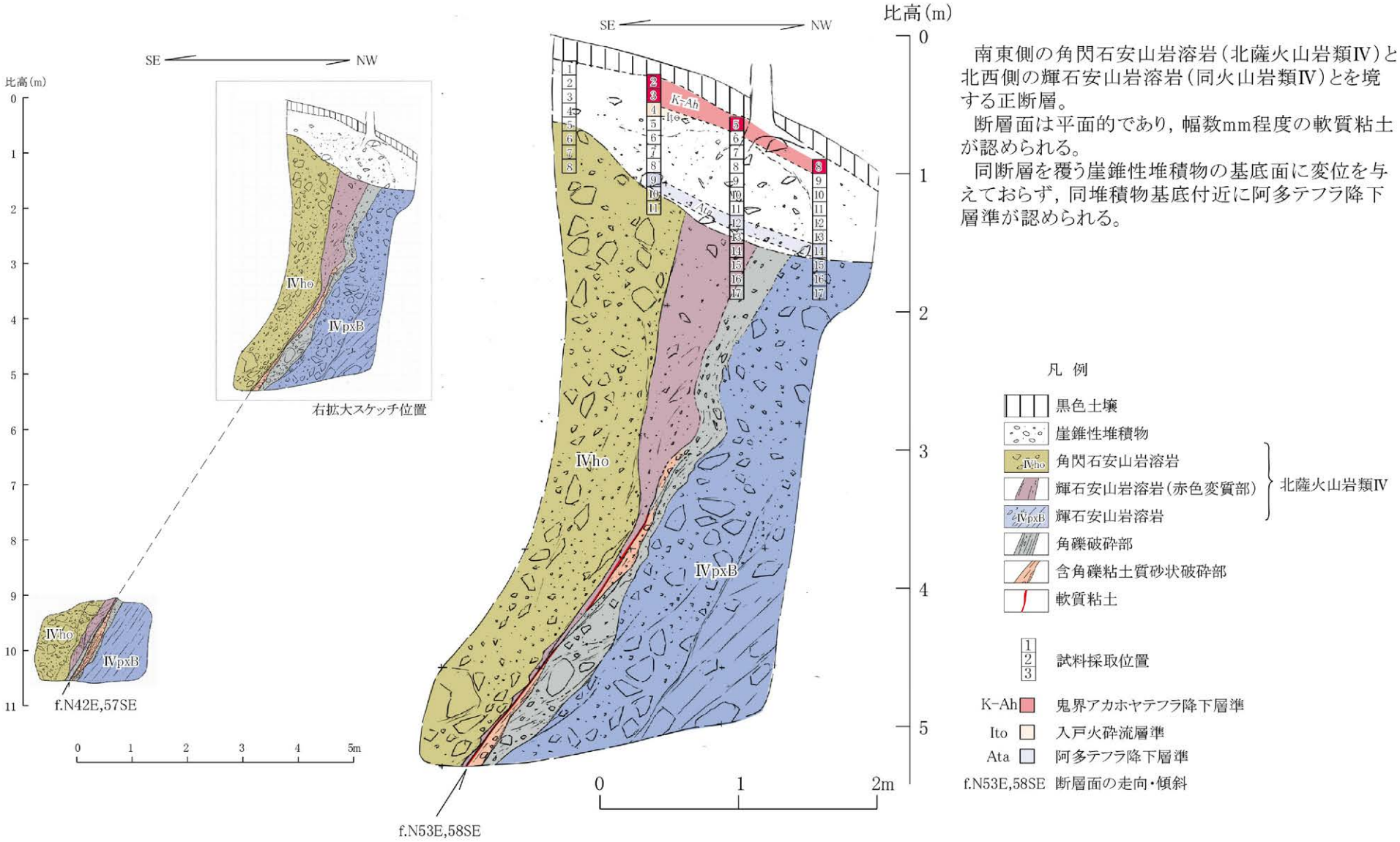
a a' 地質断面線位置

1 露頭位置及び露頭番号

100m 0 100 200

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

第 7.3.2.29 図　ルートマップ・地質断面図（薩摩川内市吉野山南方付近）

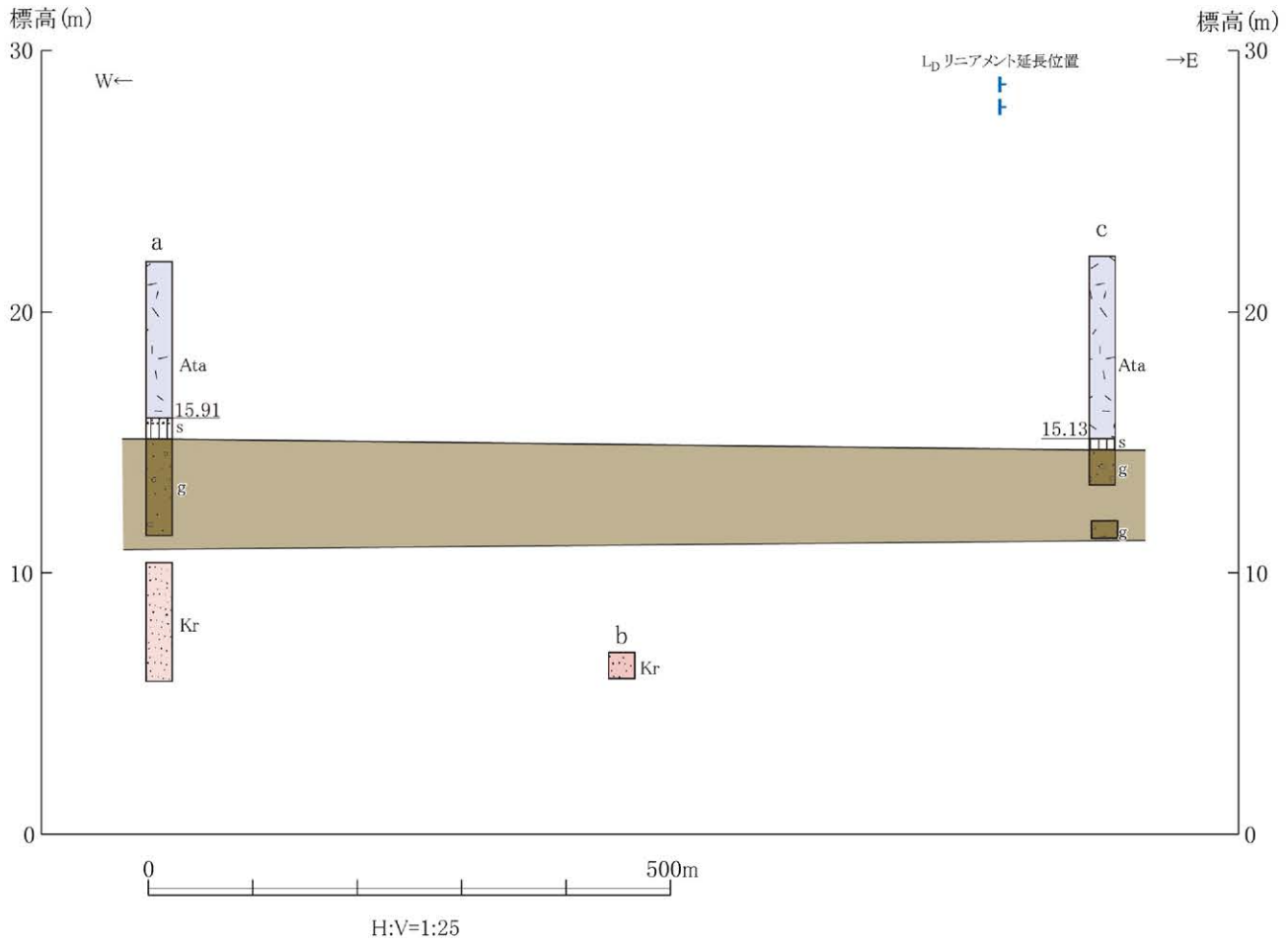


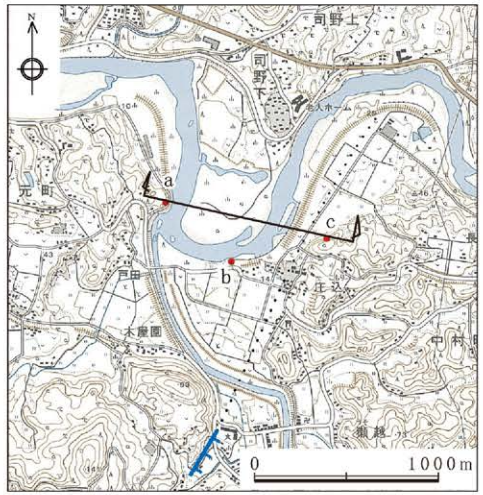
南東側の角閃石安山岩溶岩(北薩火山岩類Ⅳ)と北西側の輝石安山岩溶岩(同火山岩類Ⅳ)とを境する正断層。

断層面は平面的であり，幅数mm程度の軟質粘土が認められる。

同断層を覆う崖錐性堆積物の基底面に変位を与えておらず，同堆積物基底付近に阿多テフラ降下層準が認められる。

第 7.3.2.30 図　露頭スケッチ（Loc. Ut-1，薩摩川内市吉野山南方）





この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

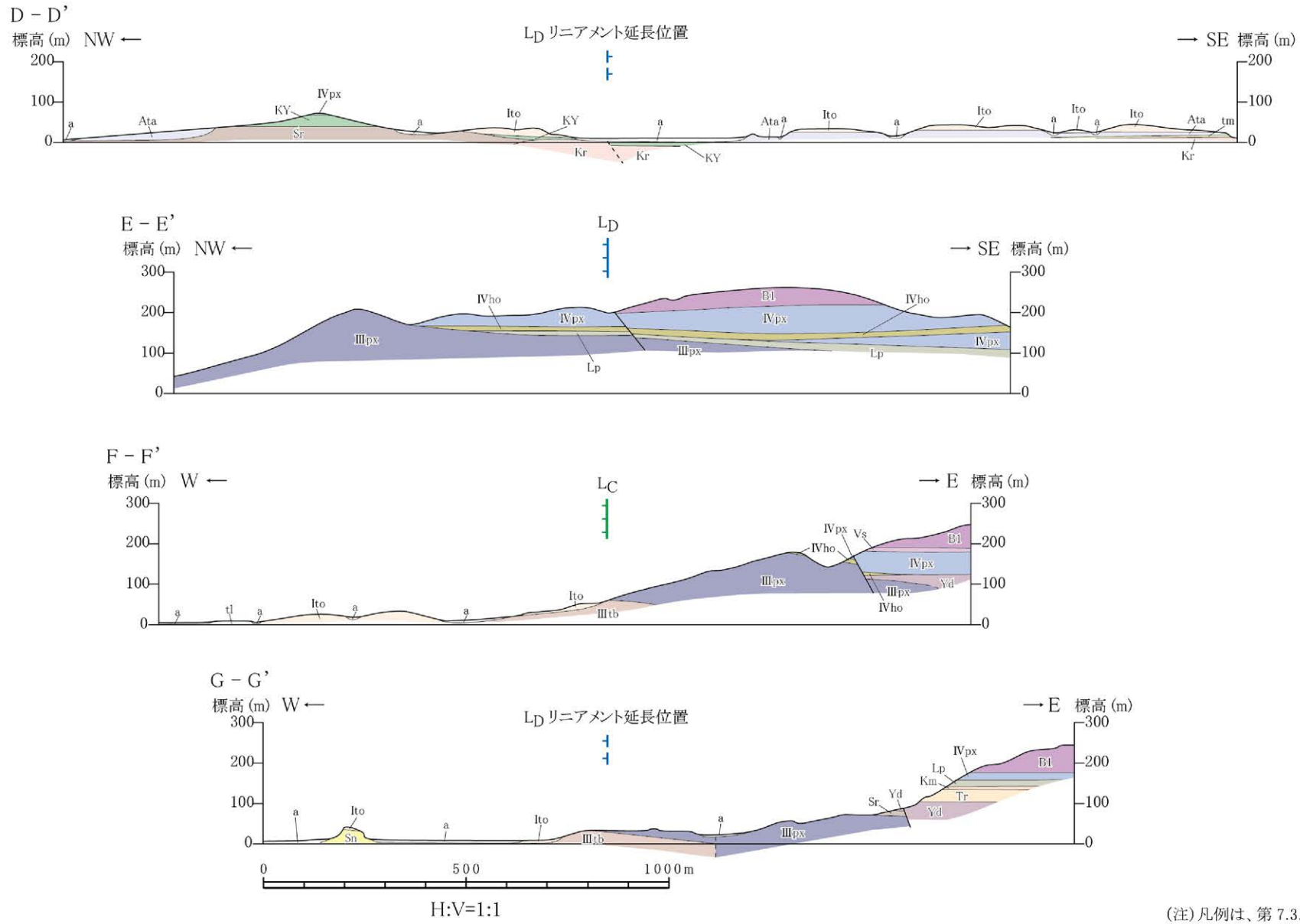
凡例

- Ata 阿多火砕流堆積物
- s 土壌化帯
- g 礫層｝中位段丘堆積物
- Kr 倉野火砕流堆積物
- a 柱状作成位置・番号
- 断層(破線は推定，点線は伏在)

リニアメント凡例

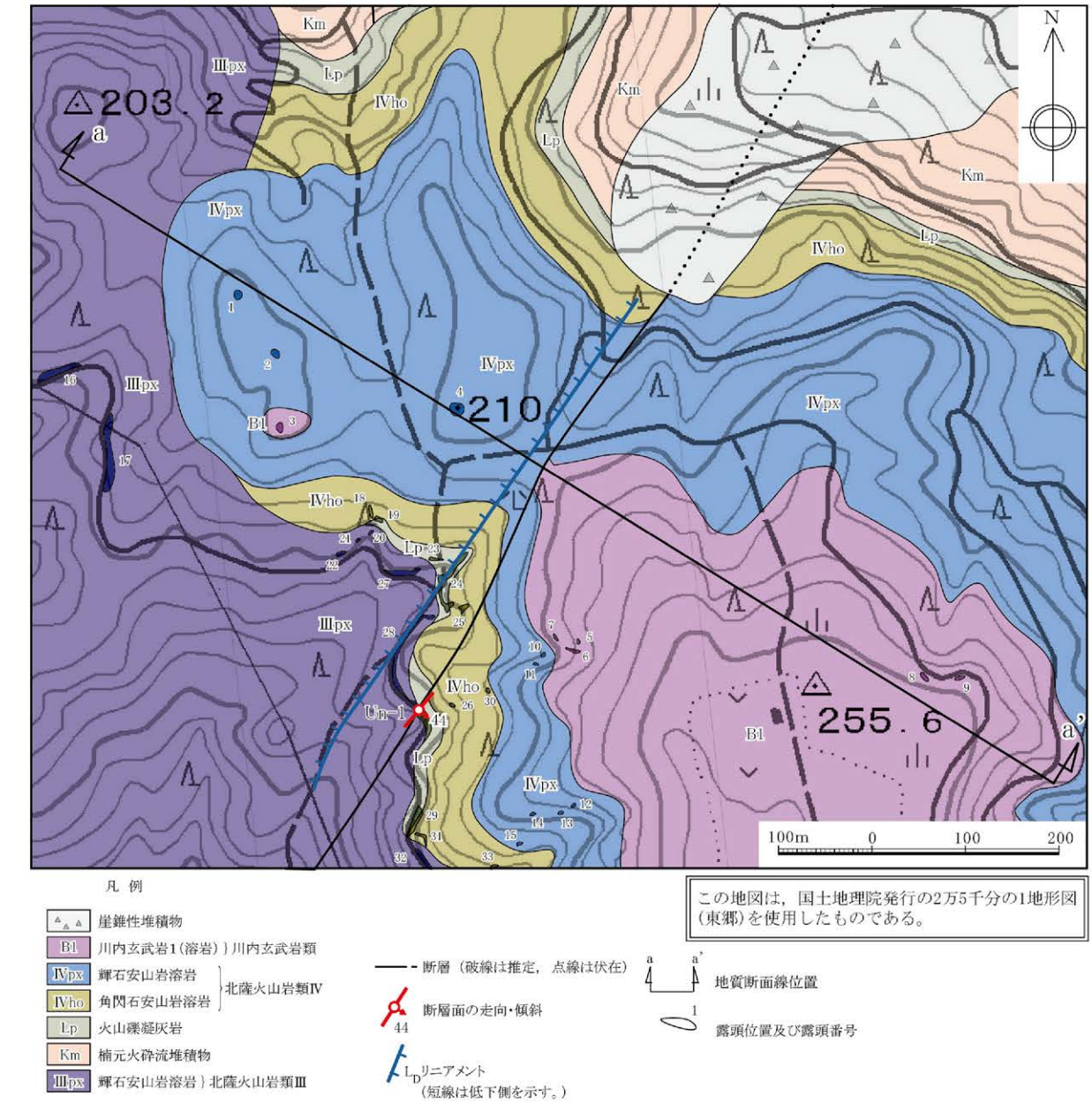
- L_Dリニアメント
  (短線は低下側を示す。)

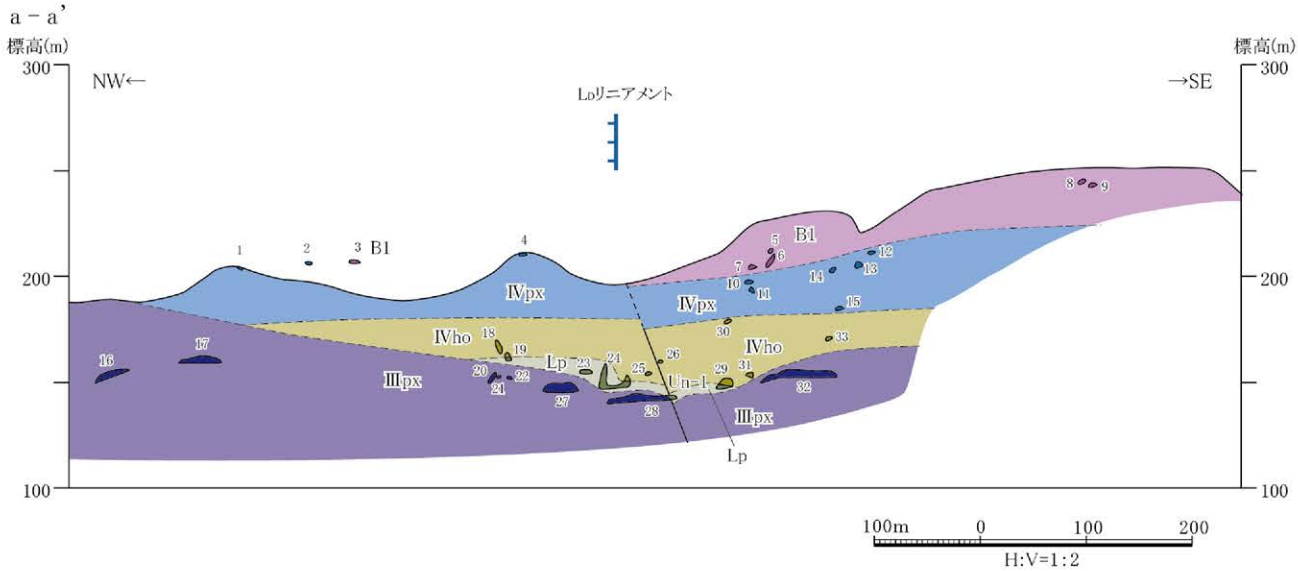
第 7.3.2.31 図　薩摩川内市戸田－庄込間の柱状対比



(注) 凡例は、第 7.3.2.27 図を参照。

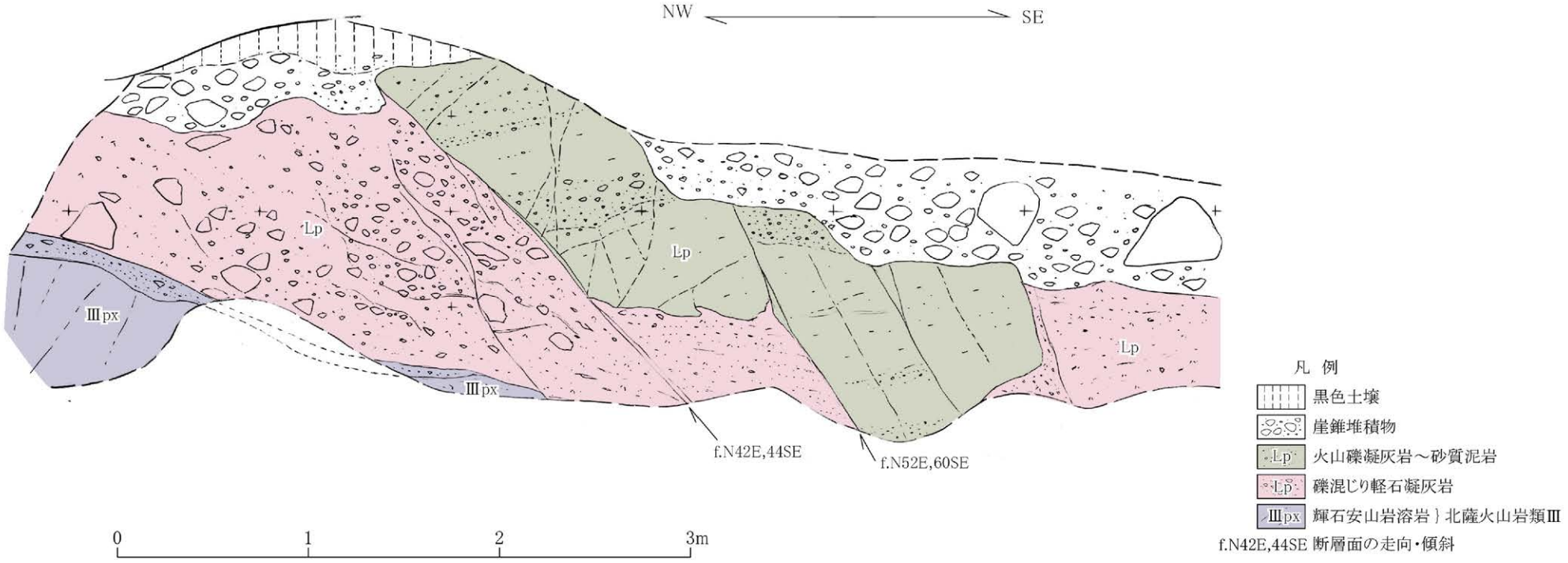
第 7.3.2.32 図　上床西リニアメント周辺の地質断面図



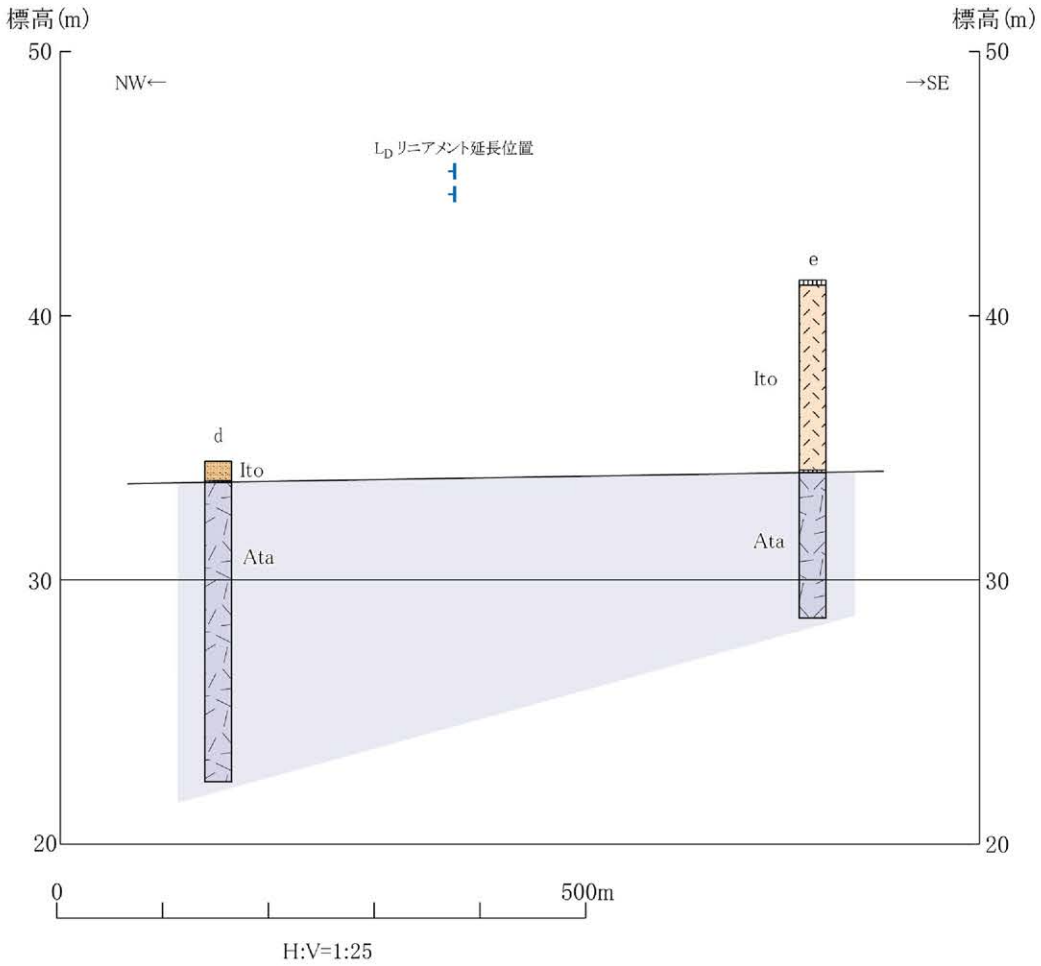


第 7.3.2.33 図　ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市皿山北東付近)

輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅲ）並びにその上位の礫混じり軽石凝灰岩及び火山礫凝灰岩～砂質泥岩に，いずれも南東落ちの変位を与える数条の正断層。
いずれの断層面も平面的であるが，癒着している。また，断層面近傍の破砕も認められない。



第 7.3.2.34 図　露頭スケッチ（Loc.Un-1，薩摩川内市皿山北東）

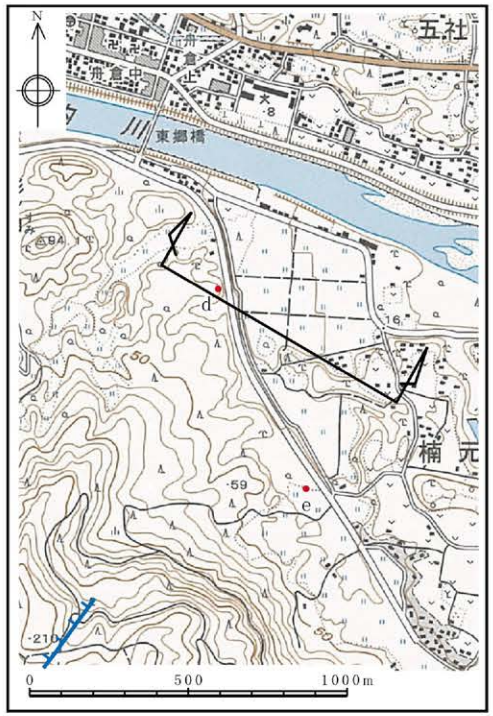


凡 例

- Ito 入戸火砕流二次堆積物
- Ito 入戸火砕流堆積物
- 茶褐色土壌
- Ata 阿多火砕流堆積物
- d 柱状作成位置・番号

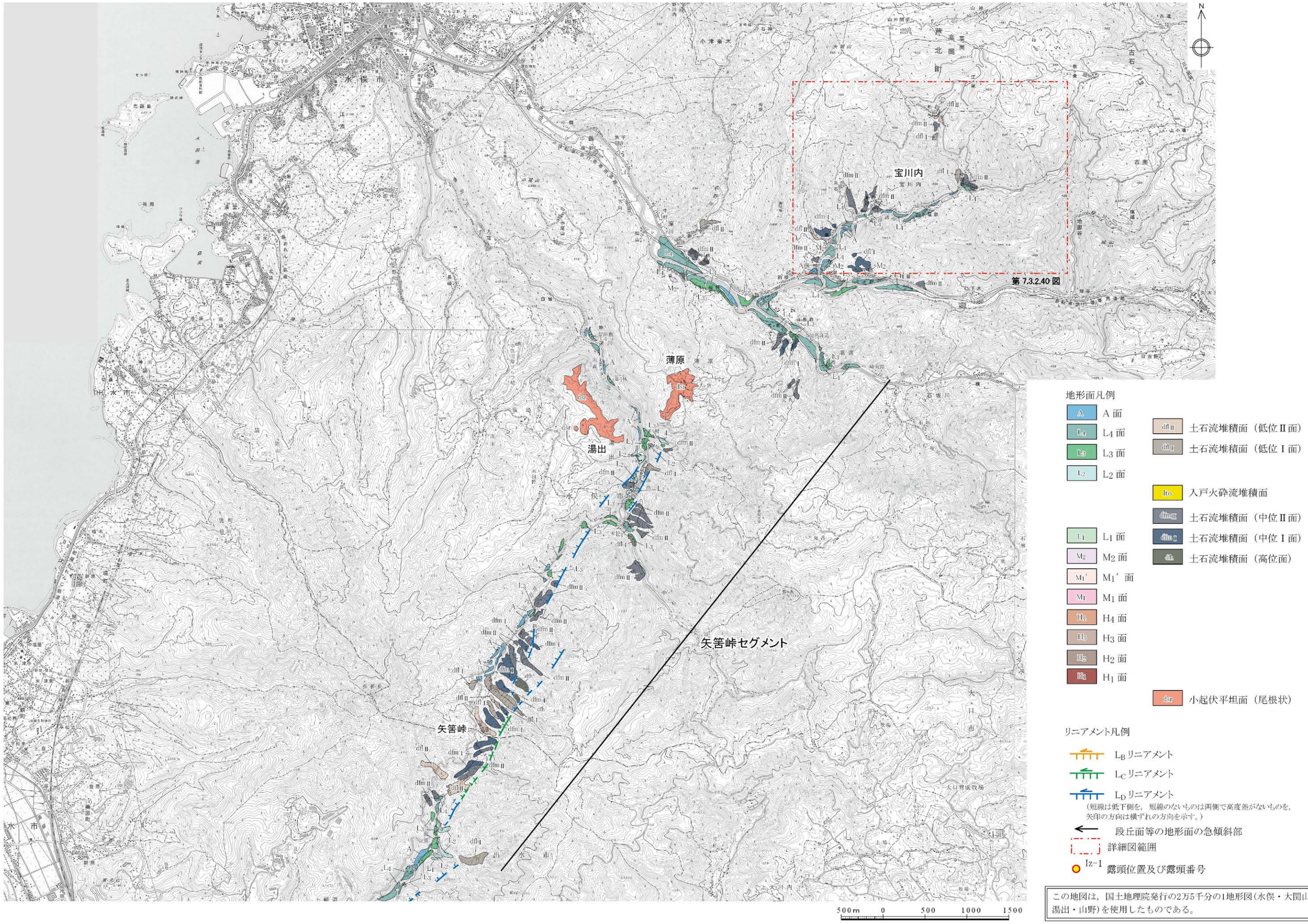
リニアメント凡例

- L_Dリニアメント (短線は低下側を示す。)

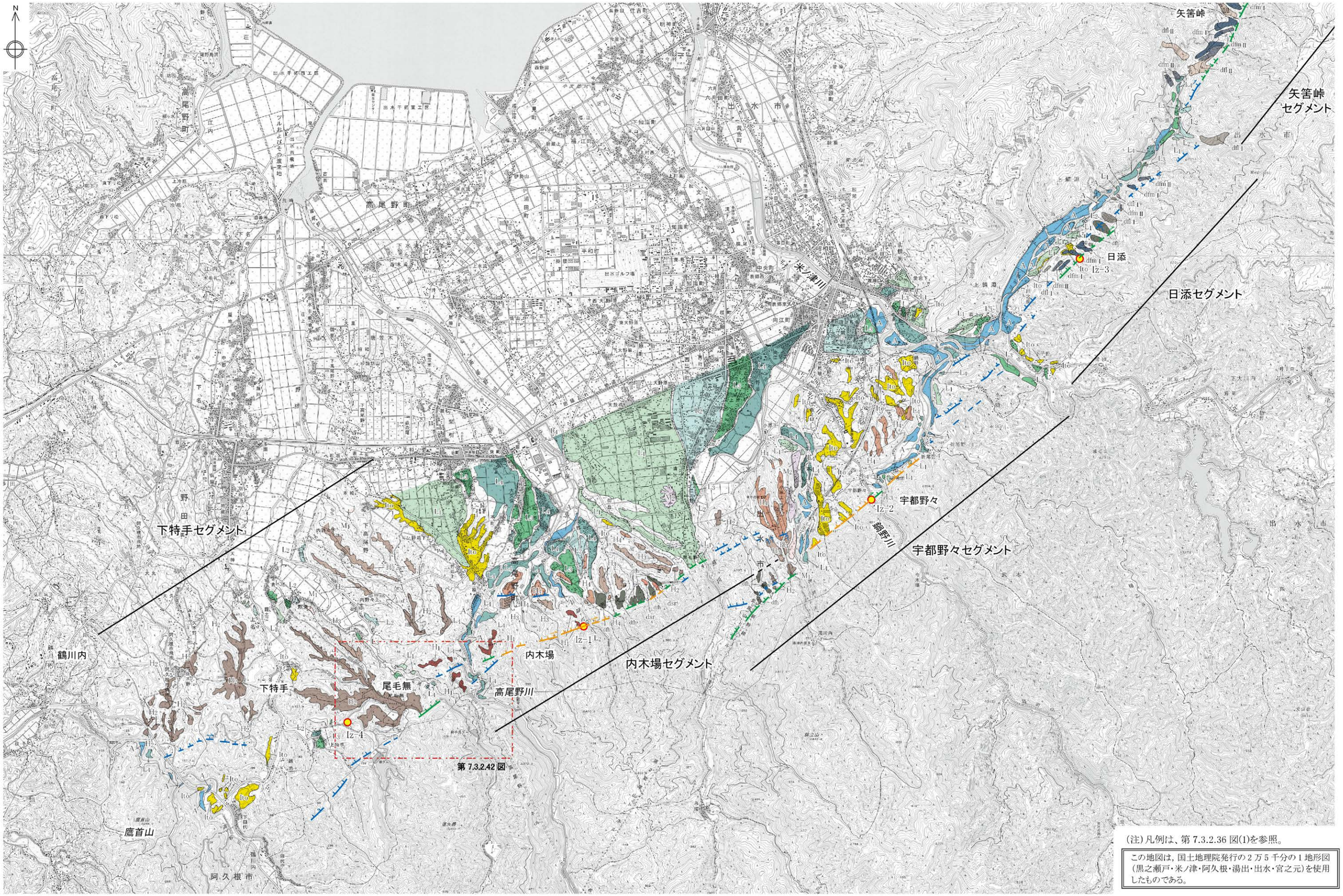


この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

第 7.3.2.35 図　薩摩川内市白浜町－楠元町間の柱状対比



第 7.3.2.36 図(1)　出水断層系周辺の空中写真判読図（北部）

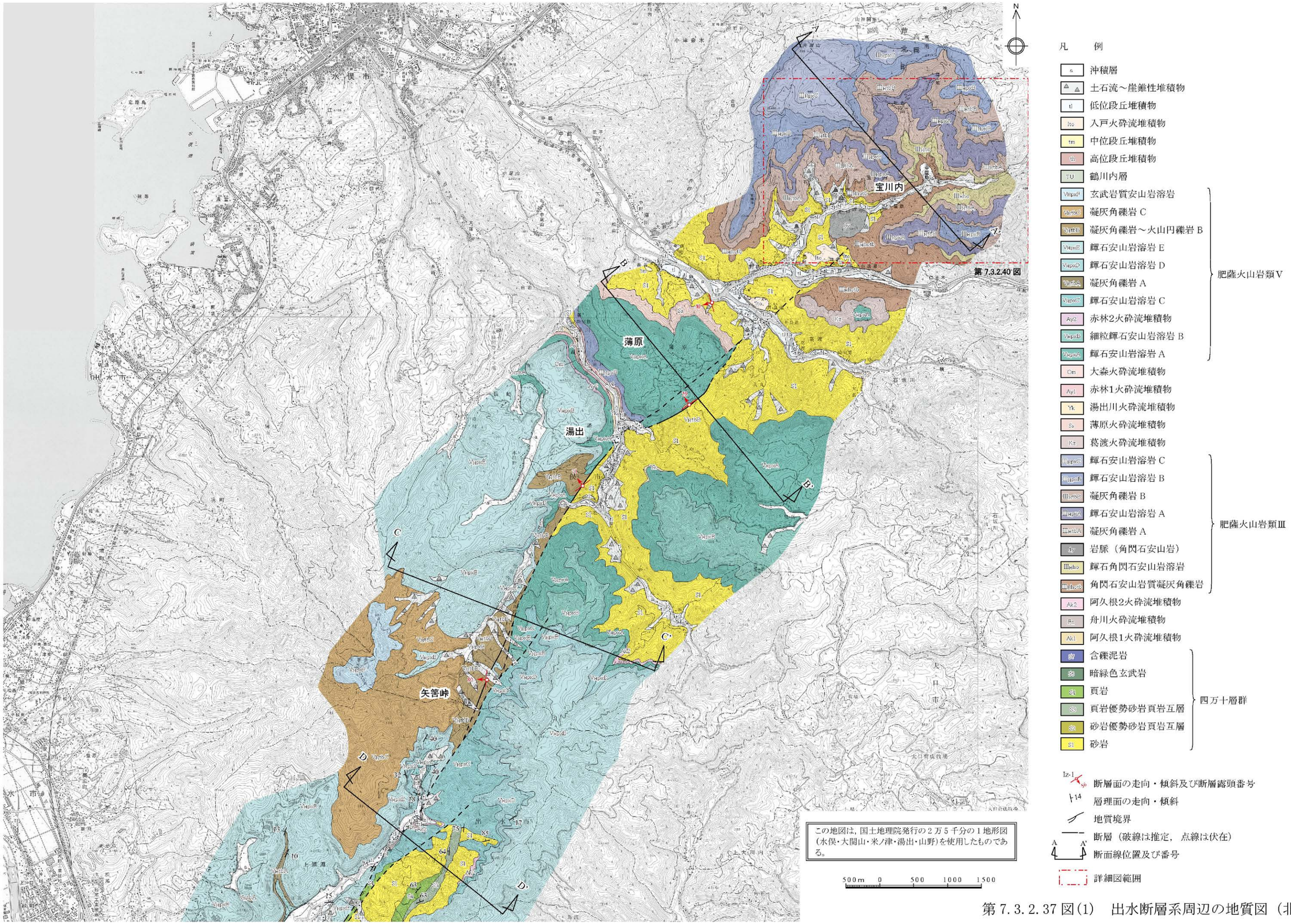


(注) 凡例は、第 7.3.2.36 図(1)を参照。

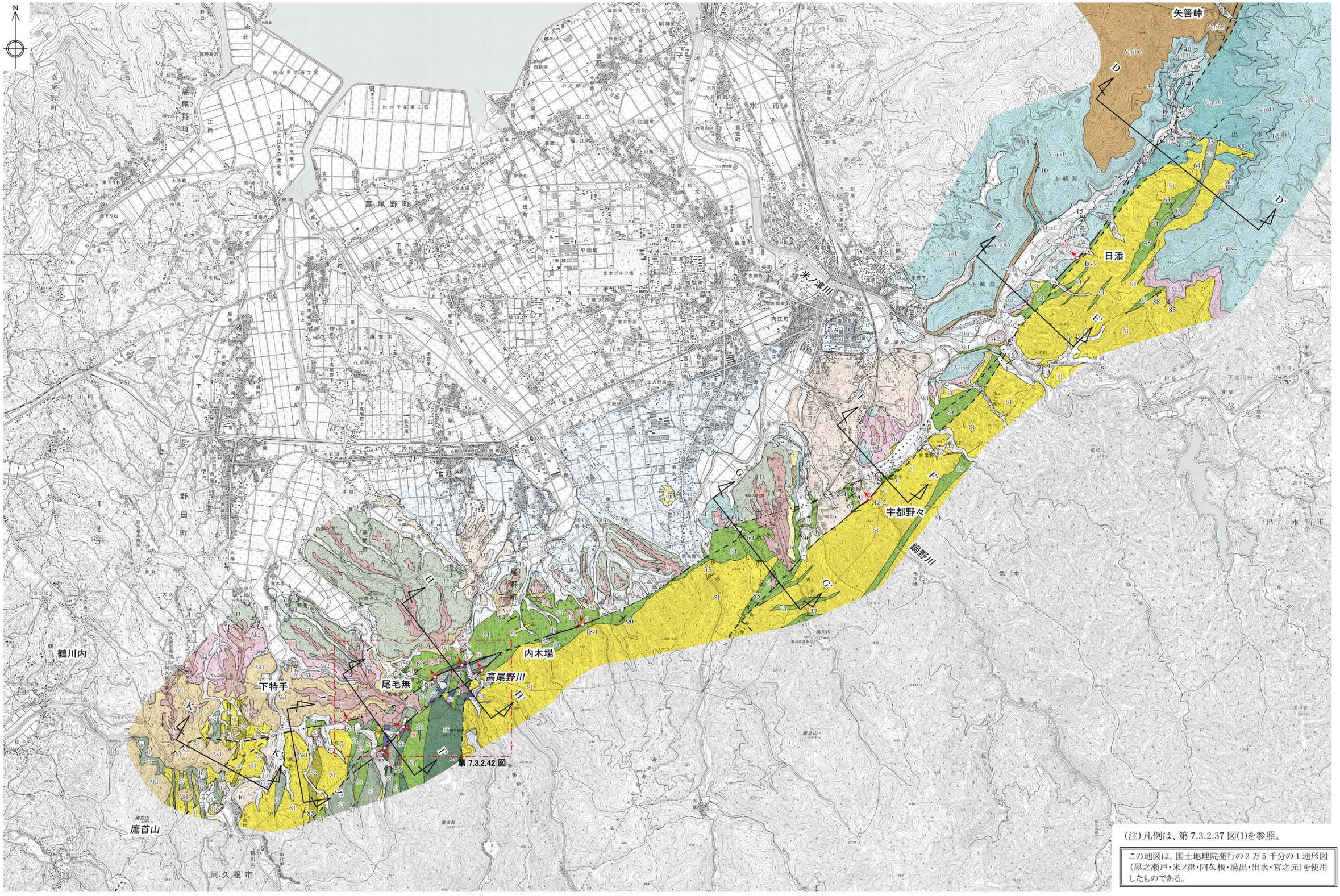
この地図は，国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（黒之瀬戸・米ノ津・阿久根・湯出・出水・宮之元）を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500

第 7.3.2.36 図(2)　出水断層系周辺の空中写真判読図（南部）



第 7.3.2.37 図(1)　出水断層系周辺の地質図（北部）



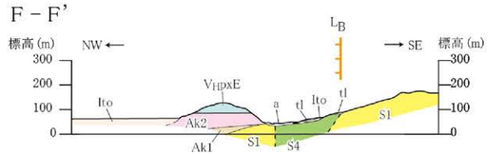
(注) 凡例は、第 7.3.2.37 図(1)を参照。

この地図は，国土地理院発行の２万５千分の１地形図（黒之瀬戸・米ノ津・阿久根・湯出・出水・宮之元)を使用したものである。

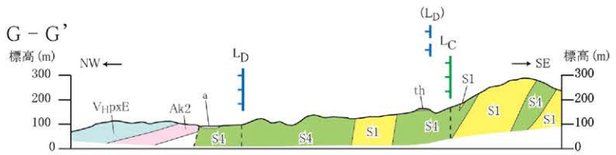
500m 0 500 1000 1500

第 7.3.2.37 図(2)　出水断層系周辺の地質図（南部）

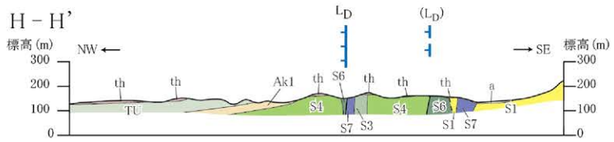
F－F’



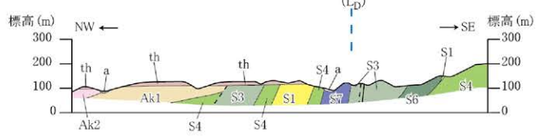
G－G’



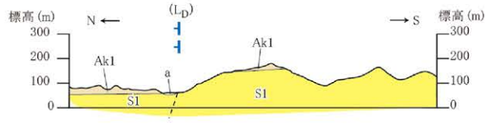
H－H’



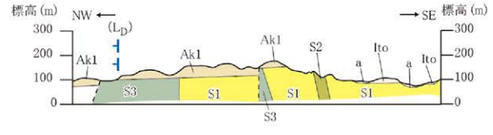
I－I’



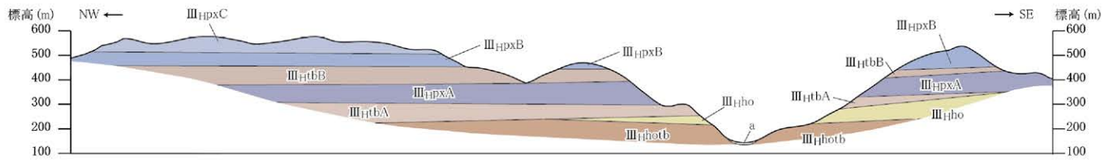
J－J’



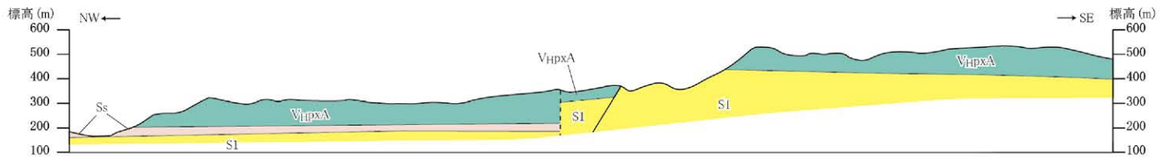
K－K’



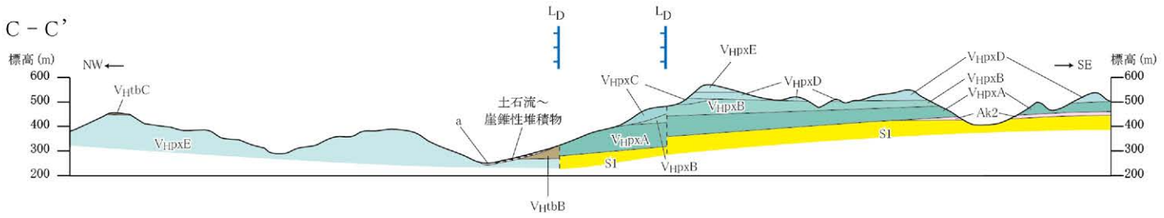
A－A’



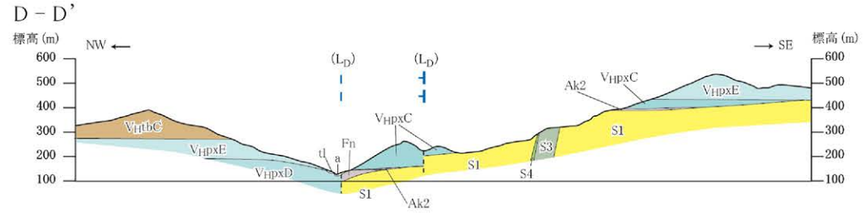
B－B’



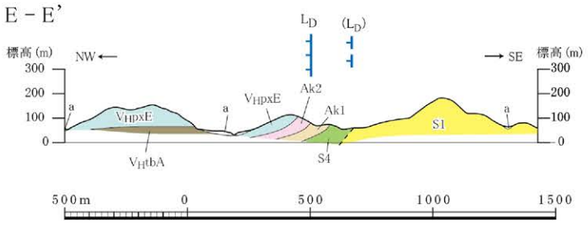
C－C’



D－D’



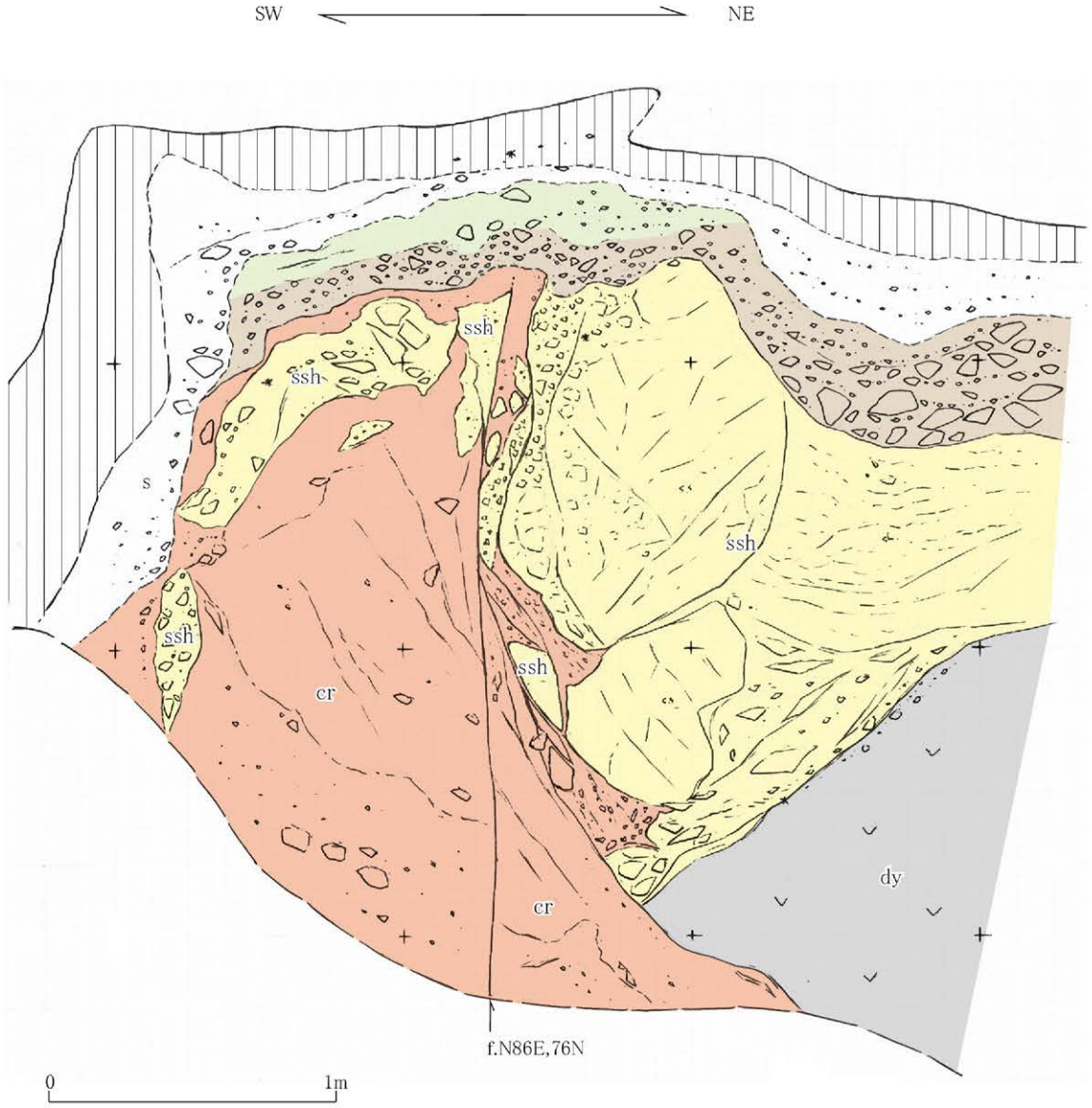
E－E’



H：V＝1：1

（注）凡例は、第 7.3.2.37 図(1)を参照。
（注）破線で示す( )付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

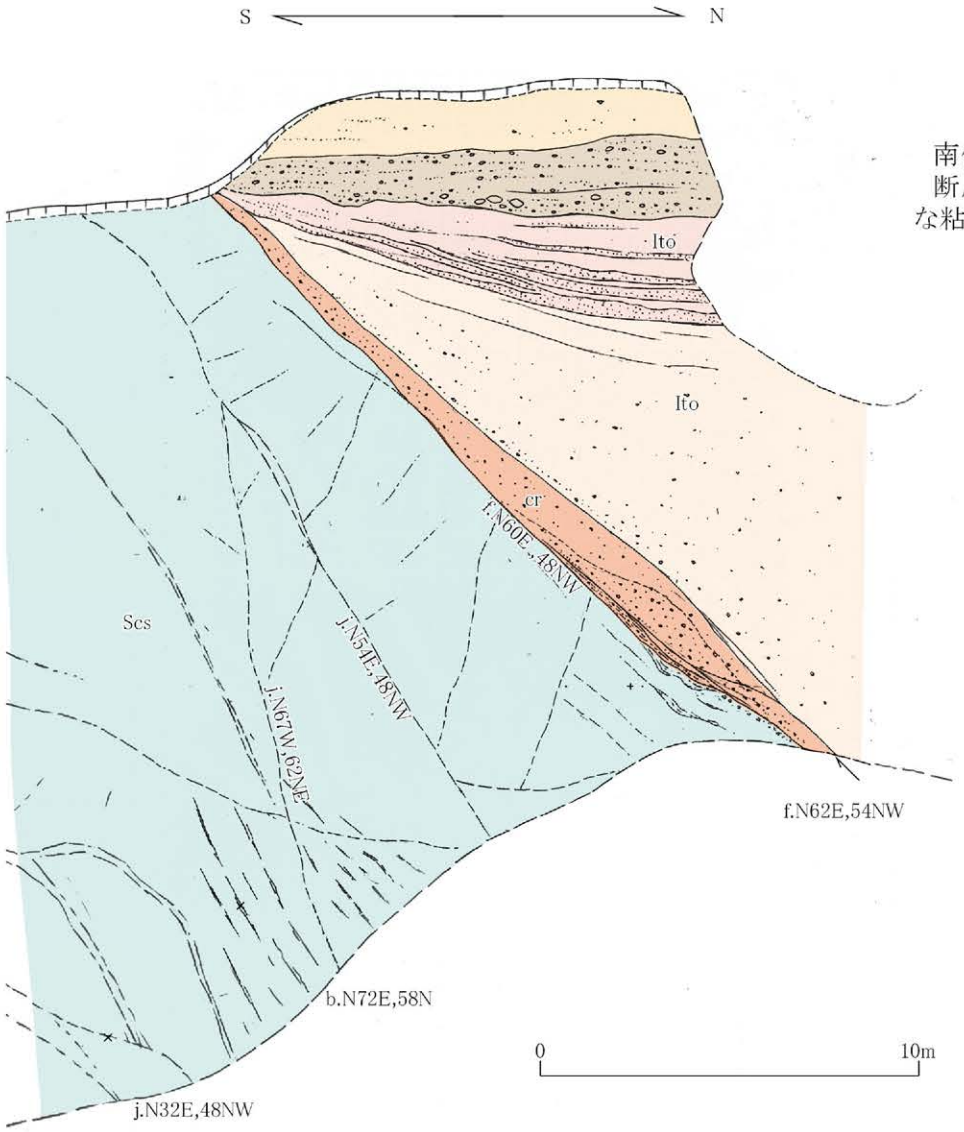
第 7. 3. 2. 38 図　出水断層系周辺の地質断面図



四万十層群中の幅 1m 以上の粘土破砕部中に認められる断層。
断層面は平面的であり，連続も良い。

凡例
- 茶褐色土壌
- 褐色土壌
- シルト質砂層
- 礫層
- dy 貫入岩
- cr 含角礫粘土破砕部
- ssh 砂岩・頁岩
- } 四万十層群
- f.N86E,76N 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.39 図(1)　露頭スケッチ（Loc. Iz-1，出水市内木場）

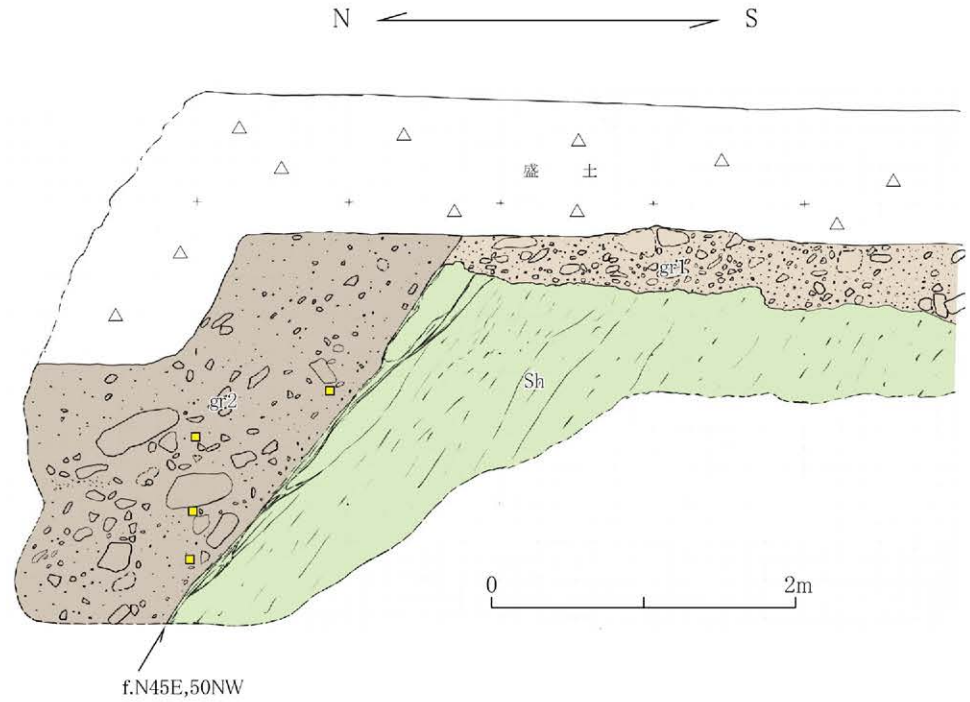


南側の四万十層群と北側の入戸火砕流堆積物とを境する正断層。
断層面は平面的であり，面に沿って幅数 10cm ～ 1.5m 程度の軟質な粘土破砕部が認められる。

凡例

- 茶褐色土壌
- ローム質砂層
- 河成礫層
- Ito 入戸火砕流堆積物（二次堆積）
- Ito 入戸火砕流堆積物
  （入戸火砕流堆積物）
- Scs 石灰質砂岩・含礫頁岩
  （四万十層群）
- cr 茶褐色礫混じり粘土破砕部
- f.N62E,54NW 断層面の走向・傾斜
- b.N72E,58N 層理面の走向・傾斜
- j.N54E,48NW 節理面の走向・傾斜

第 7.3.2.39 図(2)　露頭スケッチ（Loc. Iz-2，出水市鍋野川左岸）



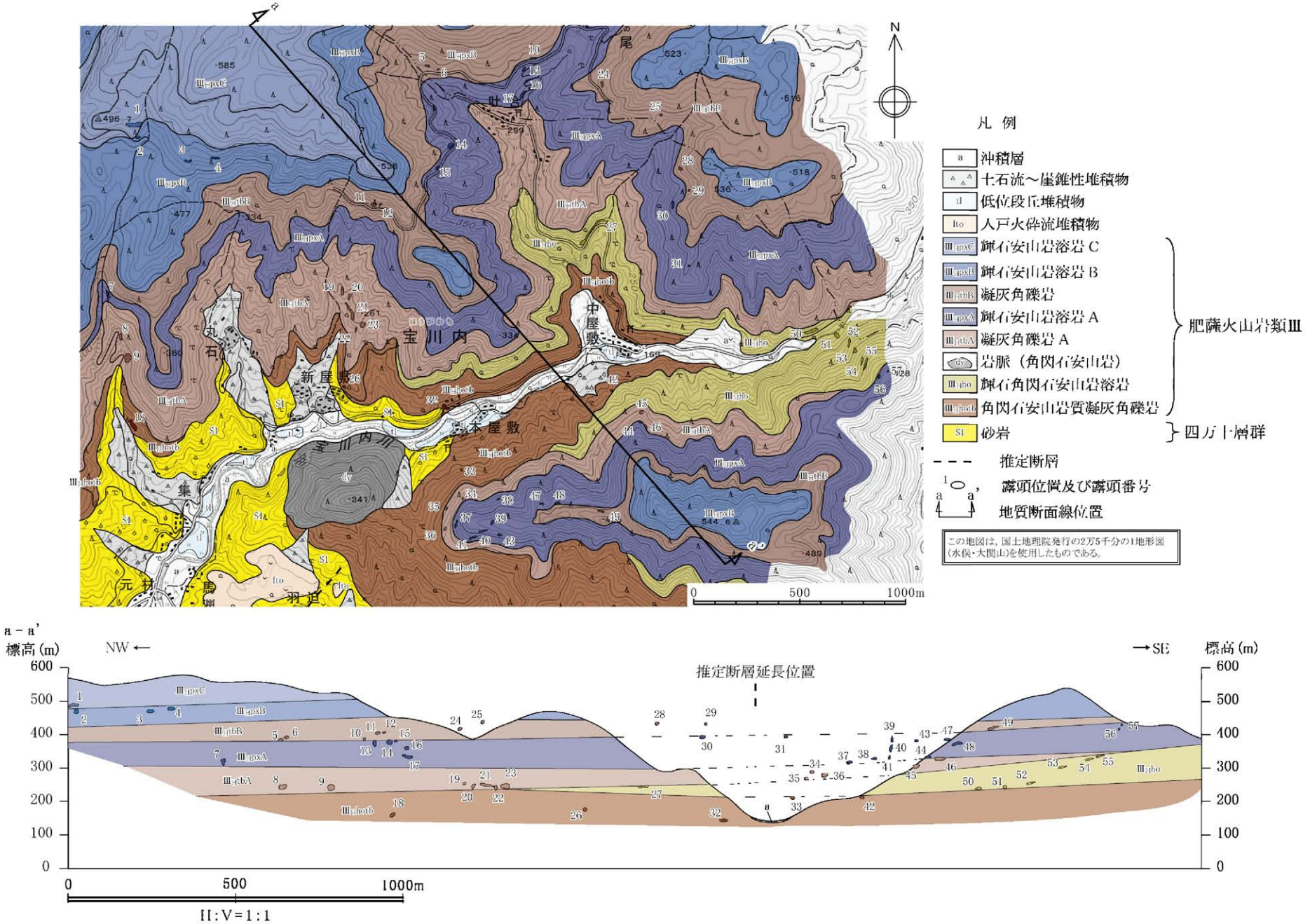
北側の暗褐色礫層と南側の四万十層群とを境する正断層。断層面は平滑であるが，破砕部は認められない。断層面上盤側の暗褐色礫層には入戸火砕流堆積物起源の火山ガラスが認められる。

凡 例

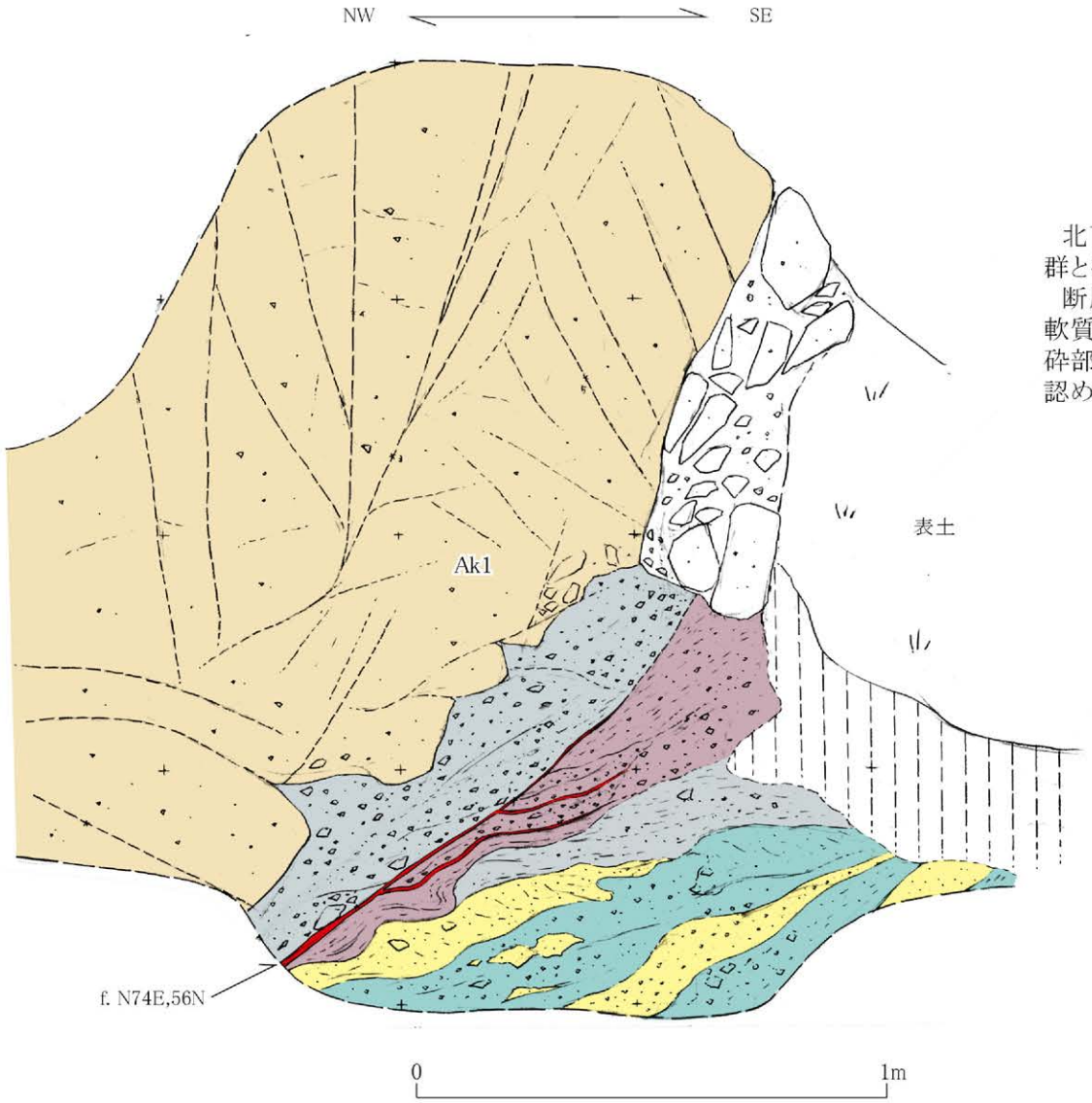
- 暗褐色礫層
- 黄褐色礫層
- 頁岩｝四万十層群
- 入戸火砕流堆積物起源の火山ガラス検出地点

f.N45E,50NW 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.39 図(3)　露頭スケッチ（Loc. Iz-3，出水市日添）



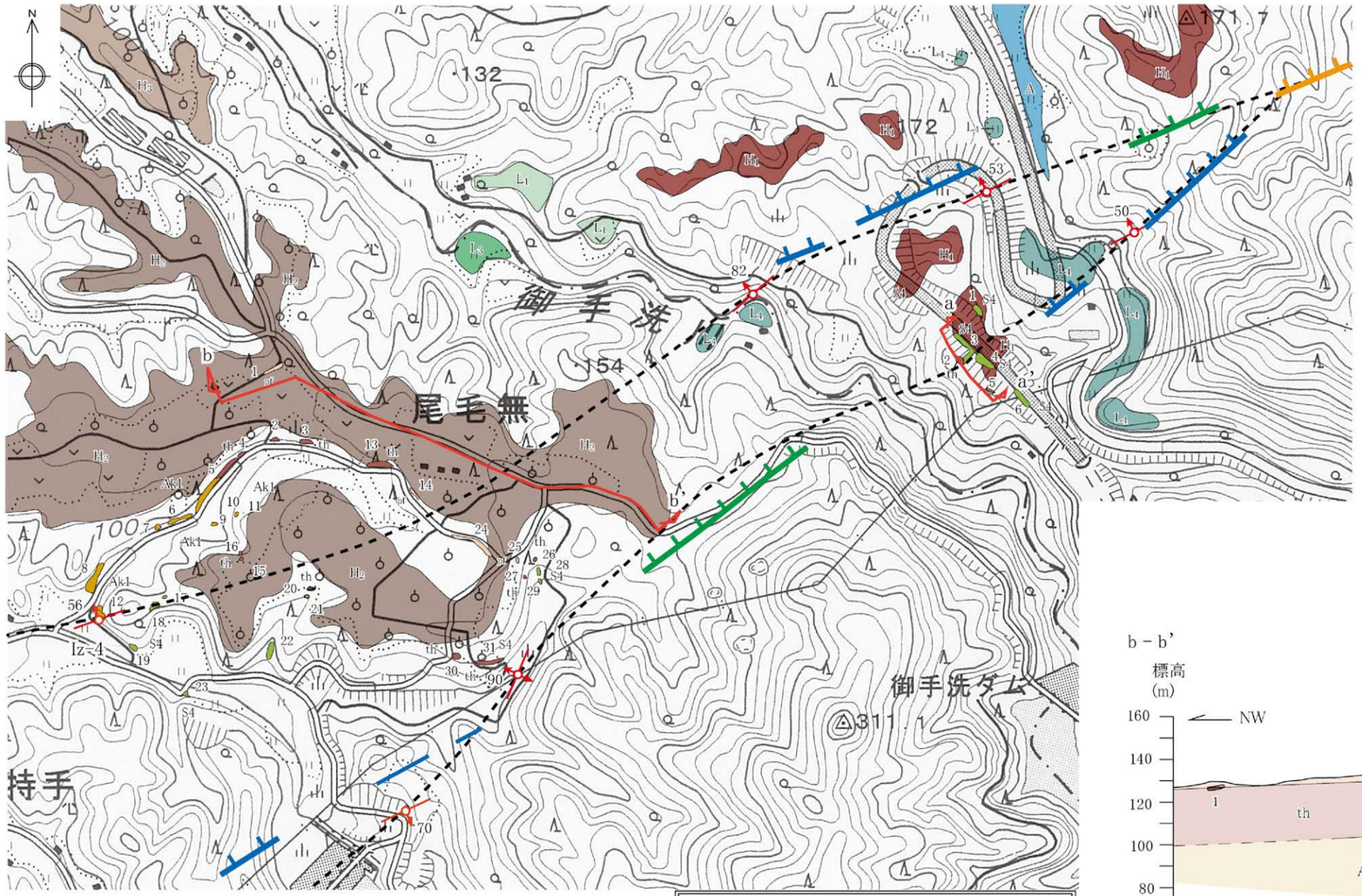
第 7.3.2.40 図　ルートマップ・地質断面図（熊本県水俣市宝川内付近）

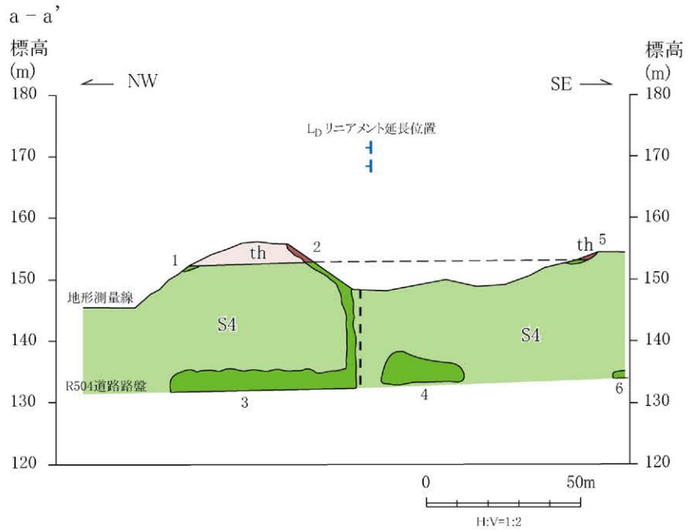


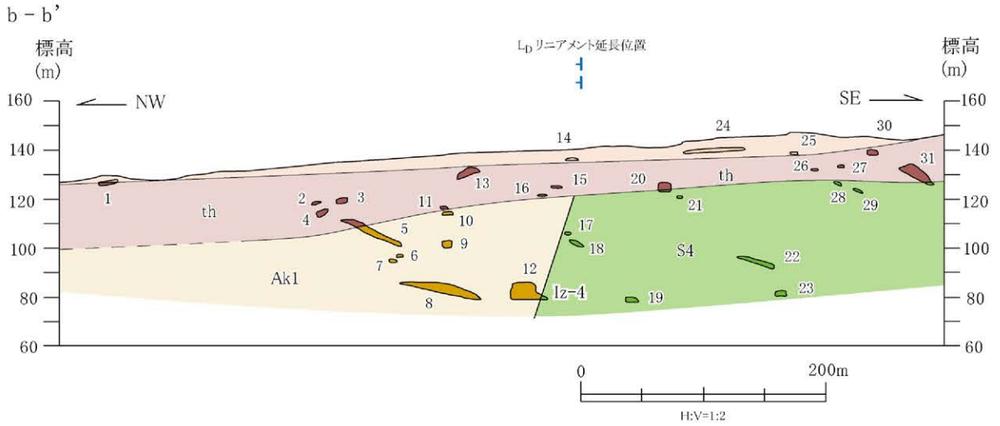
北西側の阿久根1火砕流堆積物と南東側の四万十層群とを境する断層。
断層面はやや湾曲するものの，幅5mm～3cm程度の軟質粘土が認められる。また，断層面上盤側の角礫破砕部には阿久根1火砕流堆積物の溶結凝灰岩の礫が認められる。

凡　例
- 茶褐色土壌
- 崖錐堆積物
- Ak1 溶結凝灰岩 ｝阿久根1火砕流堆積物
- 角礫状砂岩・頁岩互層 ｝四万十層群
- 角礫破砕部
- 粘土質角礫破砕部
- 軟質粘土
- f. N74E,56N 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.41 図　露頭スケッチ（Loc. Iz-4，出水市野田町上特手）







この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(出水)を使用したものである。

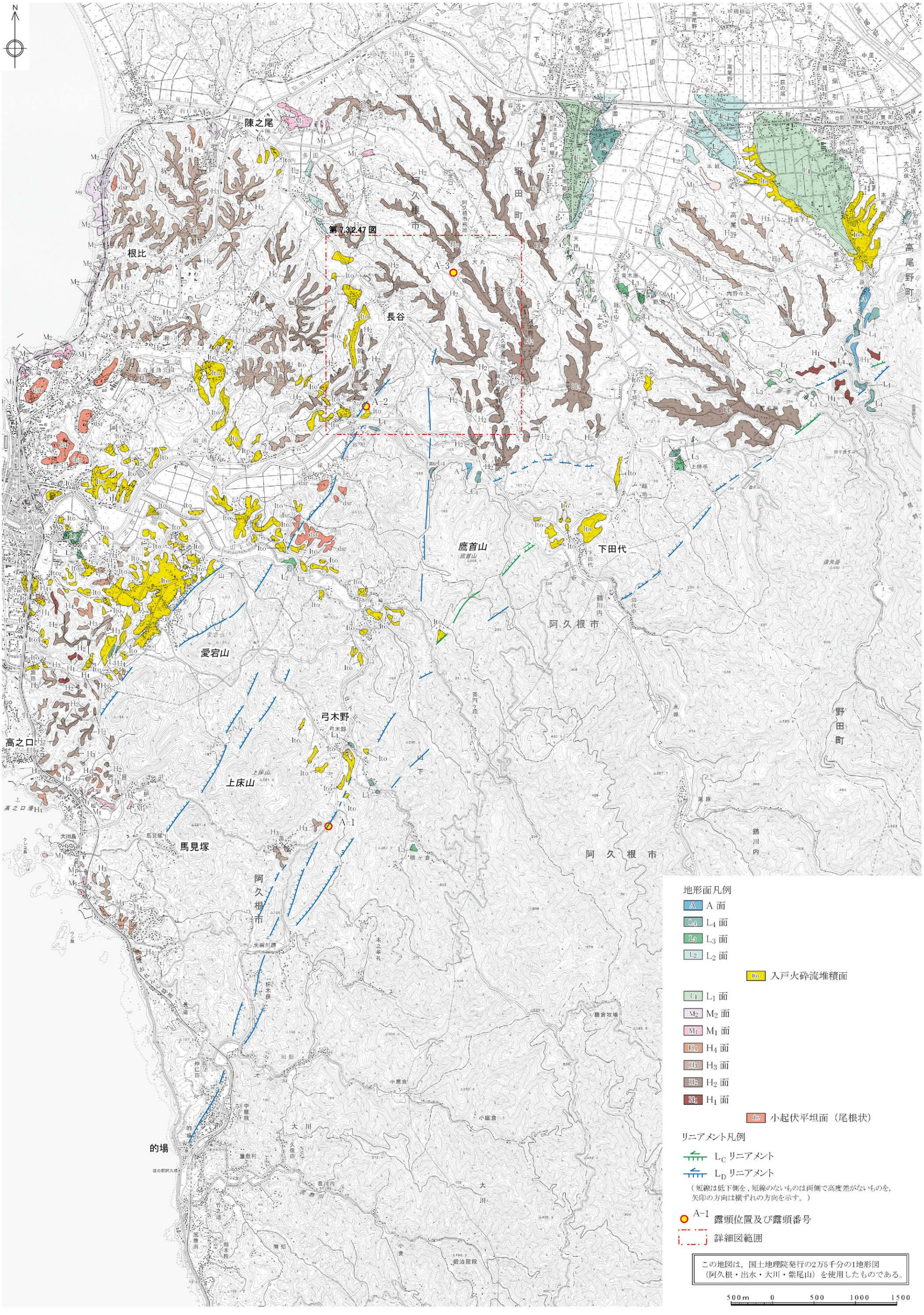
地形面凡例
- A 面
- L_4面
- L_3面
- L_1面
- H_3面
- H_2面
- H_1面

リニアメント凡例
- L_B リニアメント
- L_C リニアメント
- L_D リニアメント

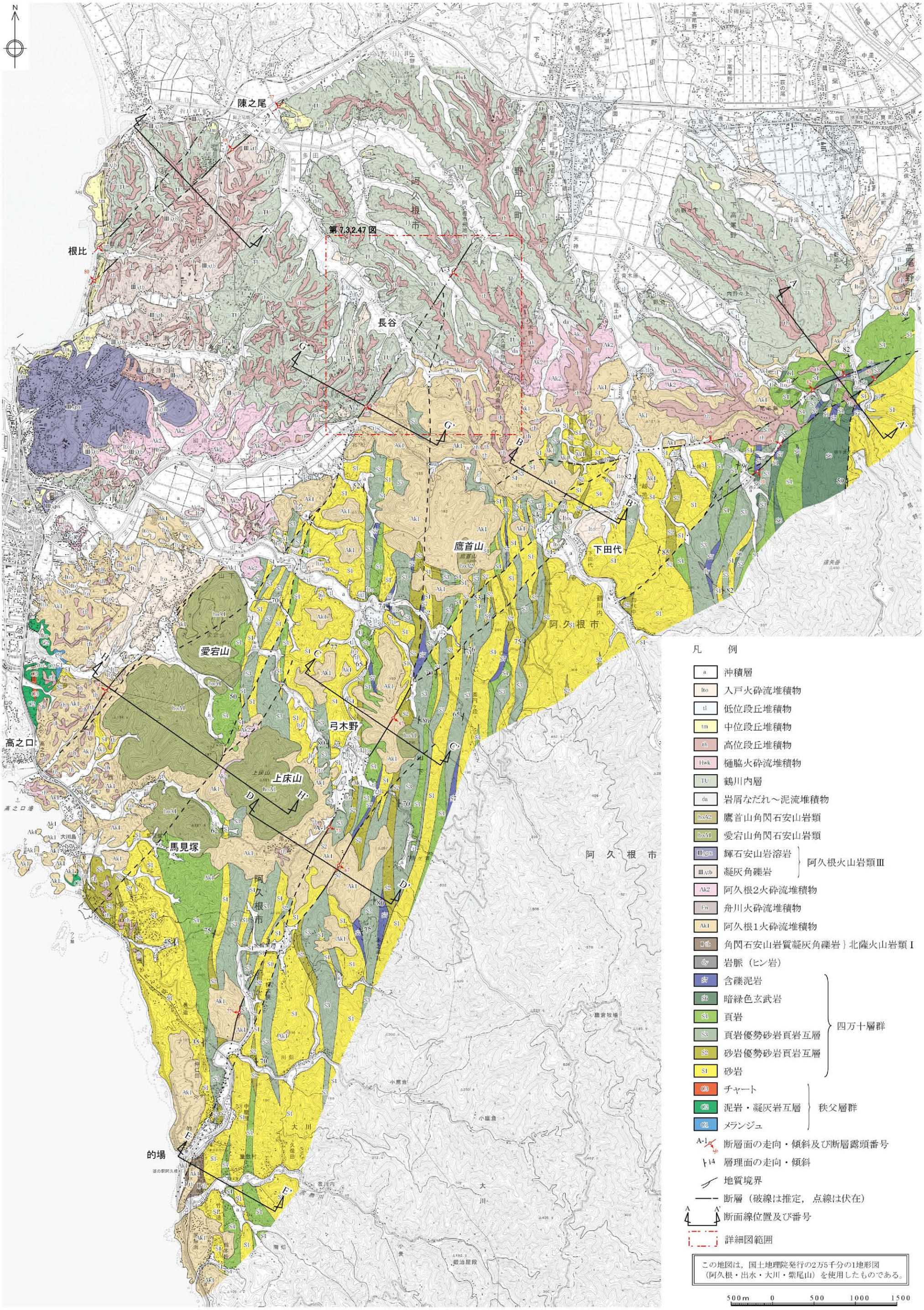
(短線は低下側を，短線のないものは両側で高度差がないものを示す。)

露頭凡例
- 火砕流堆積物
- 高位段丘堆積物
- 阿久根1火砕流堆積物
- 暗緑色玄武岩
- 頁岩
- 砂岩
- 四万十層群
- 断層(推定・伏在を含む)
- 断層面の走向・傾斜
- 露頭位置及び露頭番号
- 地形測量線

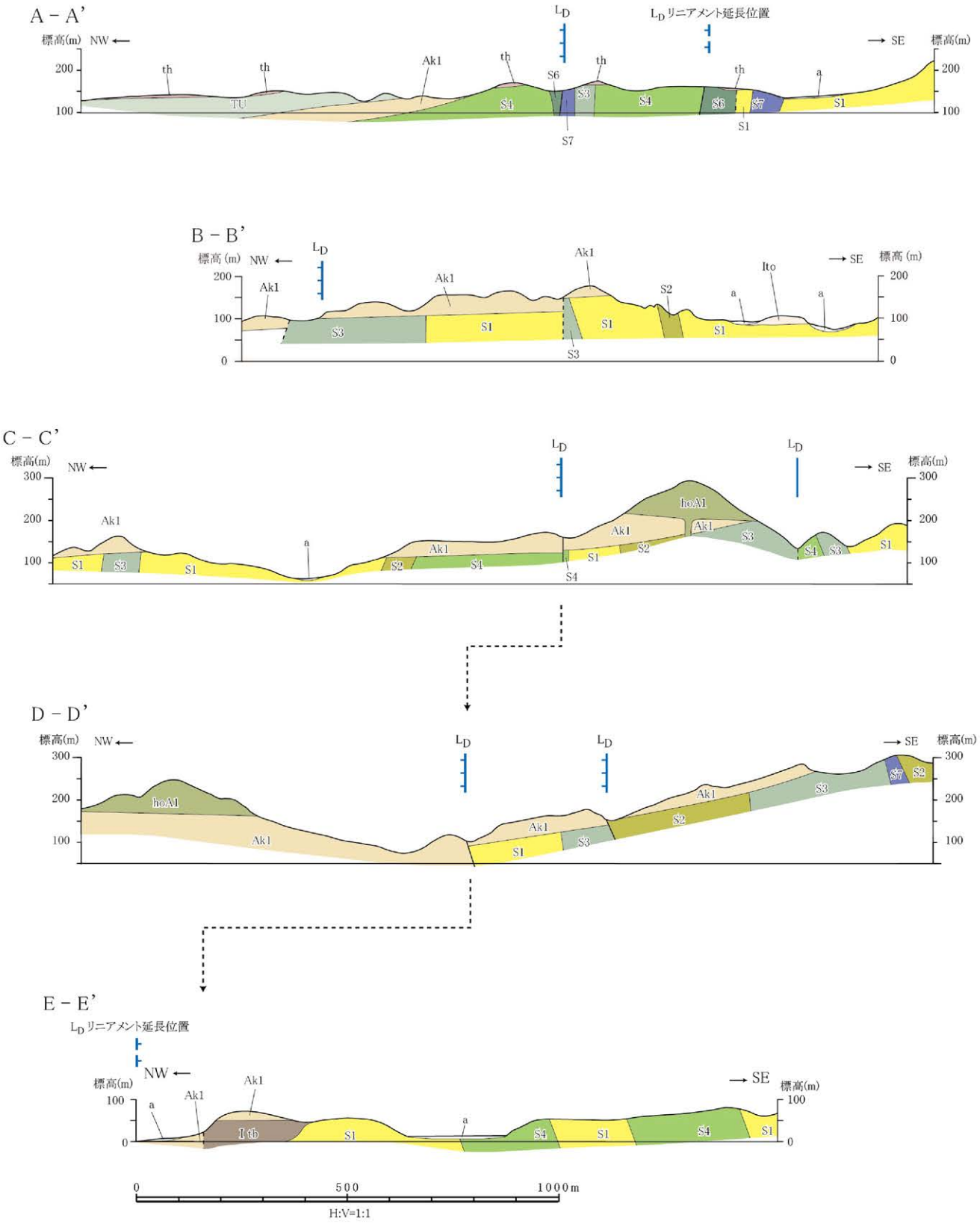
第 7.3.2.42 図　ルートマップ及び地形・地質断面図（出水市尾毛無付近）



第 7.3.2.43 図　阿久根東方リニアメント群周辺の空中写真判読図

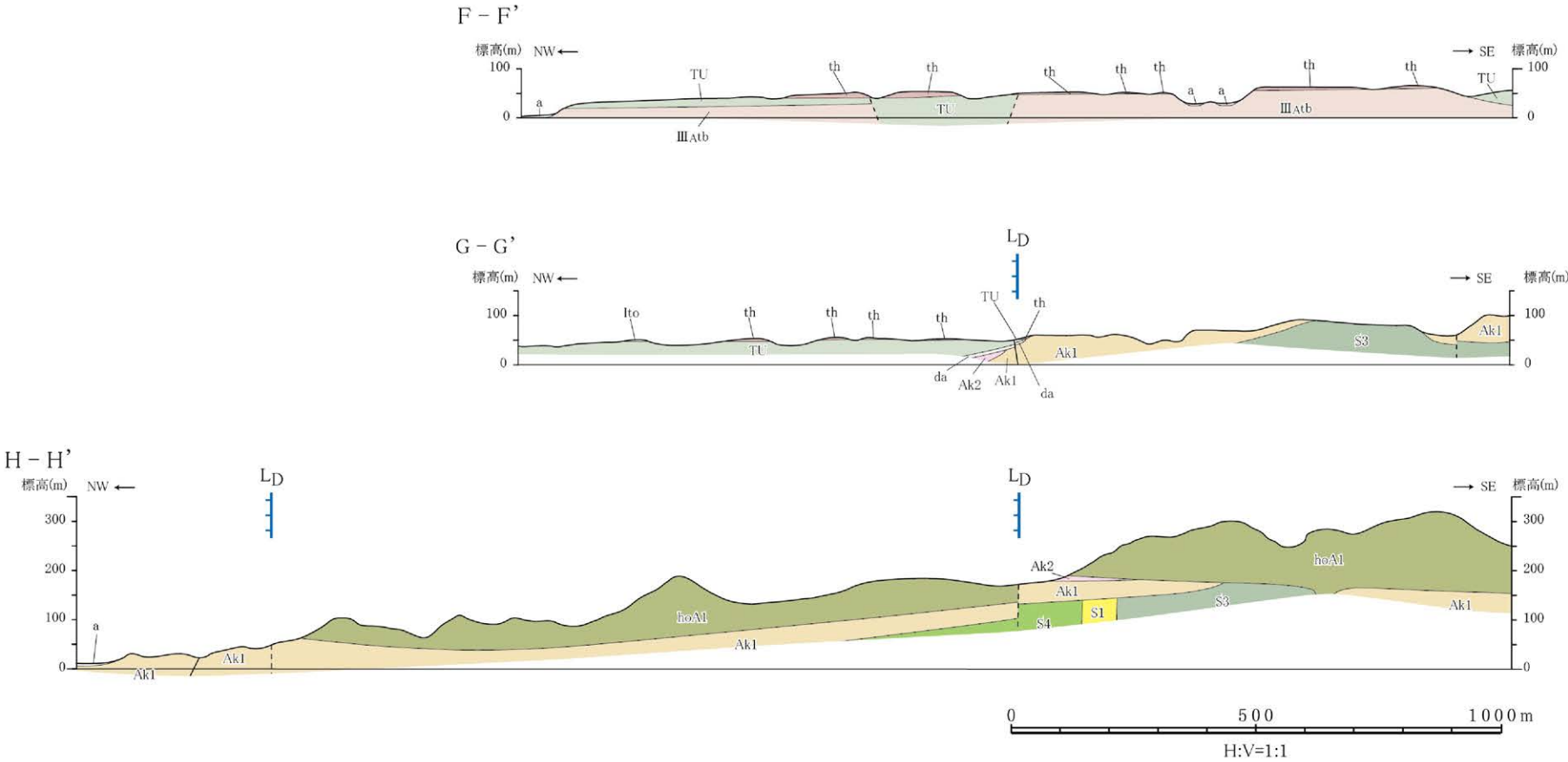


第 7.3.2.44 図　阿久根東方リニアメント群周辺の地質図



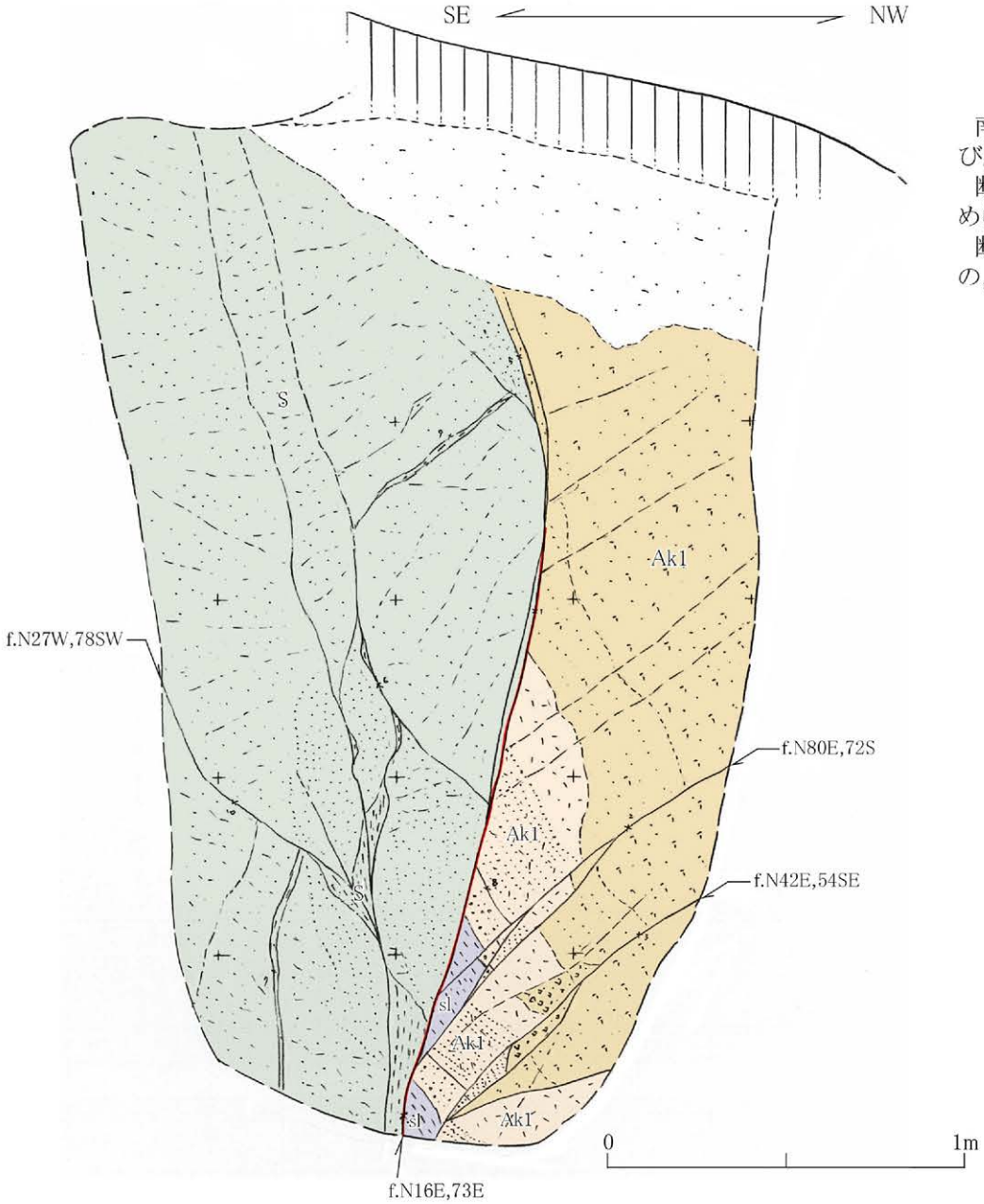
（注）凡例は、第 7.3.2.44 図を参照。

第 7.3.2.45 図(1)　阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図（その１）



(注)凡例は、第 7.3.2.44 図を参照。

第 7.3.2.45 図(2)　阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図（その２）

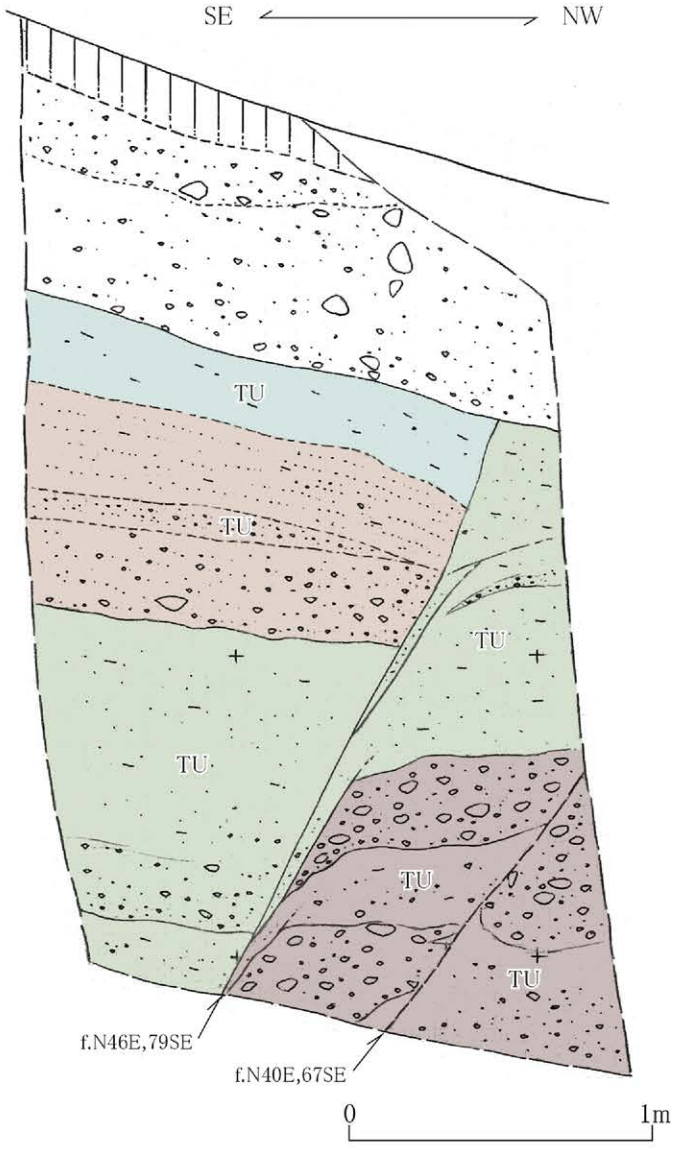


南東側の四万十層群と北西側の阿久根1火砕流堆積物及び腐植質シルトとを境する逆断層。
断層面は湾曲し，幅 1mm ～ 5mm 程度の軟質粘土が認められる。
断層面近傍の四万十層群内には節理が認められるものの，顕著な破砕は認められない。

凡 例
- 黒褐色土壌
- 茶褐色シルト質砂（一部土壌化）
- 茶褐色細粒凝灰岩 } 阿久根 1 火砕流堆積物
- 軽石凝灰岩 }
- 腐植質シルト
- 細粒砂岩 } 四万十層群
- 軟質粘土

f.N16E,73E 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.46 図(1)　露頭スケッチ（Loc. A-1，阿久根市弓木野南方）



鶴川内層中の正断層。
断層面は平面的であるものの，軟質な破砕部は認められない。

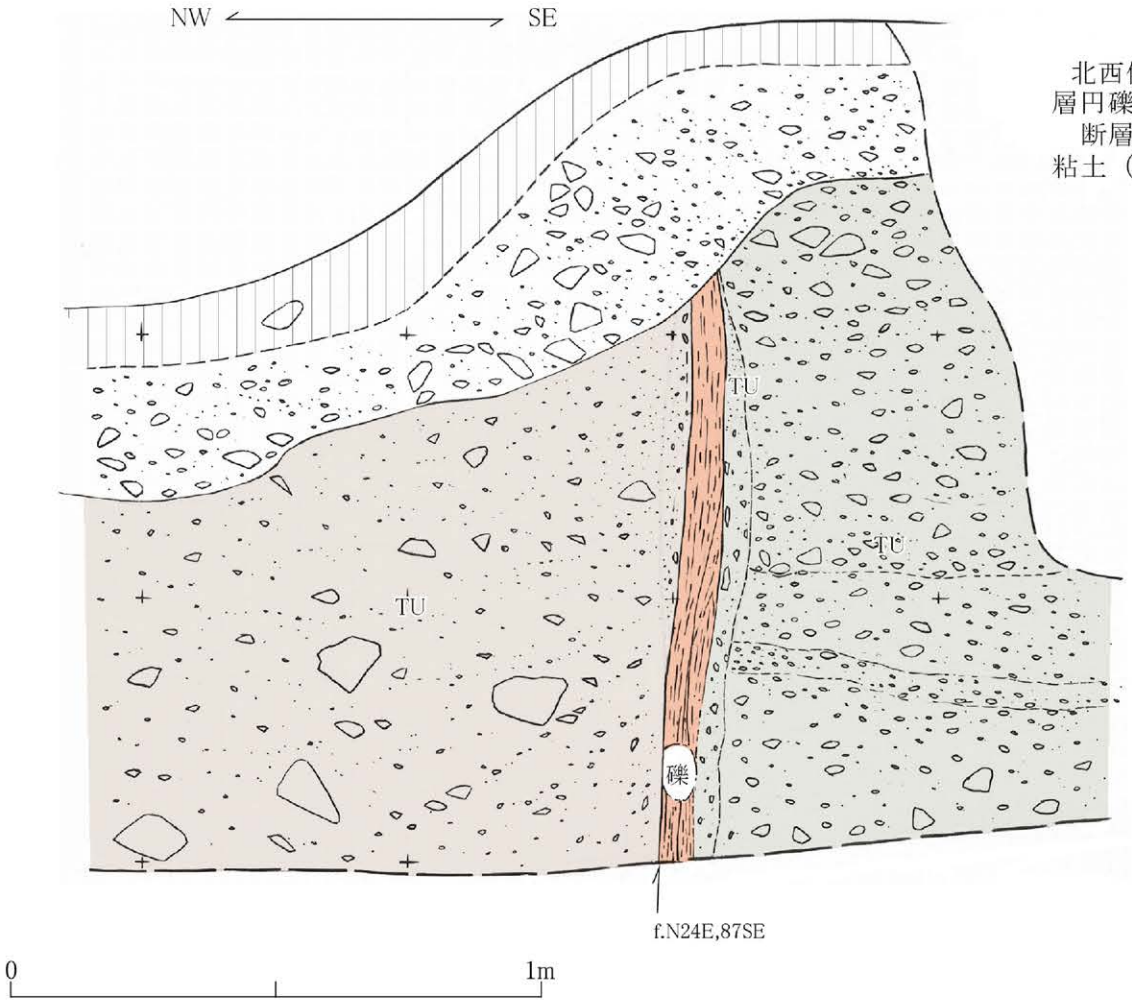
凡 例

- 黒褐色土壌
- ローム質礫層
- TU 茶褐色シルト
- TU 砂層・細礫層
- TU 砂質シルト層
- TU 礫層・砂層

} 鶴川内層

f.N46E,79SE 断層面の走向・傾斜

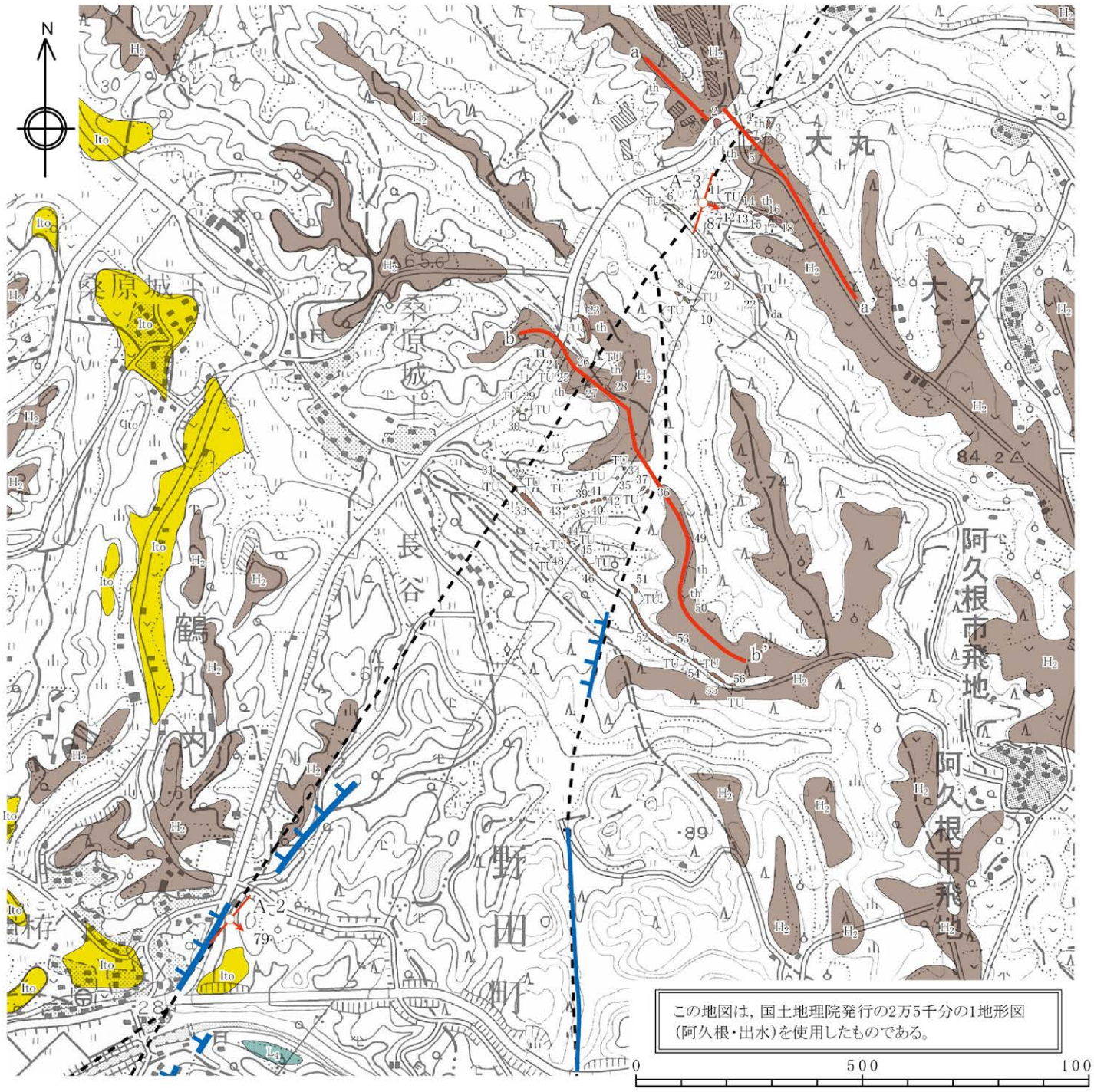
第 7.3.2.46 図(2)　露頭スケッチ（Loc. A-2，阿久根市栫）



北西側の鶴川内層砂・シルト質角礫岩と南東側の同層円礫岩とを境する高角度断層。
断層面は不明瞭であるが，断層面に沿って礫混じり粘土（擾乱部）及び礫の再配列が認められる。

凡例
- 茶褐色土壌
- 崖錐性堆積物
- 円礫岩（TU）
- 砂・シルト質角礫岩（TU）
- 鶴川内層
- 礫混じり粘土（擾乱部）
- f.N24E,87E 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.46 図(3)　露頭スケッチ（Loc. A-3，出水市大丸）



地形面凡例

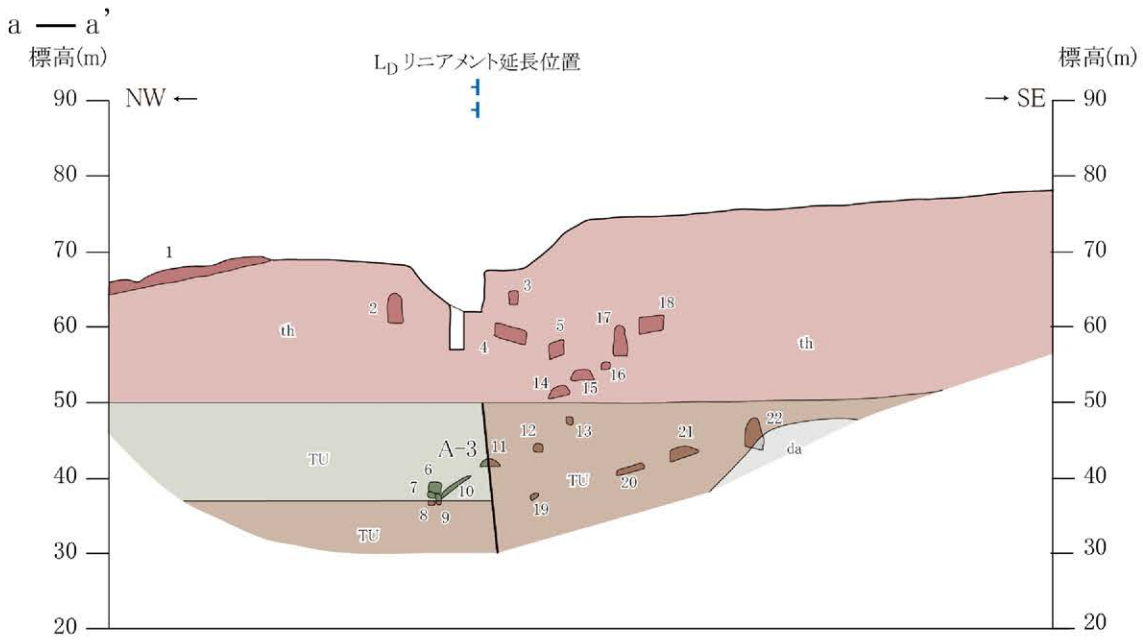
- L_4 L_4面
- Ito 入戸火砕流堆積面
- H_2 H_2面

リニアメント凡例

- L_D L_Dリニアメント
  （短線は低下側を，短線のないものは両側で高度差がないものを示す。）

露頭凡例

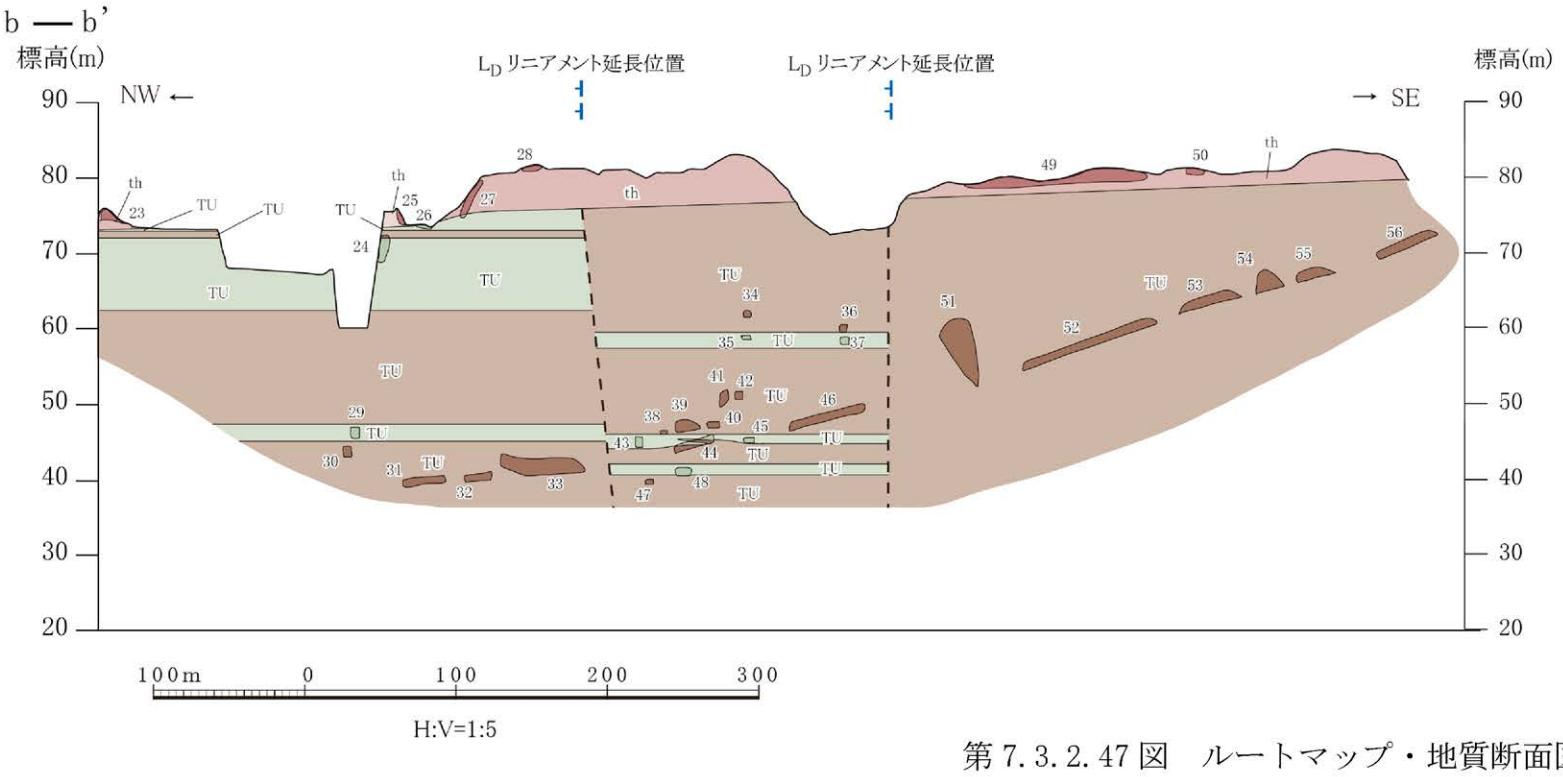
- th 高位段丘堆積物
- TU 砂質粘土層
- TU 粘土質礫層
- TU 砂質礫層
  } 鶴川内層
- da 角礫層 } 岩屑なだれ堆積物
- 87 / A-3 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 1 露頭位置及び露頭番号
- 地形測量線
- 断層（推定・伏在を含む）



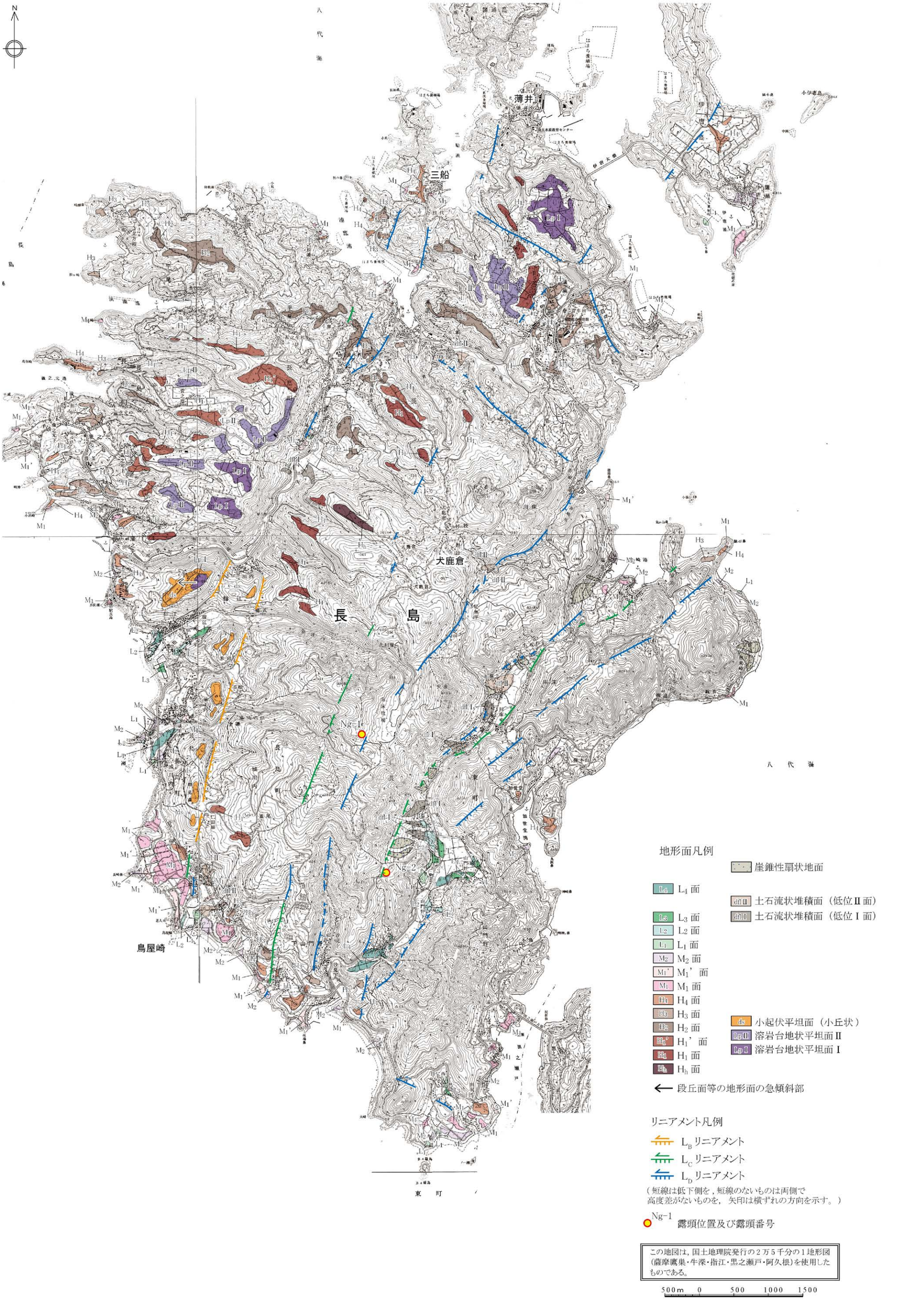
凡 例

- th 高位段丘堆積物
- TU 砂質粘土層
- TU 粘土質礫層
- TU 砂質礫層
  } 鶴川内層
- da 角礫層 } 岩屑なだれ堆積物
- 断層（破線は推定）
- 1 投影露頭位置及び露頭番号

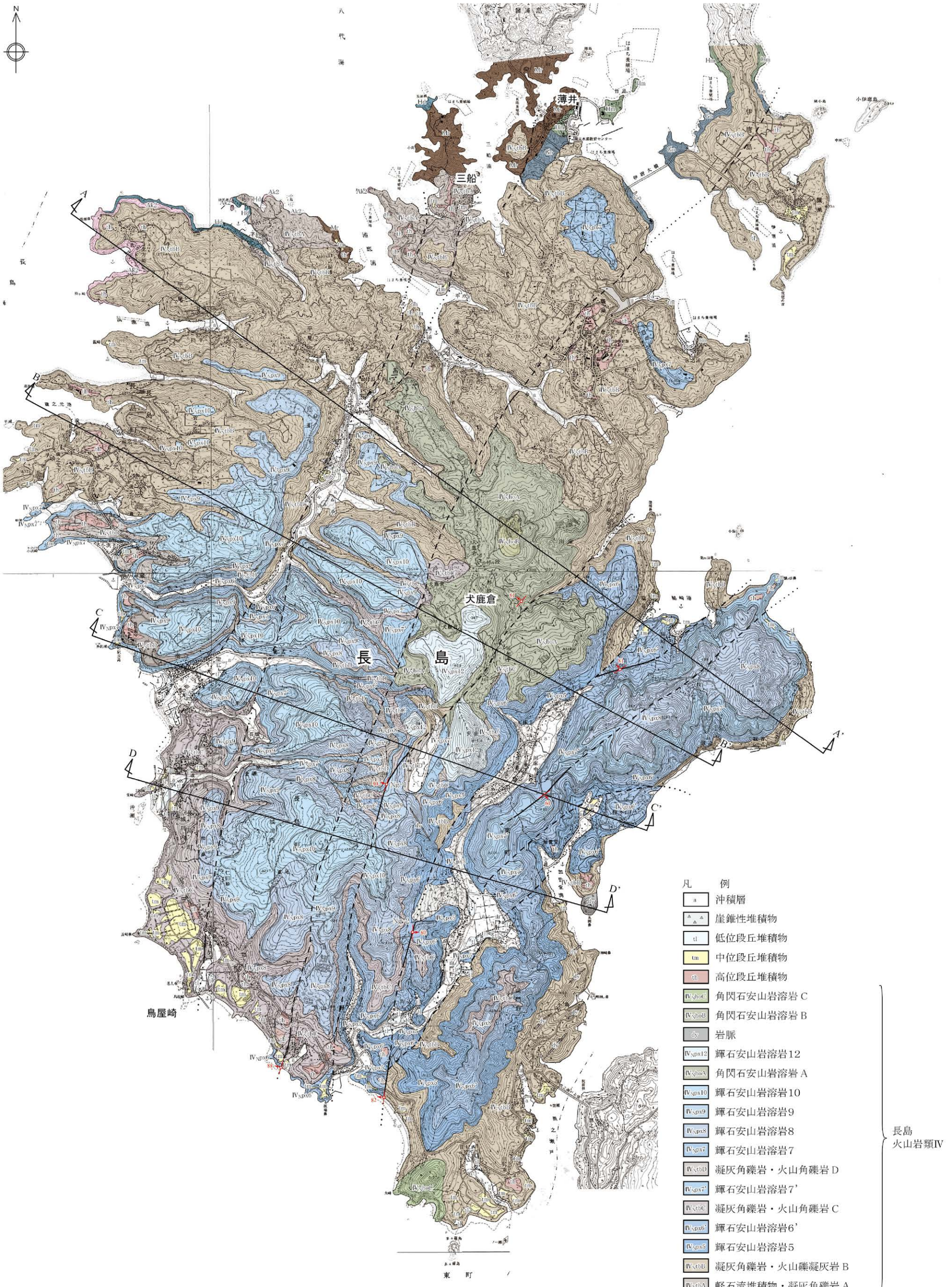
＊ a-a'の断面投影面はN48W方向
b-b'の断面投影面はN61W方向



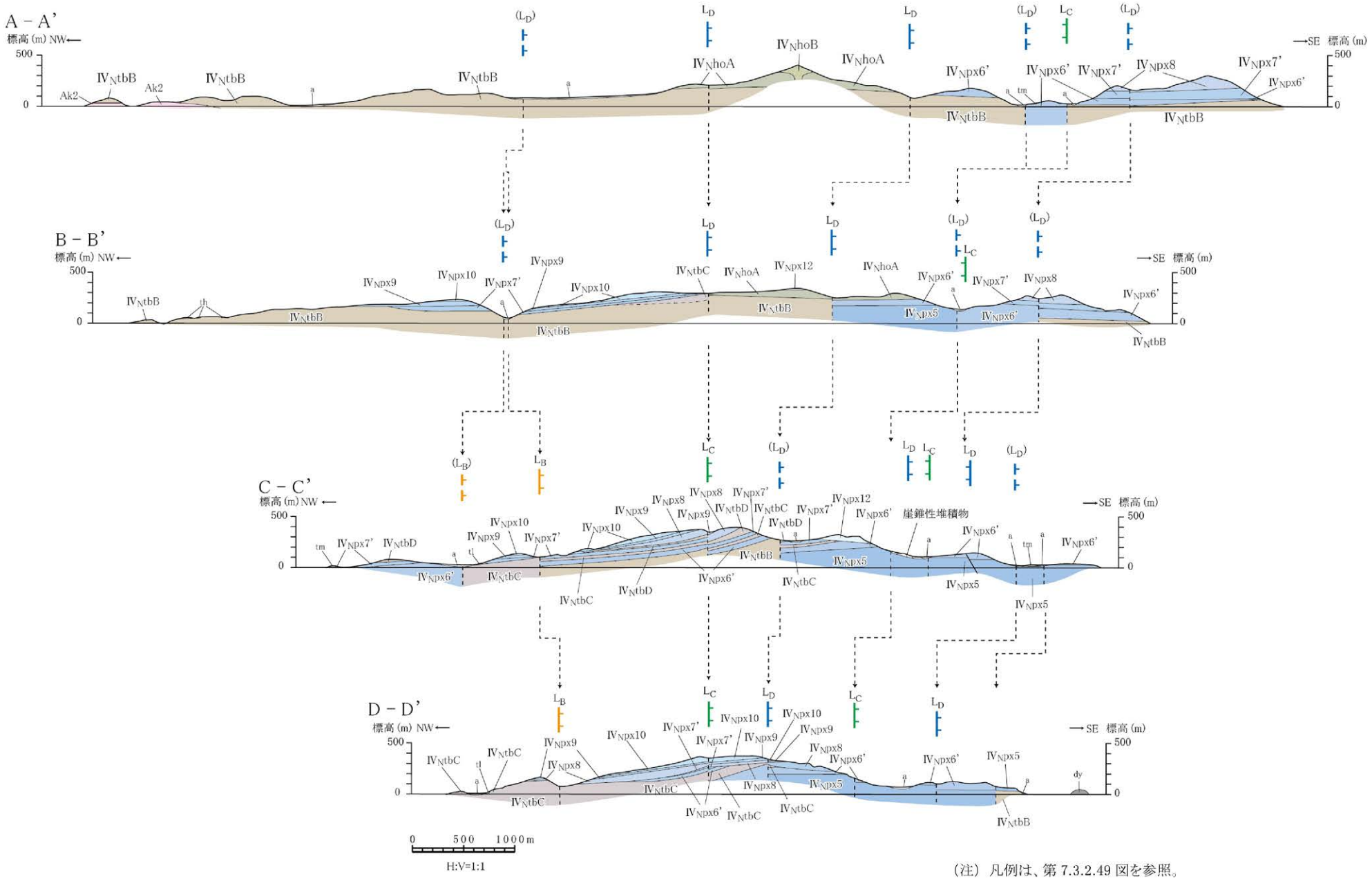
第 7.3.2.47 図　ルートマップ・地質断面図（阿久根市長谷付近）



第 7.3.2.48 図　長島西断層・長島断層群周辺の空中写真判読図

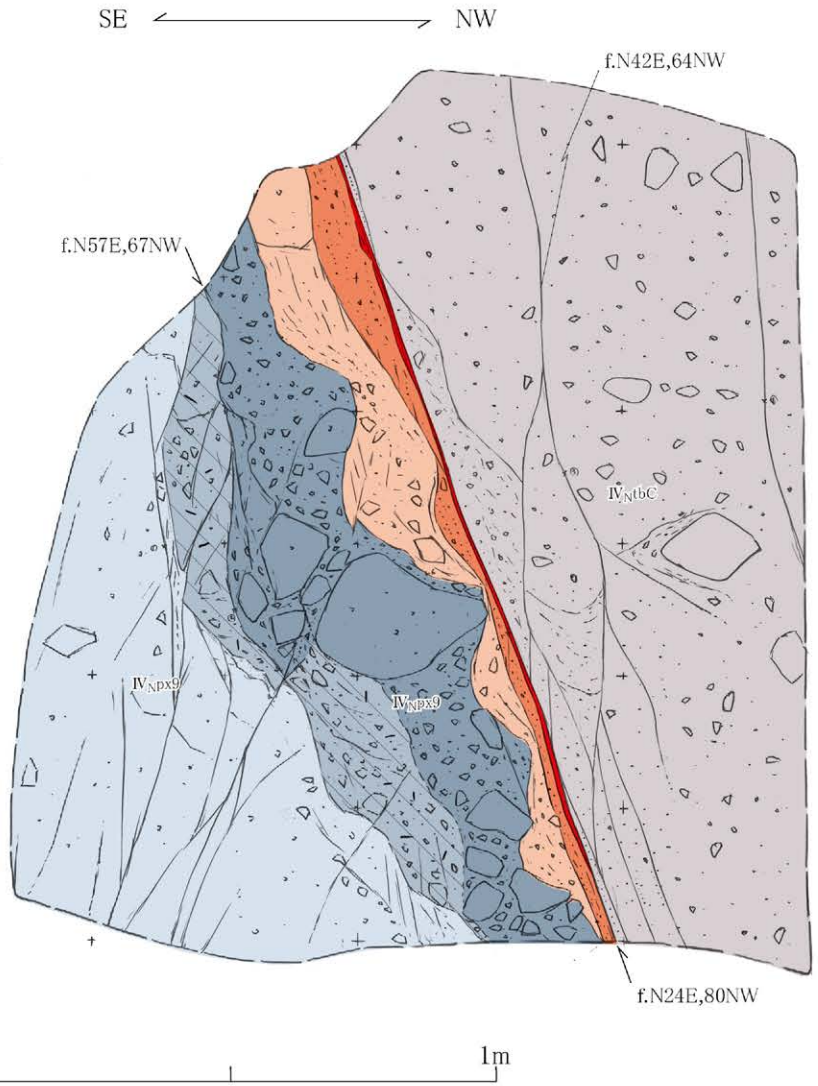


第 7.3.2.49 図　長島西断層・長島断層群周辺の地質図



（注）凡例は、第 7.3.2.49 図を参照。
（注）破線で示す（）付きの L_D などは、リニアメントの延長位置を示す。

第 7.3.2.50 図　長島西断層・長島断層群周辺の地質断面図



南東側の輝石安山岩溶岩9（長島火山岩類Ⅳ）と北西側の凝灰角礫岩C（同火山岩類）とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり，幅5mm～1cm程度の軟質粘土が認められる。

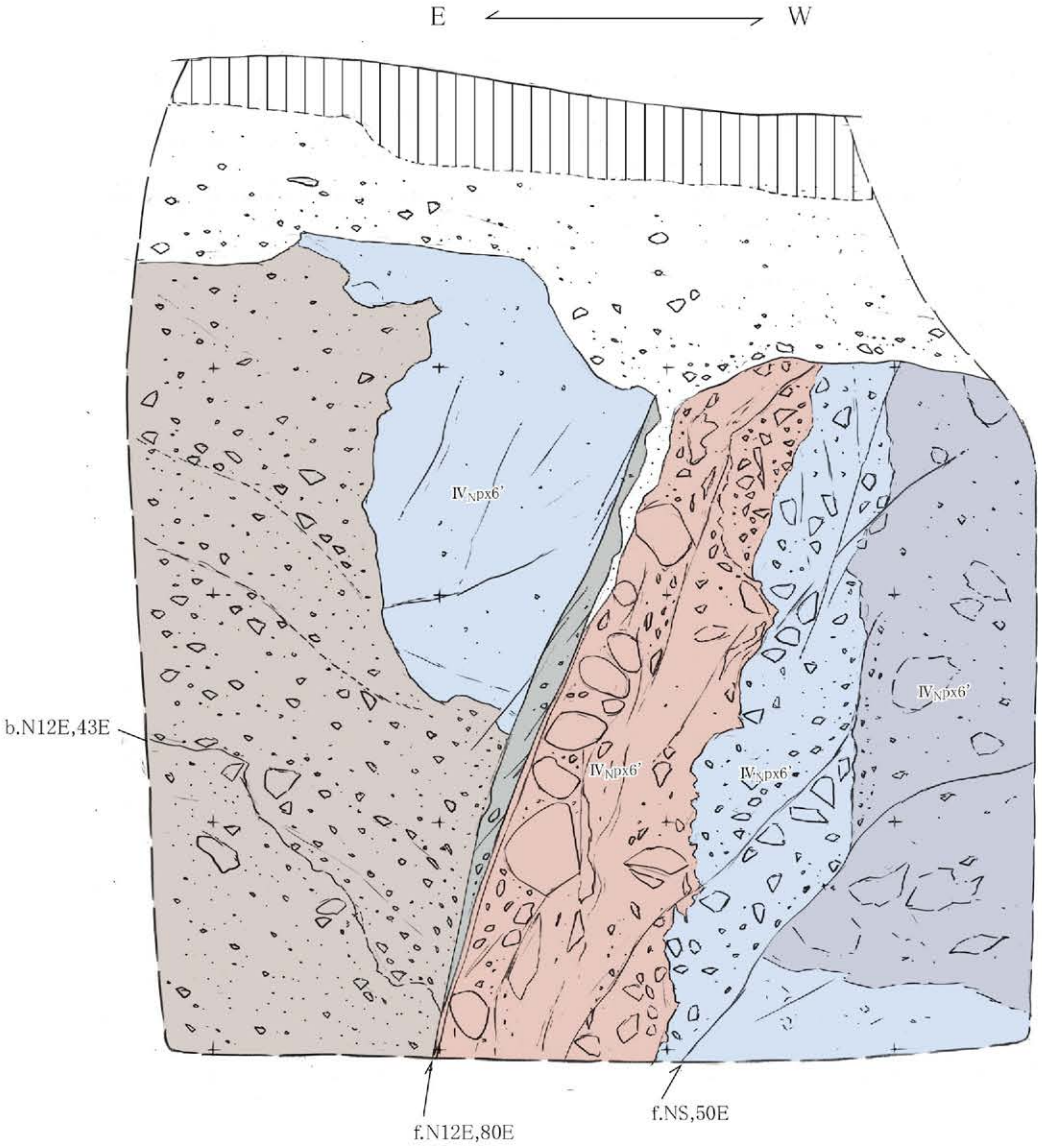
凡 例

- 輝石安山岩溶岩
- 輝石安山岩溶岩節理破砕部
- 輝石安山岩溶岩角礫破砕部
- 凝灰角礫岩C
- 赤褐色細角礫破砕部
- 角礫粘土質砂状破砕部
- 軟質粘土

（輝石安山岩溶岩9）（長島火山岩類Ⅳ）

f.N24E,80NW　断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.51 図(1)　露頭スケッチ（Loc.Ng-1，長島町毎床牧場）



輝石安山岩溶岩6’（長島火山岩類Ⅳ）中の高角度断層。
断層面は明瞭であるものの，湾曲しており，癒着している。断層面近傍には節理がみられるものの，軟質な破砕部は認められず，固結している。

凡 例

- 黒色土壌
- 礫混じり茶褐色土壌
- 赤紫色変質溶岩
- 角礫状溶岩
- 赤褐色変質溶岩

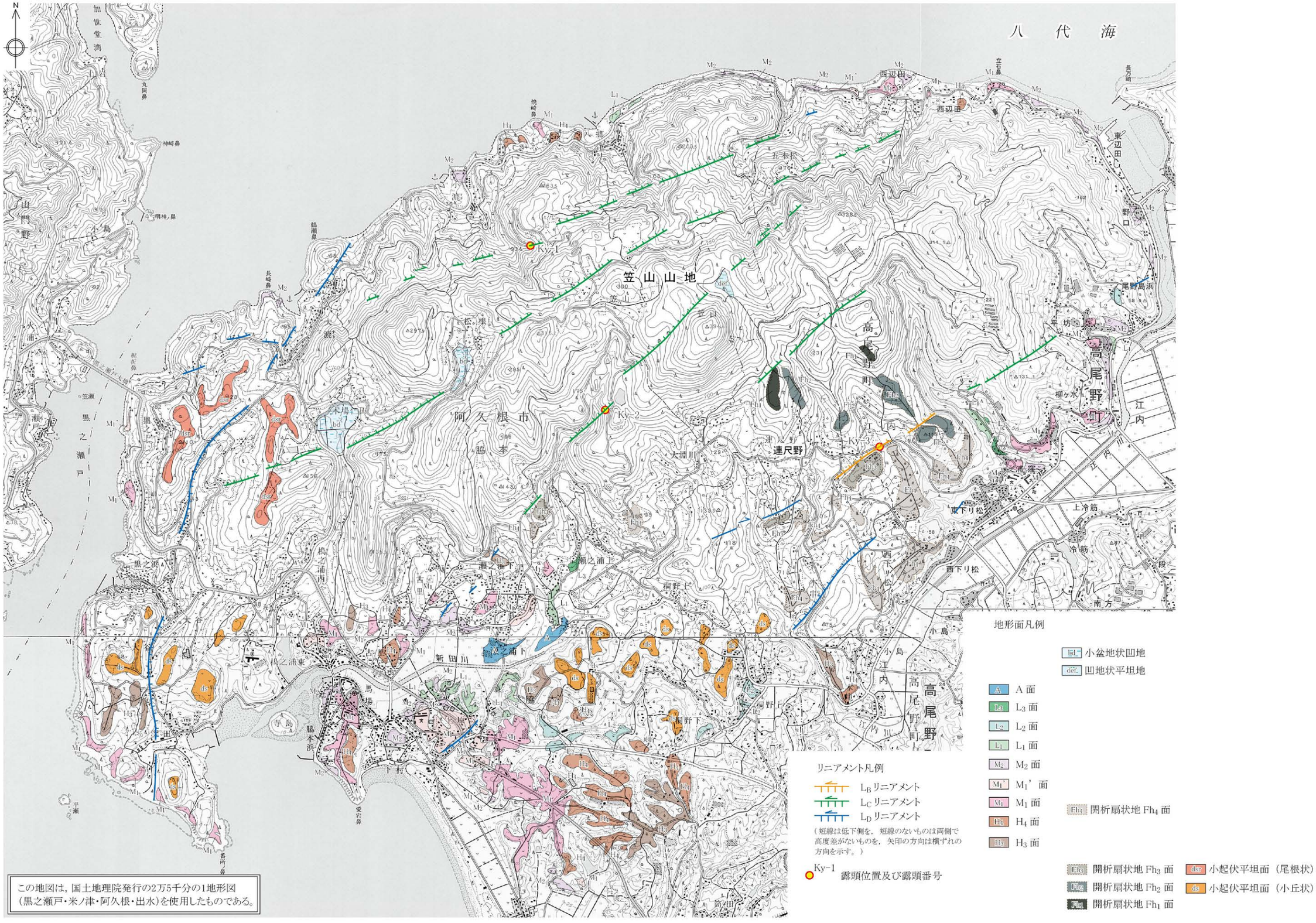
} 輝石安山岩溶岩6’｝長島火山岩類Ⅳ

- 火山礫凝灰岩
- 角礫破砕部

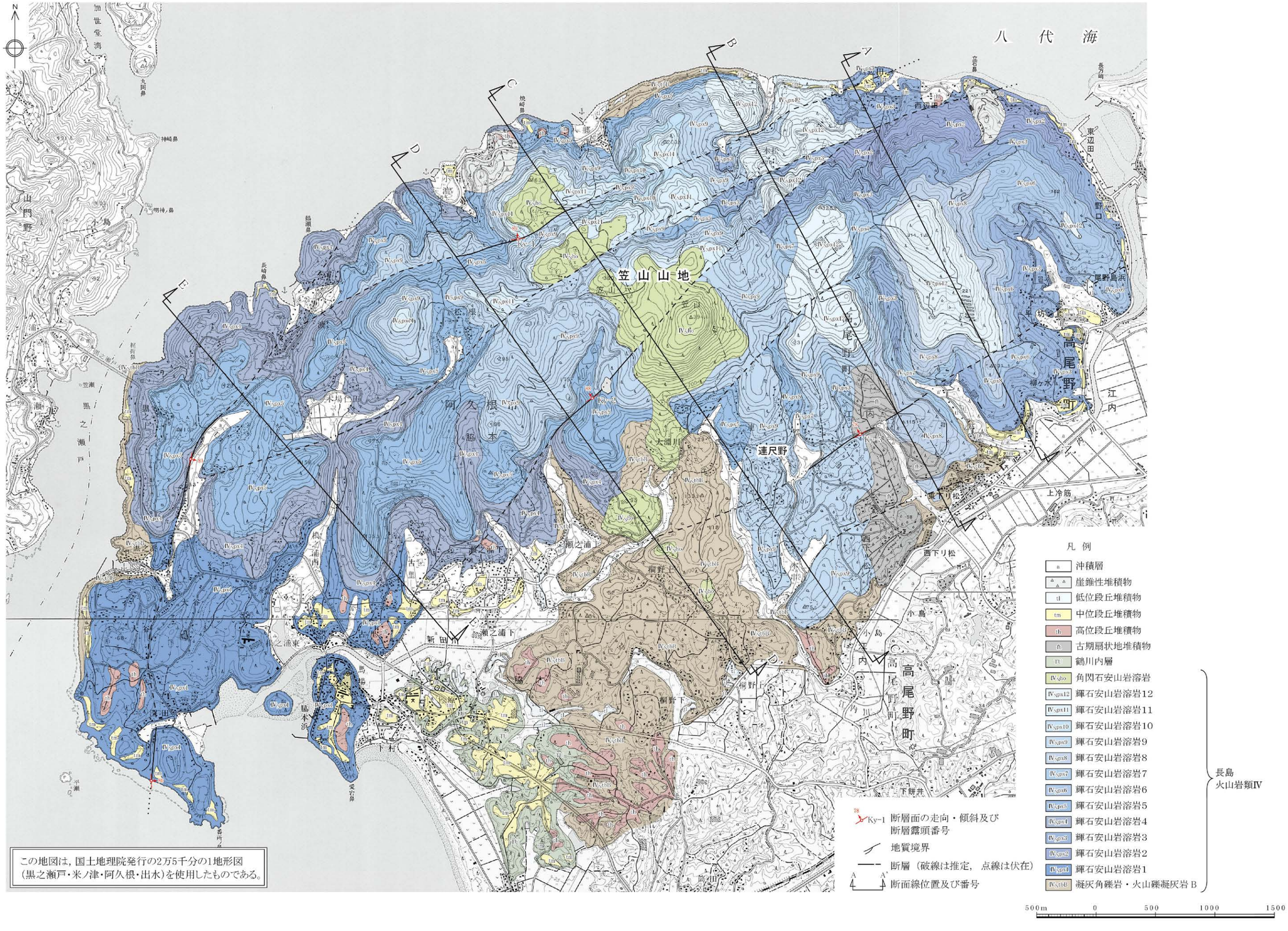
f.N12E,80E　断層面の走向・傾斜
b.N12E,43E　層理面の走向・傾斜

0　1m

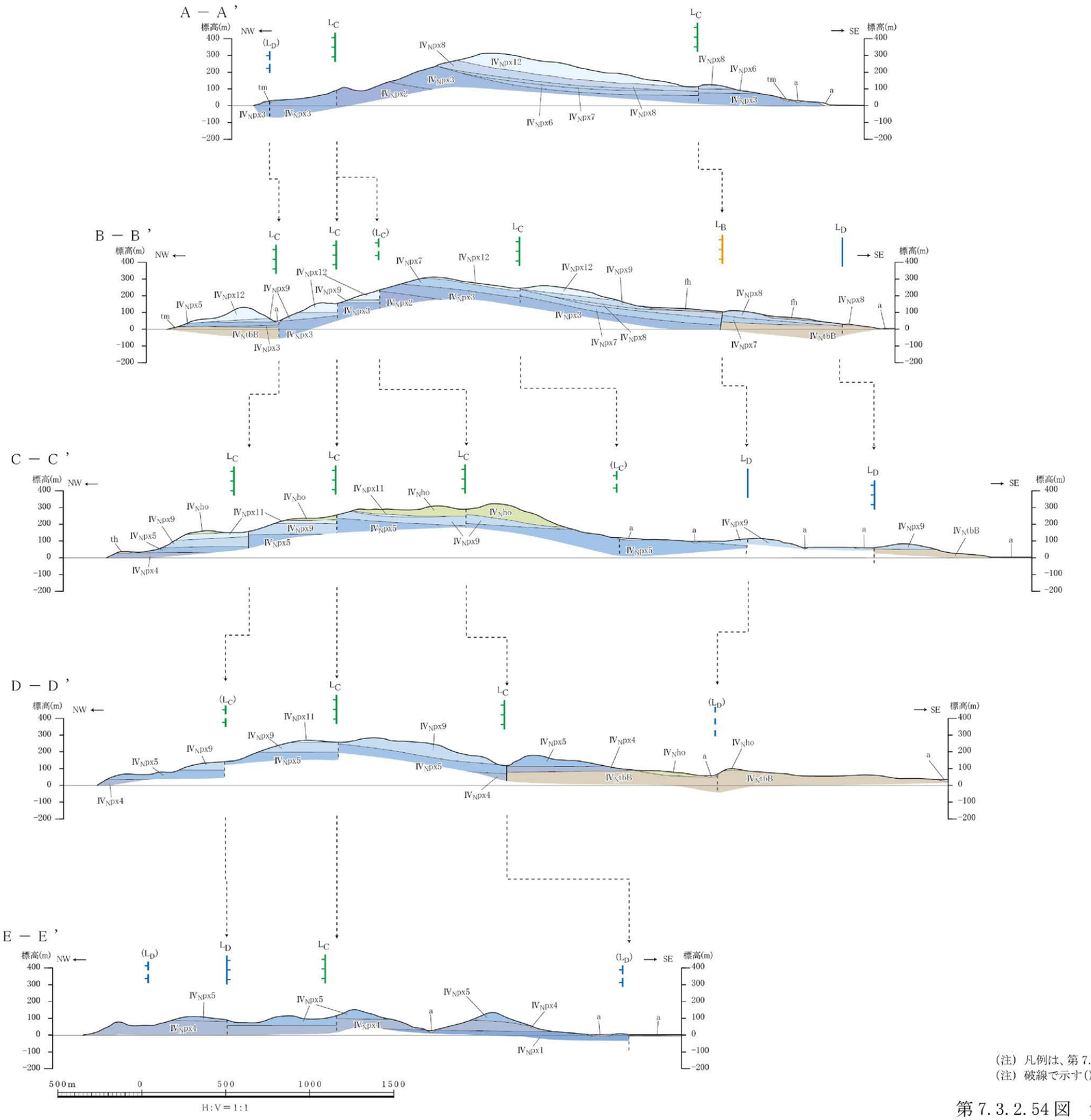
第 7.3.2.51 図(2)　露頭スケッチ（Loc.Ng-2，長島町山門野下）



第 7.3.2.52 図　笠山周辺断層群周辺の空中写真判読図

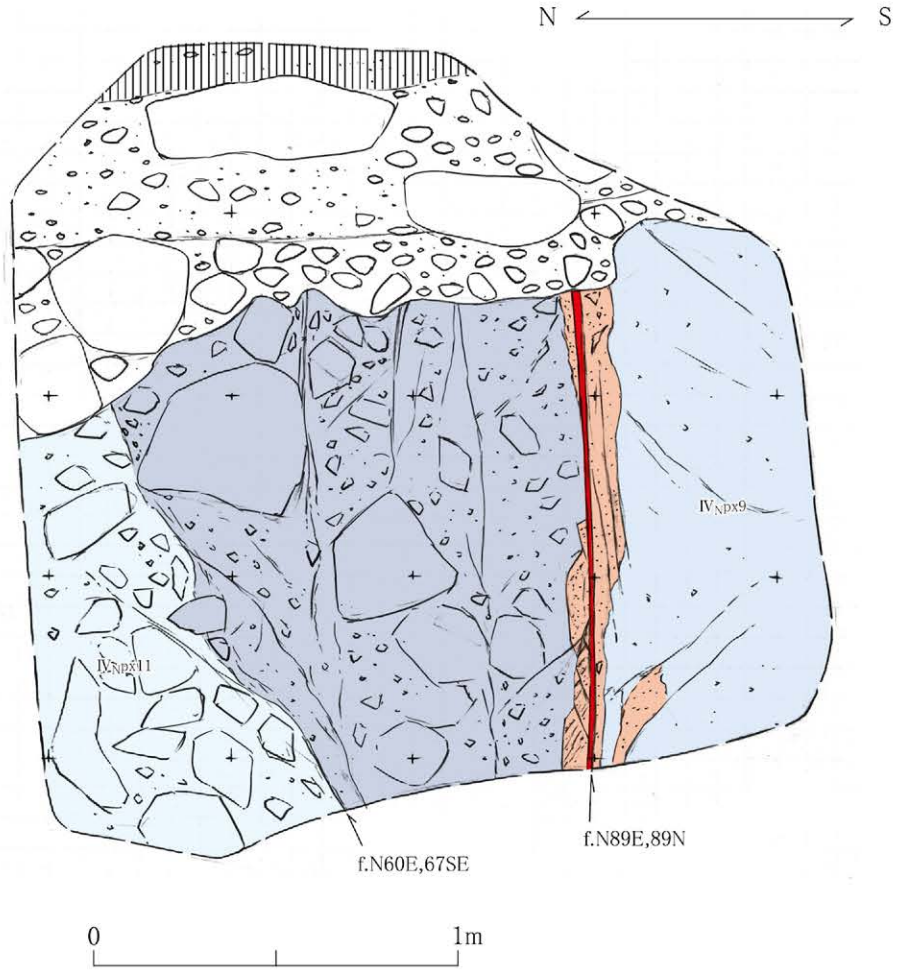


第 7.3.2.53 図　笠山周辺断層群周辺の地質図



（注）凡例は、第 7.3.2.53 図を参照。
（注）破線で示す（）付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

第 7.3.2.54 図　笠山周辺断層群周辺の地質断面図



北側の輝石安山岩溶岩11(長島火山岩類Ⅳ)と南側の輝石安山岩溶岩9(同火山岩類)とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり，5mm～1cm程度の軟質粘土が認められ，断層面上には鉛直方向の条線が明瞭である。

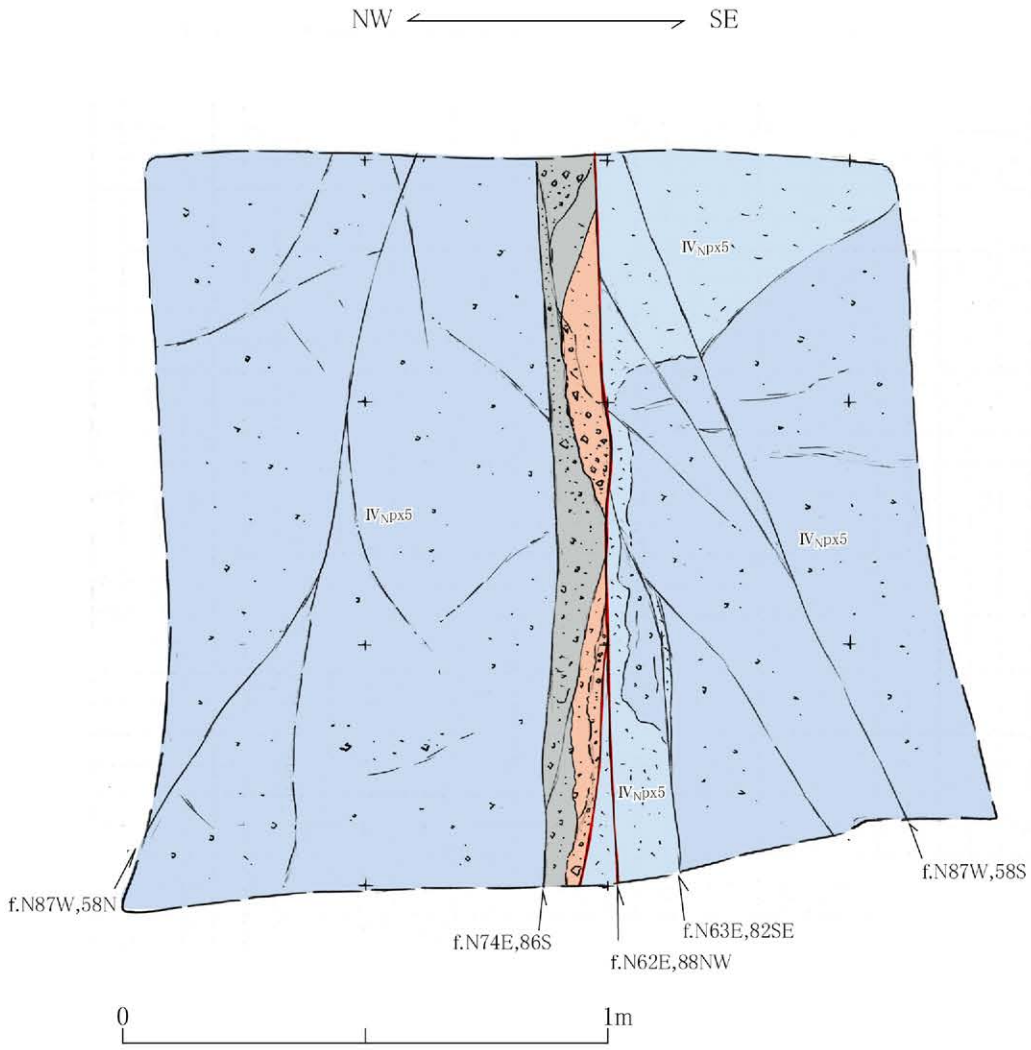
凡 例

- 礫混じり茶褐色土壌
- 角礫層
- 自破砕溶岩 } 輝石安山岩溶岩11
- 溶岩弱変質部
- 塊状溶岩 } 輝石安山岩溶岩9
- 含細角礫粘土質砂状破砕部
- 軟質粘土

} 長島火山岩類Ⅳ

f.N89E,89N 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.55 図(1)　露頭スケッチ（Loc. Ky-1，阿久根市笠山北西）

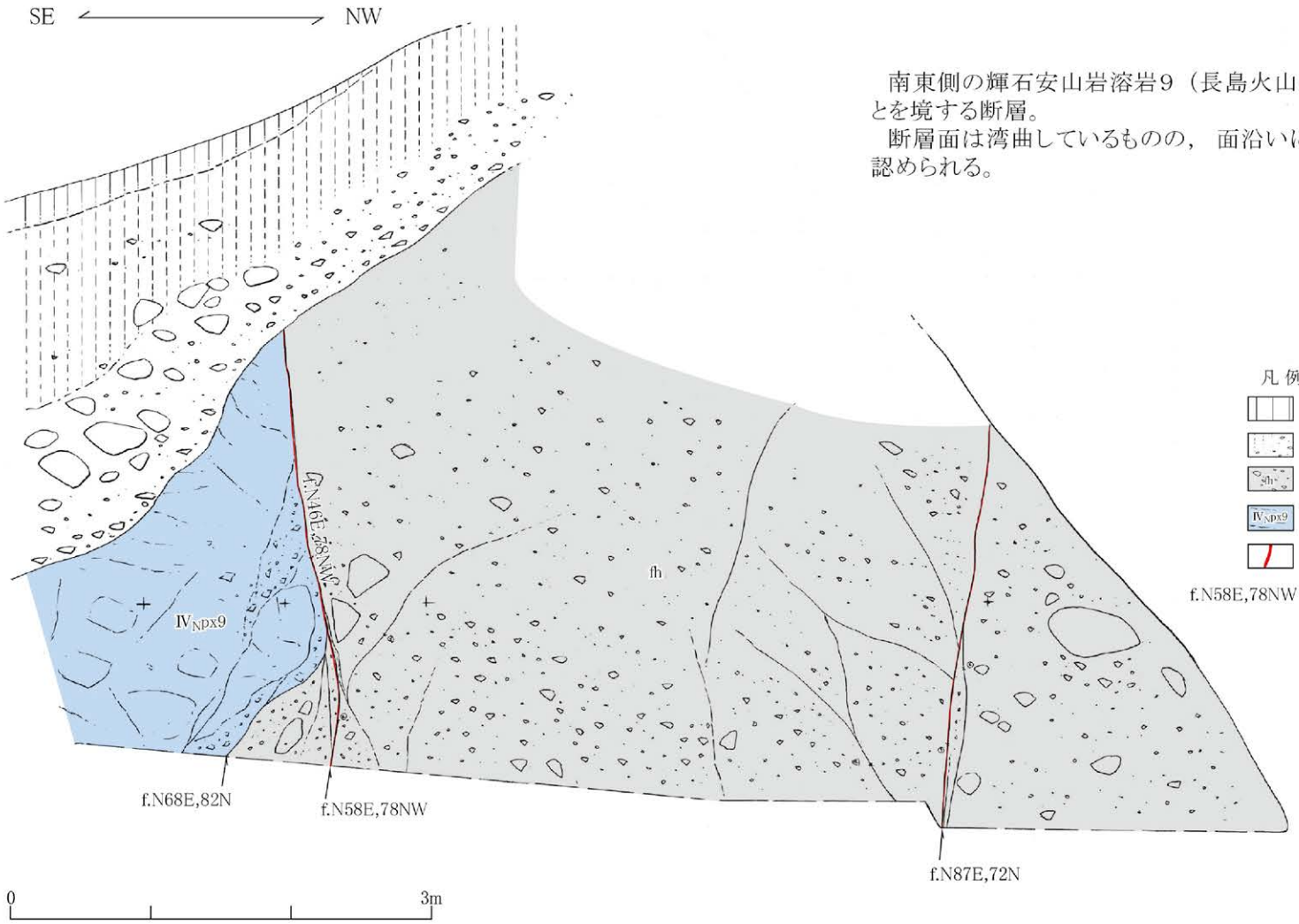


輝石安山岩溶岩5（長島火山岩類Ⅳ）中の高角度断層。
断層面は平面的であり，幅1mm程度の軟質粘土が認められる。

凡 例

- $IV_{N}px5$ 塊状溶岩
- $IV_{N}px5$ 黄褐色～赤褐色変質部
  } 輝石安山岩溶岩5｝長島火山岩類Ⅳ
- 角礫破砕部
- 粘土質細角礫破砕部
- 軟質粘土
- f.N62E,88NW 断層面の走向・傾斜

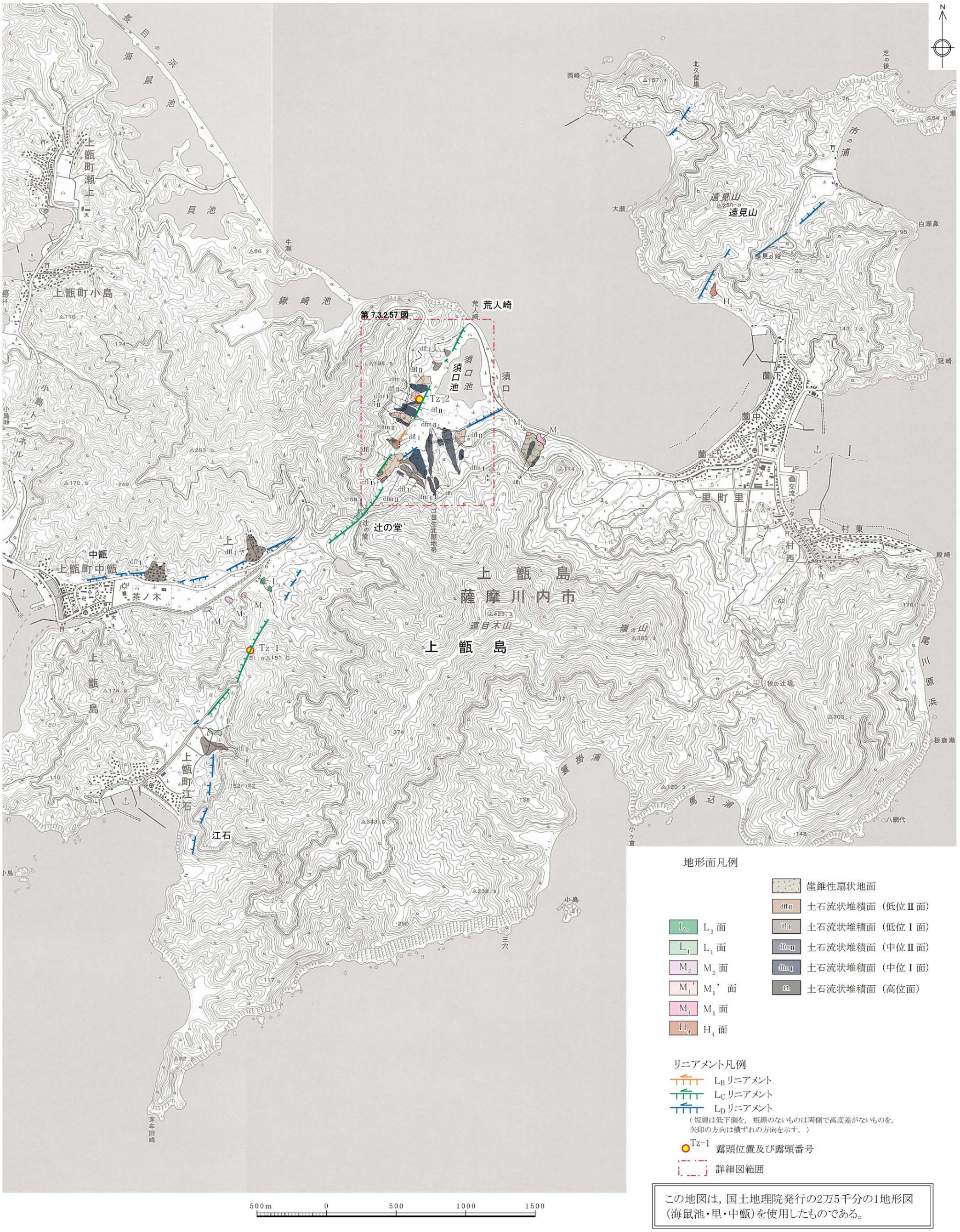
第 7.3.2.55 図(2)　露頭スケッチ（Loc.Ky-2，阿久根市笠山南方）



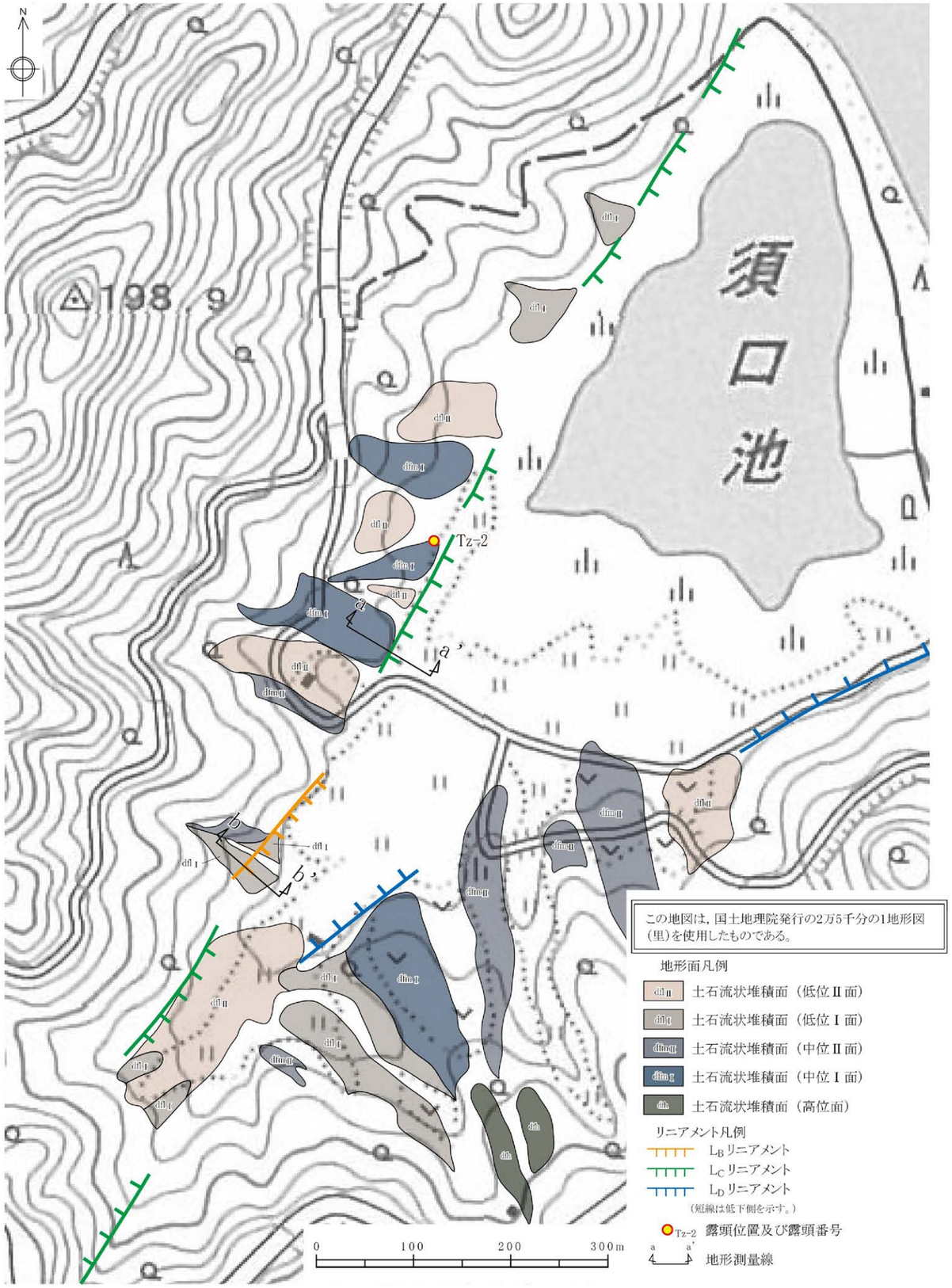
南東側の輝石安山岩溶岩9（長島火山岩類Ⅳ）と古期扇状地堆積物とを境する断層。
断層面は湾曲しているものの，面沿いに幅 1mm 程度の軟質粘土が認められる。

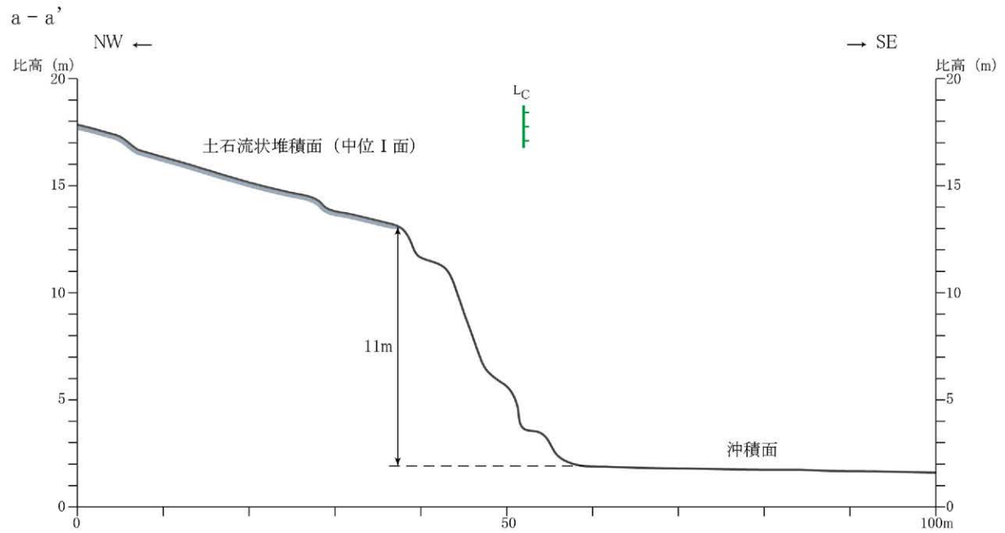
凡例
- 茶褐色土壌
- 角礫混じり土壌
- 巨礫層 } 古期扇状地堆積物
- IVNpx9 輝石安山岩溶岩9（自破砕）} 長島火山岩類Ⅳ
- 軟質粘土
- f.N58E,78NW 断層面の走向・傾斜

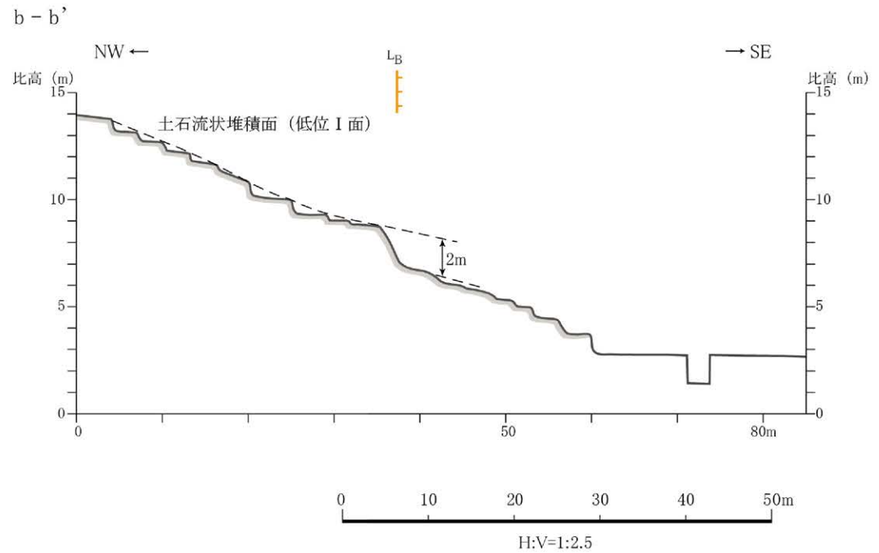
第 7.3.2.55 図(3)　露頭スケッチ（Loc.Ky-3，出水市連尺野）



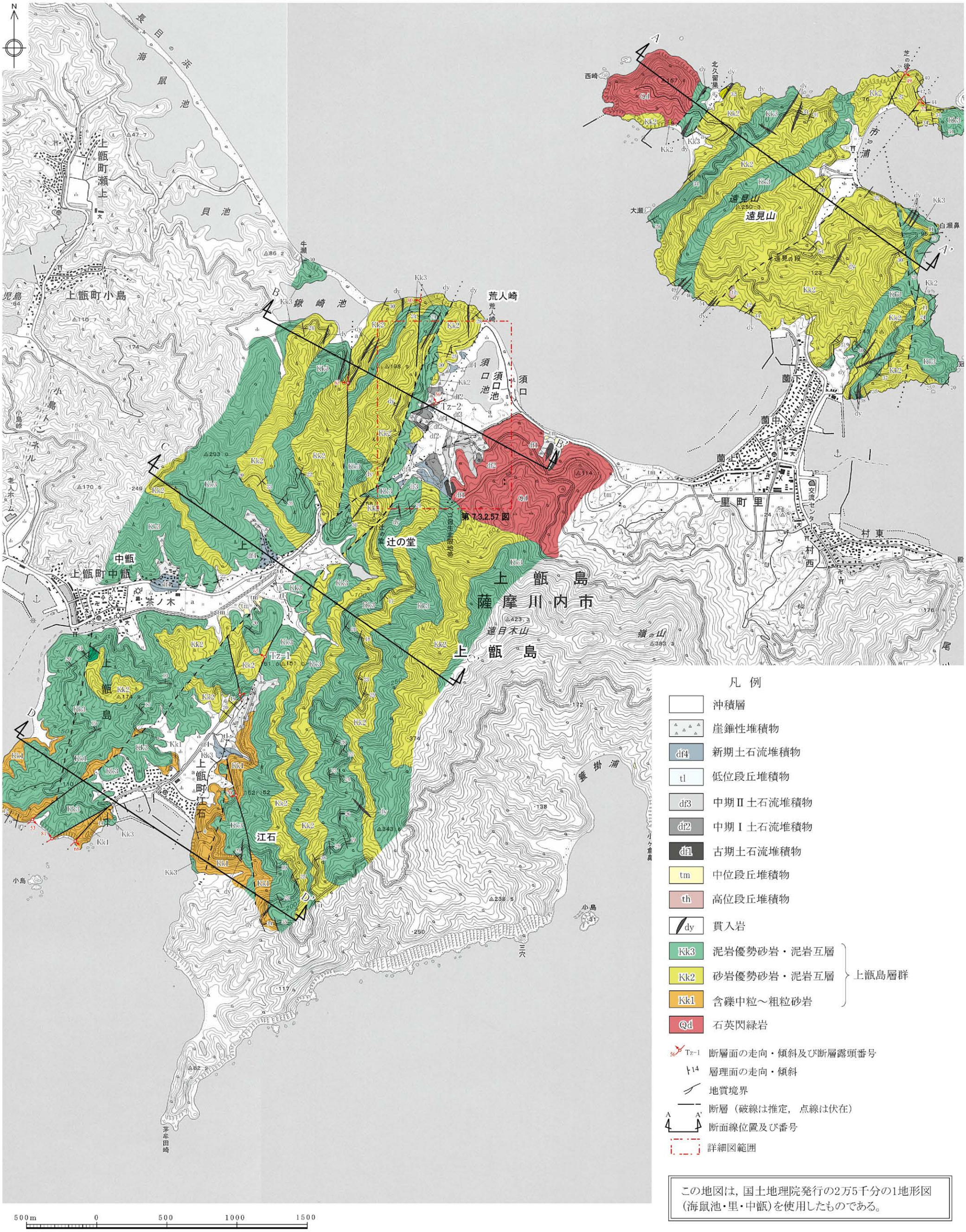
第 7.3.2.56 図　辻の堂断層周辺の空中写真判読図







第 7.3.2.57 図　空中写真判読図・地形断面図（薩摩川内市須口池南西付近）

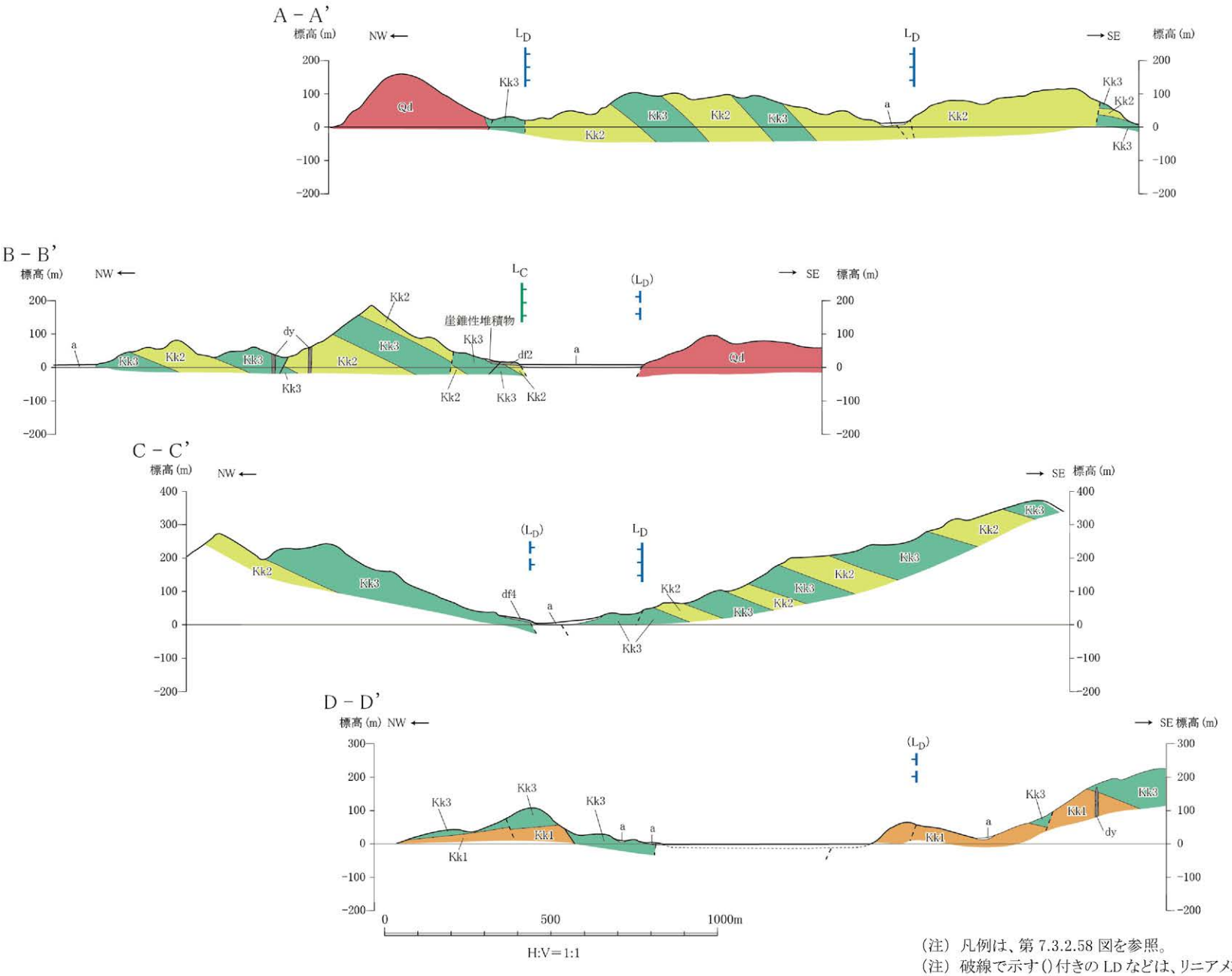


凡 例

- 沖積層
- 崖錐性堆積物 (a)
- 新期土石流堆積物 (df4)
- 低位段丘堆積物 (tl)
- 中期Ⅱ土石流堆積物 (df3)
- 中期Ⅰ土石流堆積物 (df2)
- 古期土石流堆積物 (df1)
- 中位段丘堆積物 (tm)
- 高位段丘堆積物 (th)
- 貫入岩 (dy)
- 上甑島層群
  - 泥岩優勢砂岩・泥岩互層 (Kk3)
  - 砂岩優勢砂岩・泥岩互層 (Kk2)
  - 含礫中粒～粗粒砂岩 (Kk1)
- 石英閃緑岩 (Qd)
- Tz-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 14 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層（破線は推定，点線は伏在）
- A A' 断面線位置及び番号
- 詳細図範囲

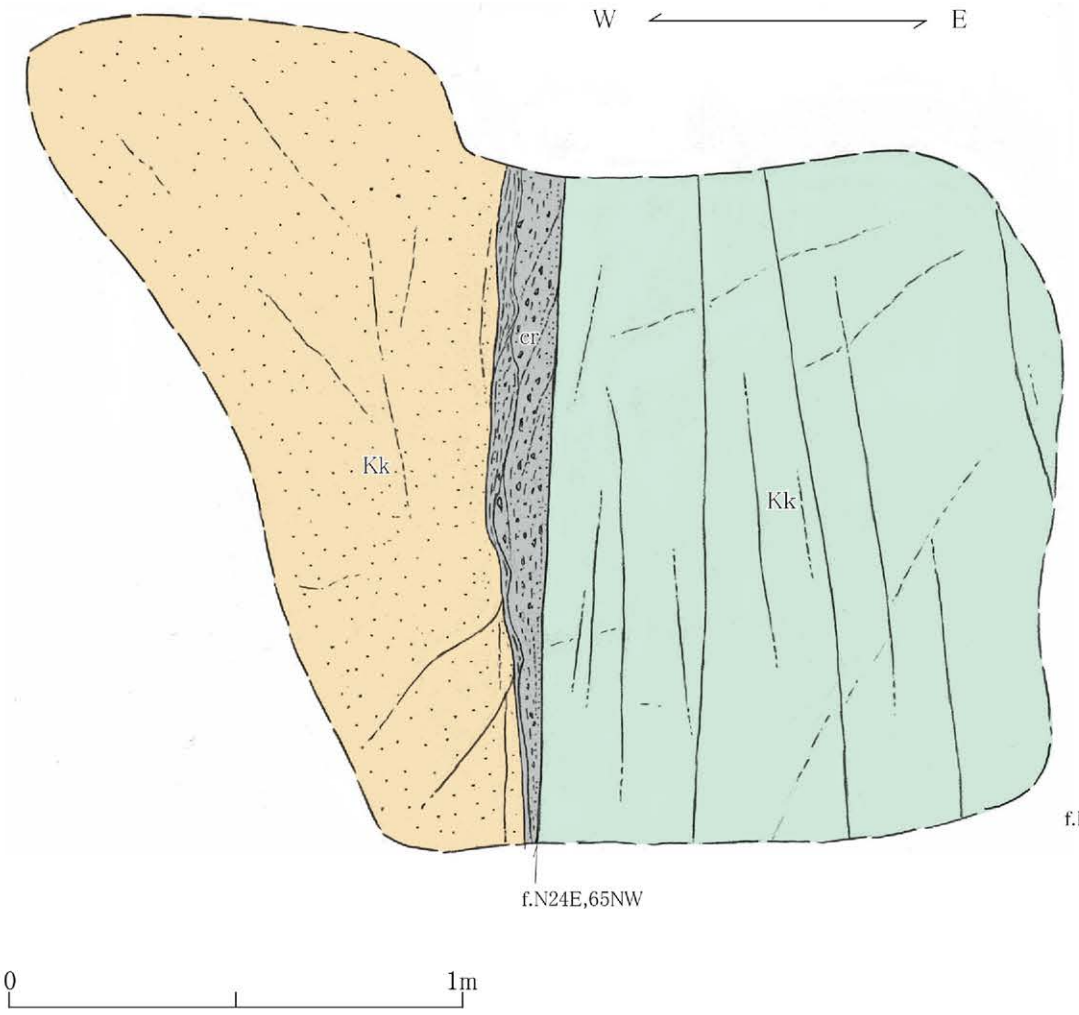
この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図（海鼠池・里・中甑）を使用したものである。

第 7.3.2.58 図　辻の堂断層周辺の地質図



（注）凡例は、第 7.3.2.58 図を参照。
（注）破線で示す（）付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

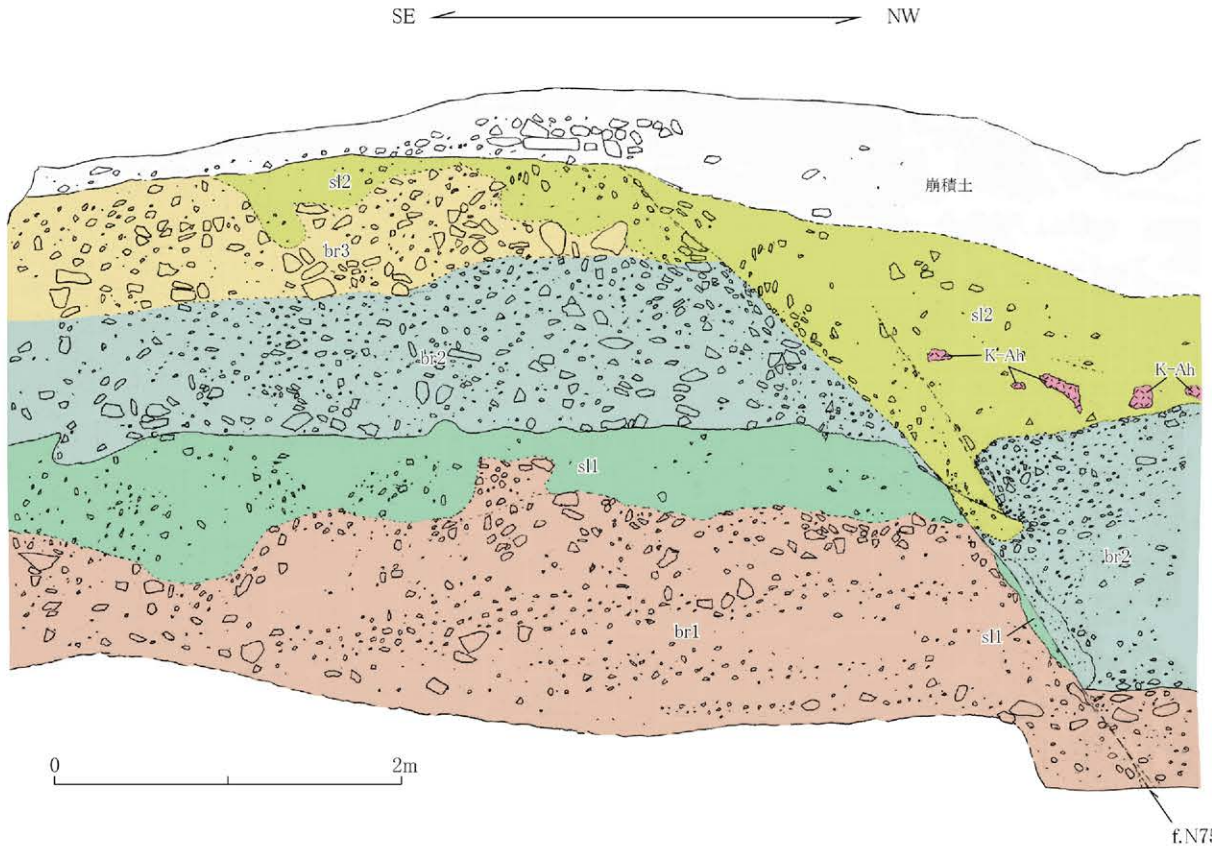
第 7.3.2.59 図　辻の堂断層周辺の地質断面図



西側の上甑島層群中粒～粗粒砂岩と東側の同層群赤褐色塊状泥岩とを境する断層。
断層面は平面的であり，断層面西側には幅数cm～10cm程度の角礫破砕部が分布するものの，破砕部は固結し，断層面とも癒着している。

凡 例
Kk 赤褐色塊状泥岩
Kk 中粒～粗粒砂岩
} 上甑島層群
cr 角礫破砕部
f.N24E,65NW 断層面の走向・傾斜

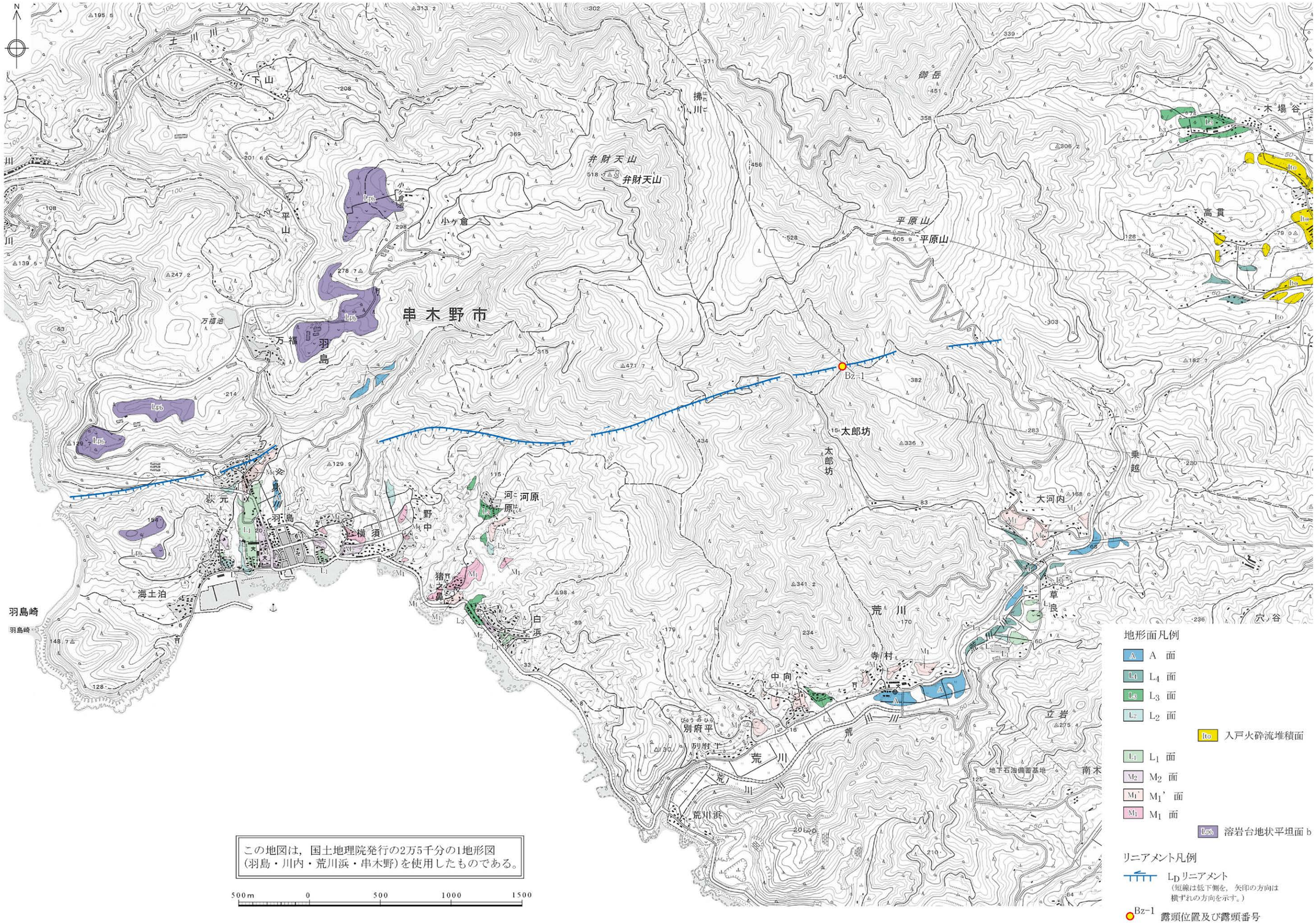
第 7.3.2.60 図(1)　露頭スケッチ（Loc. Tz-1，薩摩川内市江石北方）



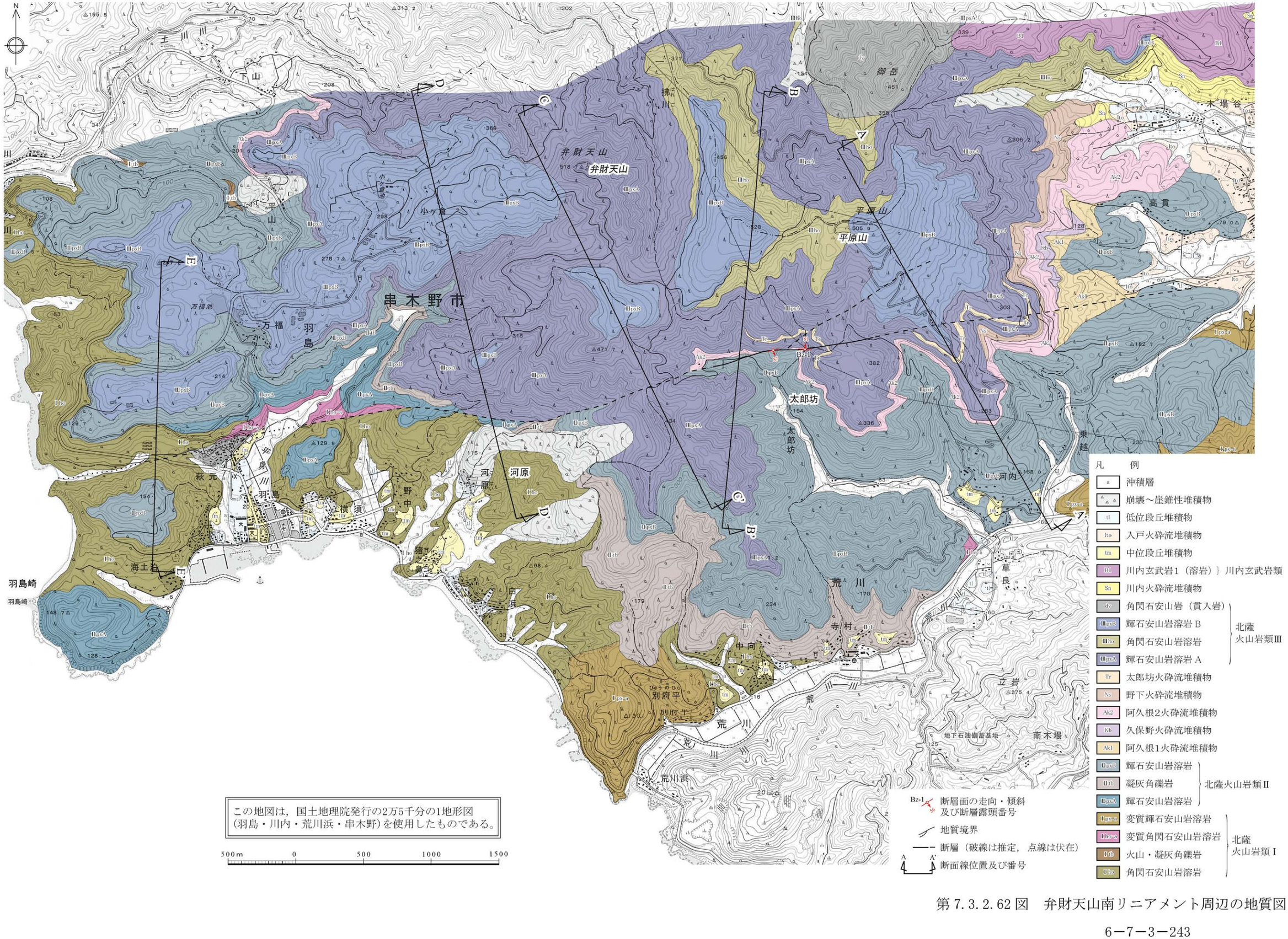
中期Ｉ土石流堆積物中の正断層。
断層は上位の新期土石流堆積物基底面に鉛直約 1m 程度の変位を与えており，新期土石流堆積物中に鬼界アカホヤテフラが挟在する。

凡　例
- sl2 角礫混じり暗褐色ローム質シルト層
- K-Ah 鬼界アカホヤテフラ
- br3 ローム質角礫層
- 新期土石流堆積物
- br2 角礫層
- sl1 角礫混じり灰色シルト層
- br1 シルト質角礫層
- 中期Ｉ土石流堆積物
- f.N75E,56N 断層面の走向・傾斜

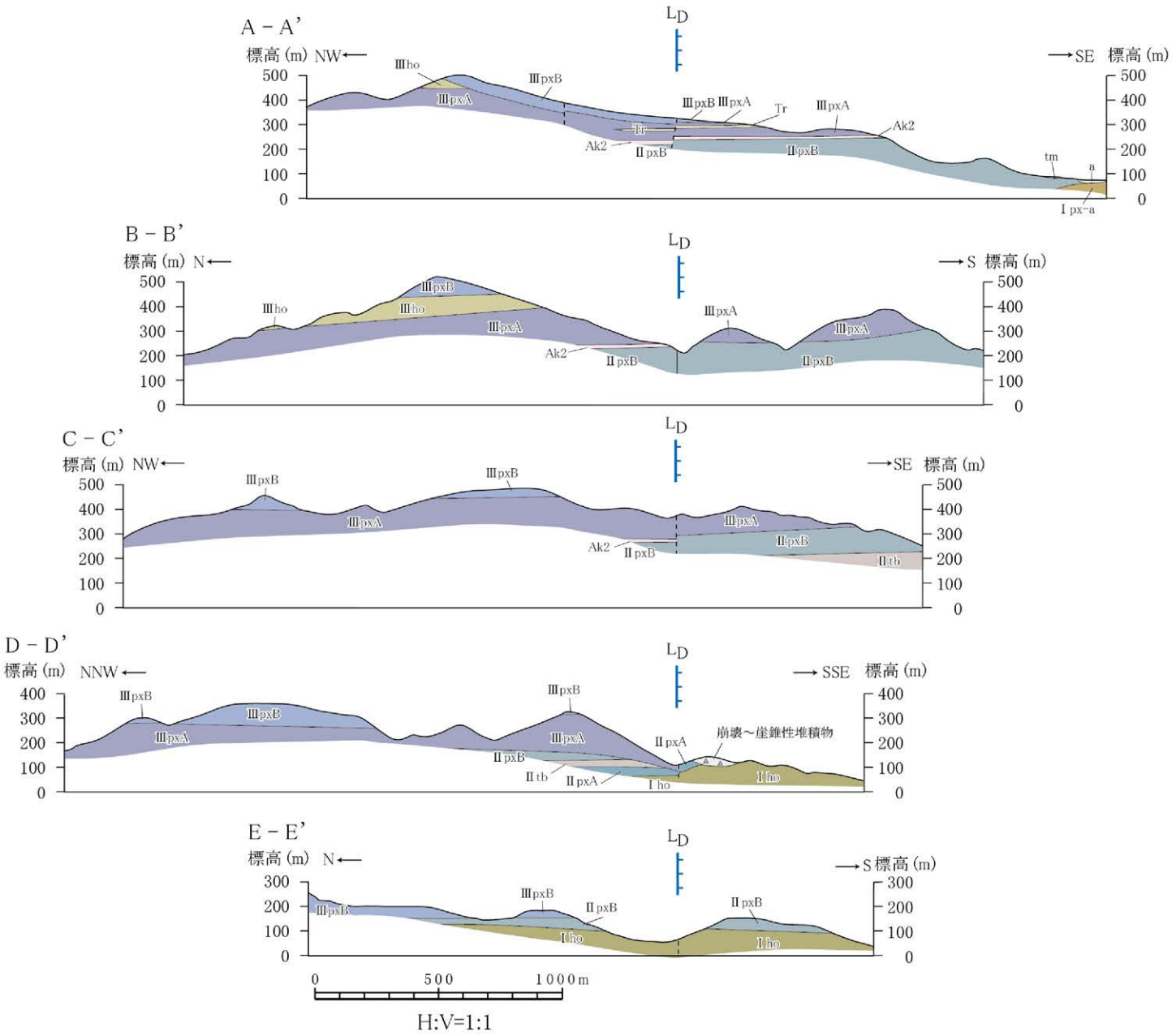
第 7.3.2.60 図(2)　露頭スケッチ（Loc.Tz-2，薩摩川内市須口池南西）



第 7.3.2.61 図　弁財天山南リニアメント周辺の空中写真判読図



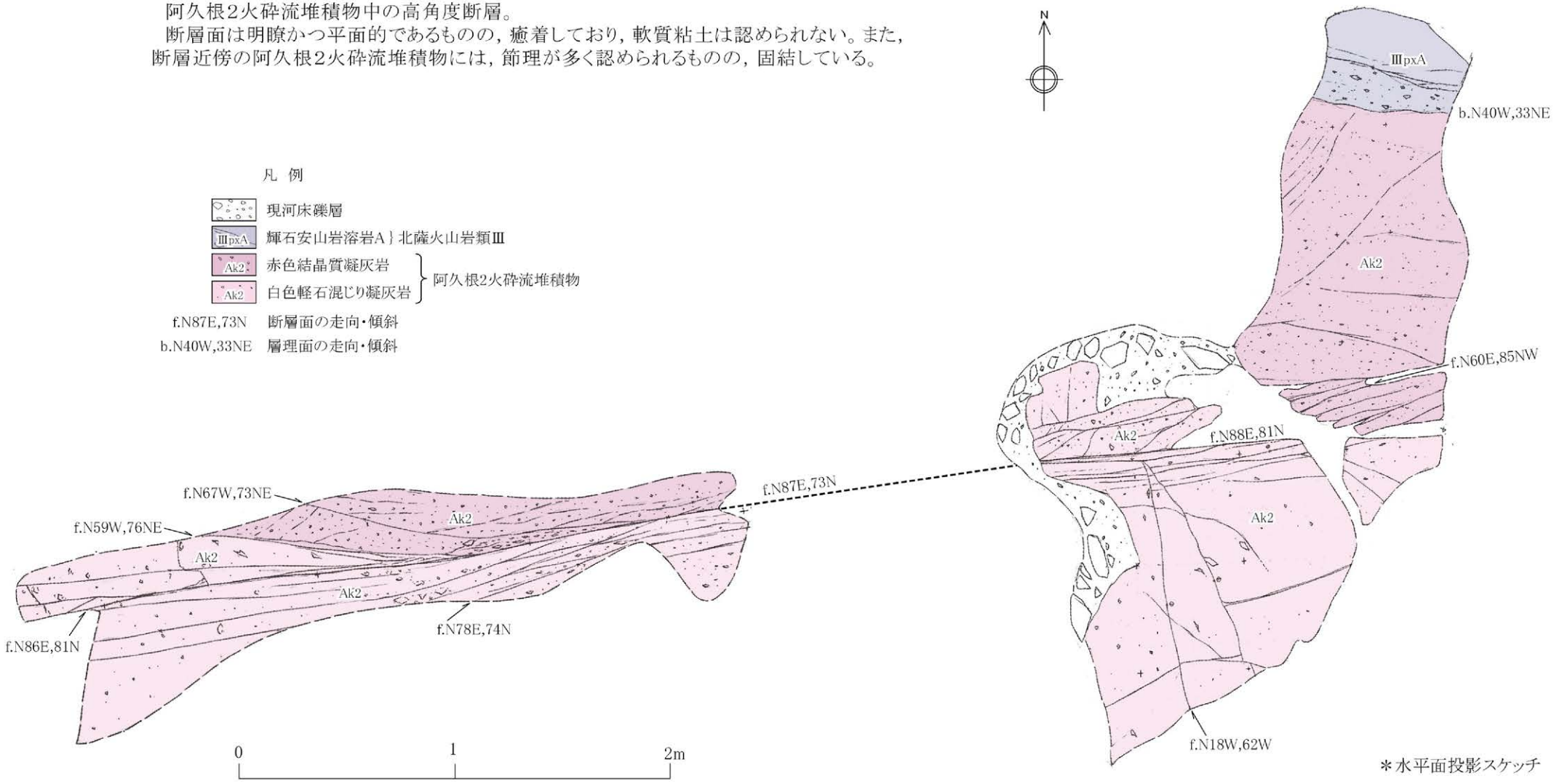
第 7.3.2.62 図　弁財天山南リニアメント周辺の地質図



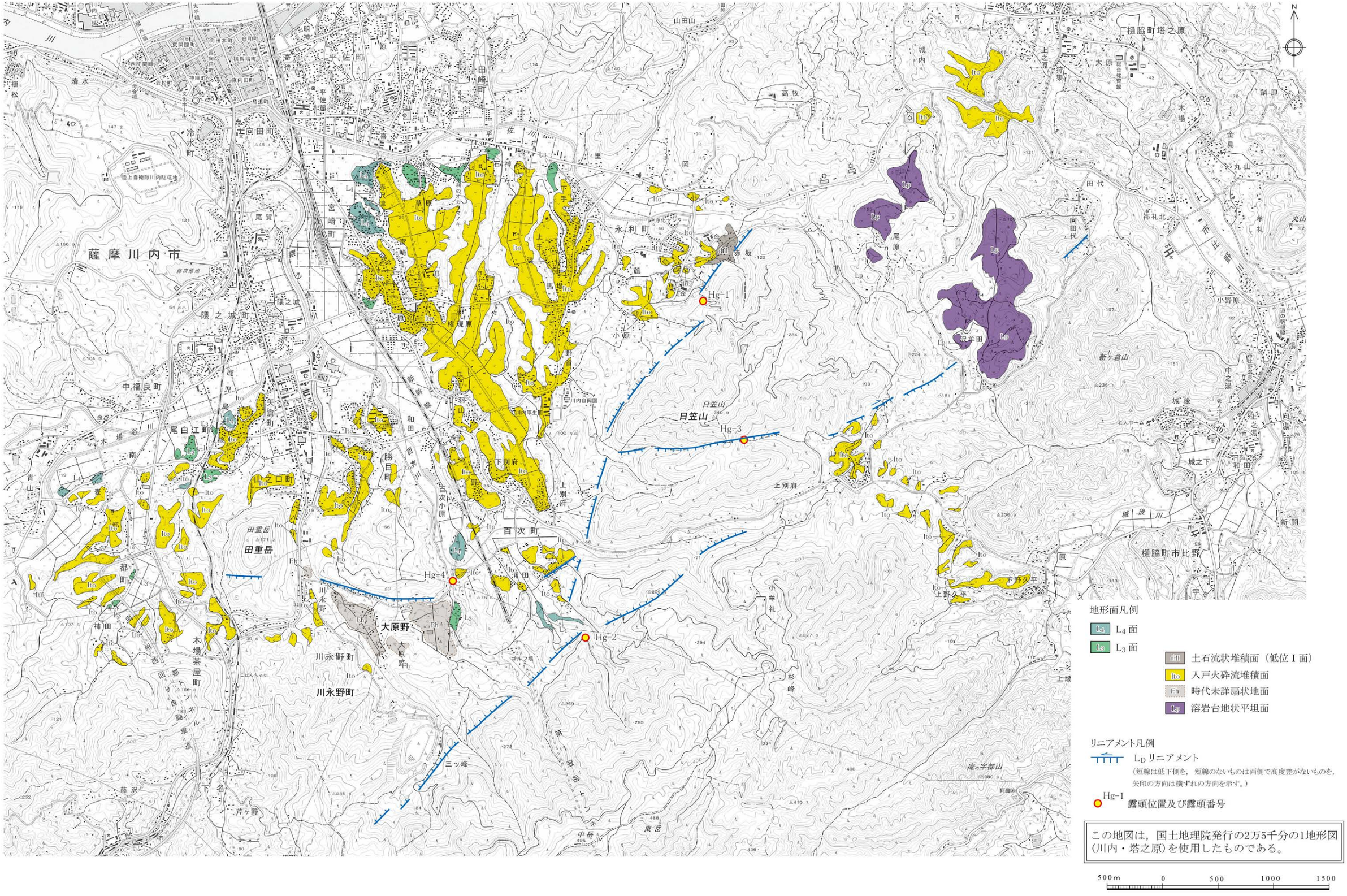
（注）凡例は、第 7.3.2.62 図を参照。

第 7.3.2.63 図　弁財天山南リニアメント周辺の地質断面図

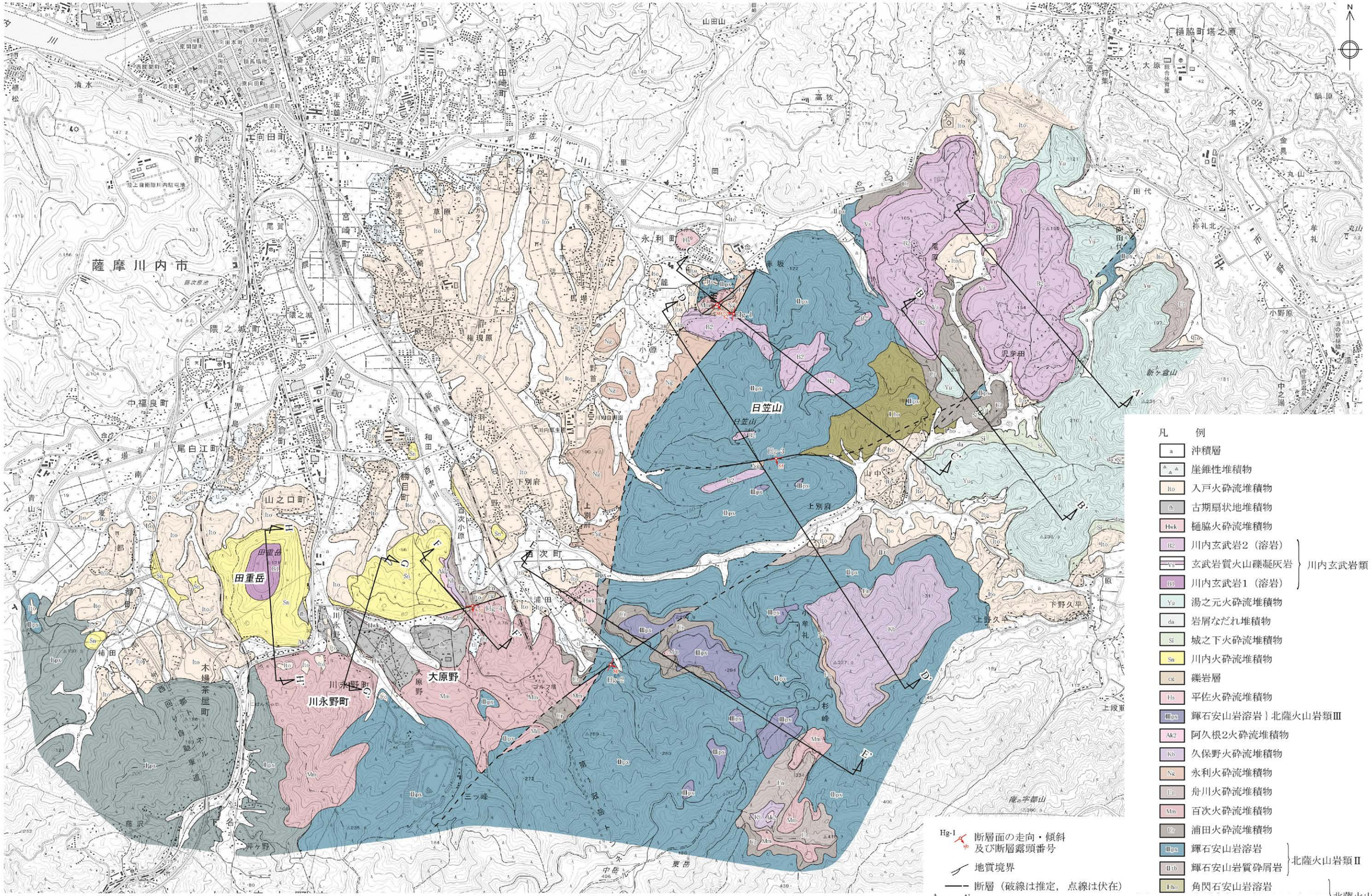
阿久根2火砕流堆積物中の高角度断層。
断層面は明瞭かつ平面的であるものの，癒着しており，軟質粘土は認められない。また，断層近傍の阿久根2火砕流堆積物には，節理が多く認められるものの，固結している。



第 7.3.2.64 図　露頭スケッチ（Loc. Bz-1，いちき串木野市太郎坊北方）

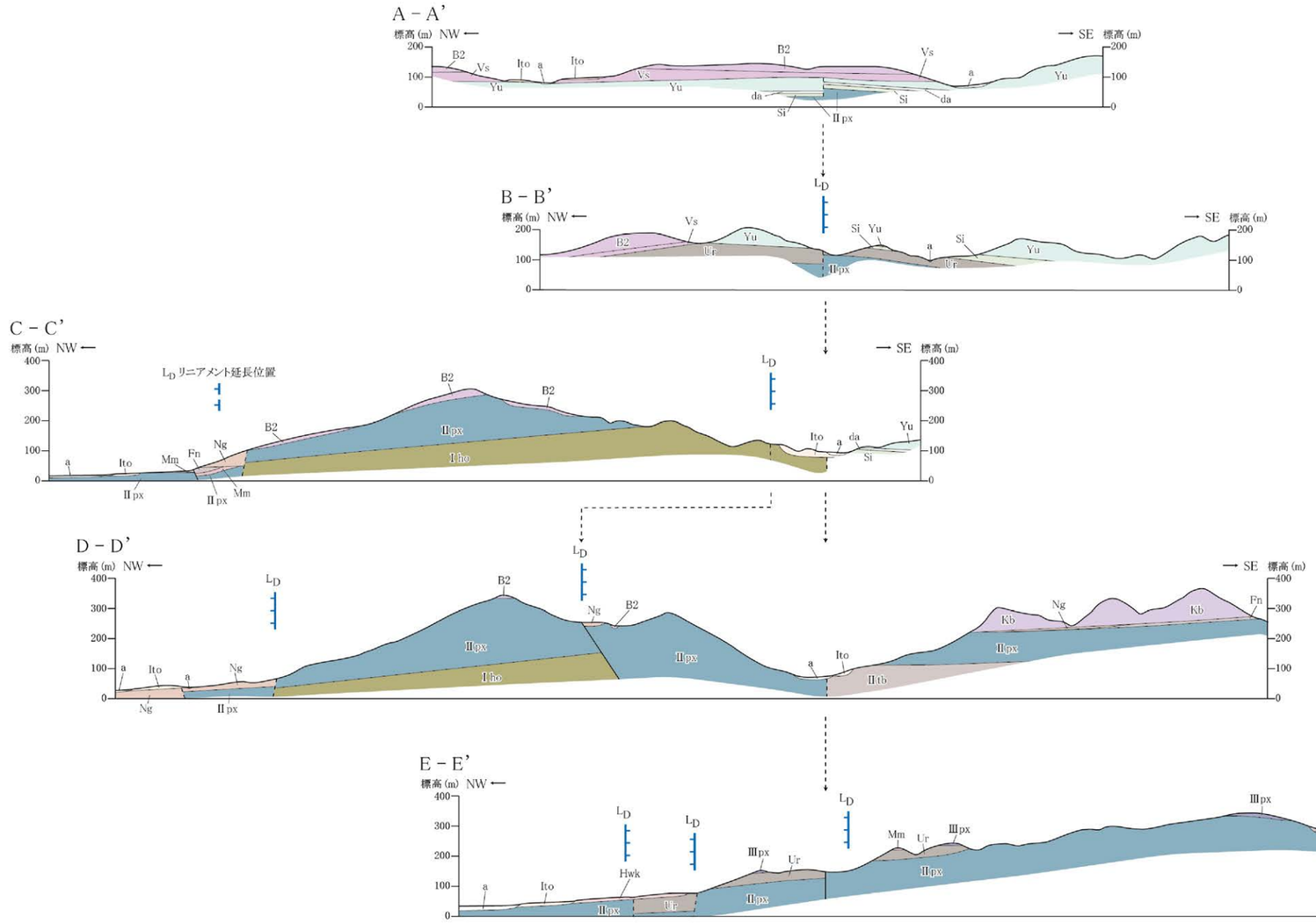


第7.3.2.65図　日笠山リニアメント周辺の空中写真判読図



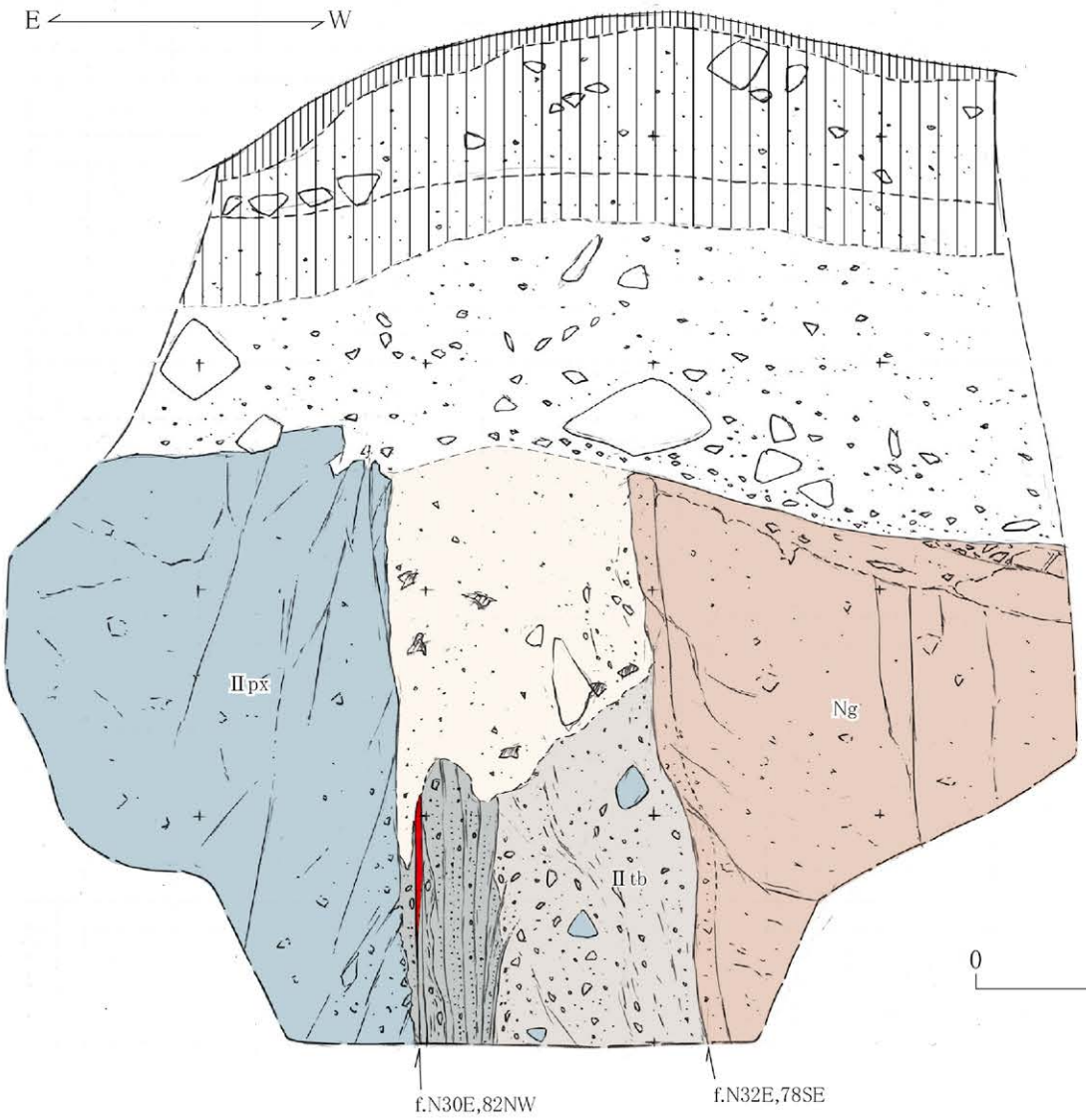
この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(川内・塔之原)を使用したものである。

第 7.3.2.66 図　日笠山リニアメント周辺の地質図



（注）凡例は、第 7.3.2.66 図を参照。

第 7.3.2.67 図　日笠山リニアメント周辺の地質断面図

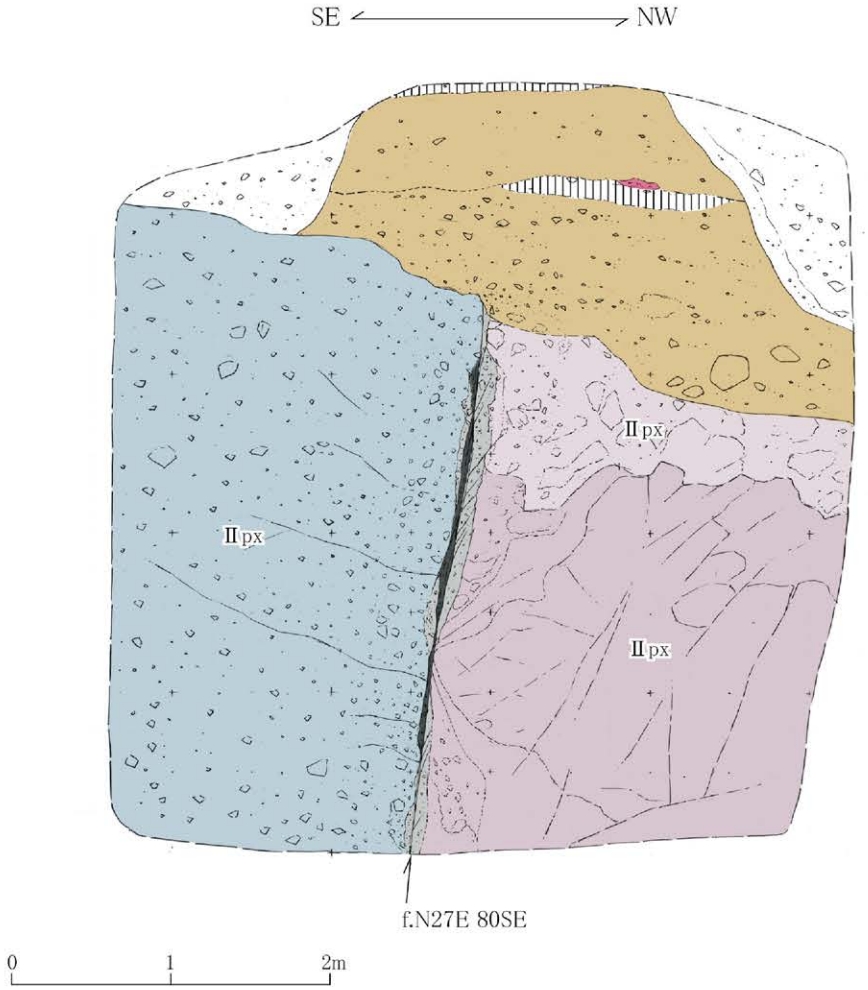


東側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と西側の永利火砕流堆積物とを境する高角度断層。
断層面は平滑であり，露頭上部では軟質な粘土がみられるものの，露頭下部では軟質な粘土は認められず，面も癒着している。断層面の西側に認められる幅25cm程度の角礫状破砕部は固結している。

凡 例
- 黒色土壌
- 腐植質角礫層
- 赤褐色角礫層
- 礫混じりローム層
- Ng 溶結凝灰岩 ｝永利火砕流堆積物
- IItb 凝灰角礫岩 ｝北薩火山岩類Ⅱ
- IIpx 輝石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅱ
- 角礫破砕部
- 軟質粘土
- f.N30E,82NW 断層面の走向・傾斜

0 1m

第 7.3.2.68 図(1)　露頭スケッチ（Loc.Hg-1，薩摩川内市永利町）



南東側の輝石安山岩自破砕溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と北西側の輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅱ）とを境する高角度断層。
断層面は平滑であるが，断層面は癒着しており，破砕部も固結している。

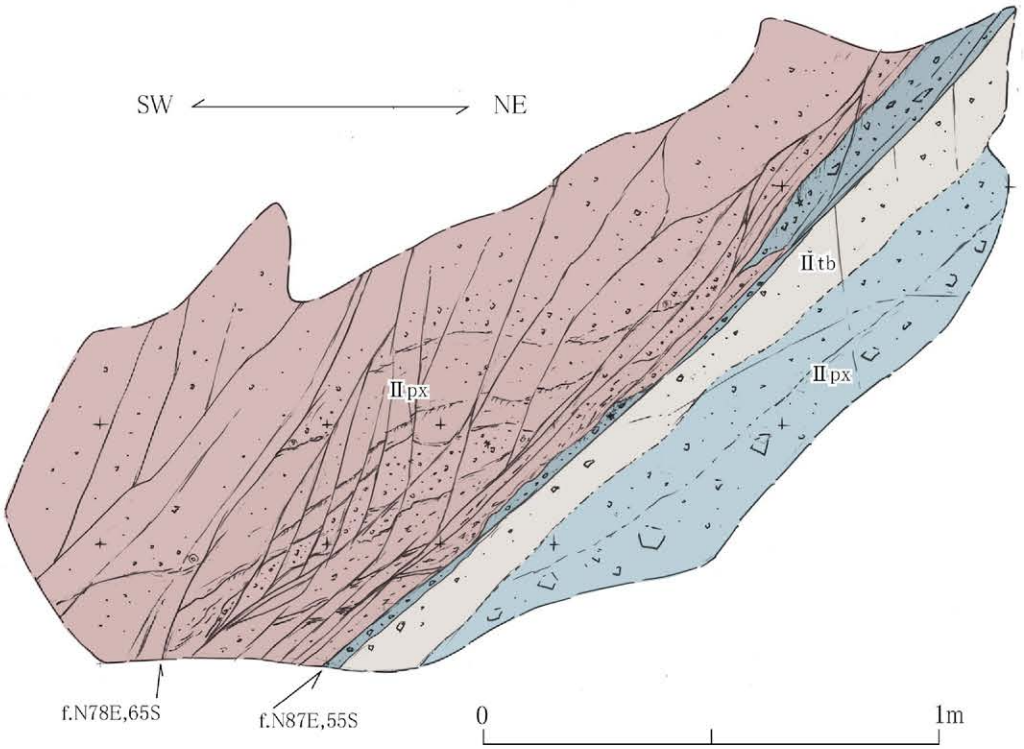
凡例

- 黒色土壌
- 崖錐堆積物
- 黄褐色細礫層
- 鬼界アカホヤテフラ層
- 暗灰色土壌
- ローム質角礫層
- 輝石安山岩溶岩風化部
- 輝石安山岩溶岩
- 輝石安山岩自破砕溶岩
- 角礫破砕部
- 含角礫細粒破砕部

（輝石安山岩溶岩風化部・輝石安山岩溶岩・輝石安山岩自破砕溶岩：北薩火山岩類Ⅱ）

f.N27E 80SE 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.68 図(2)　露頭スケッチ（Loc. Hg-2，薩摩川内市浦田）



南西側の弱変質輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と北東側の凝灰角礫岩（同火山岩類Ⅱ）とを境する正断層。

断層面は平滑であるが，癒着しており，破砕部も固結している。

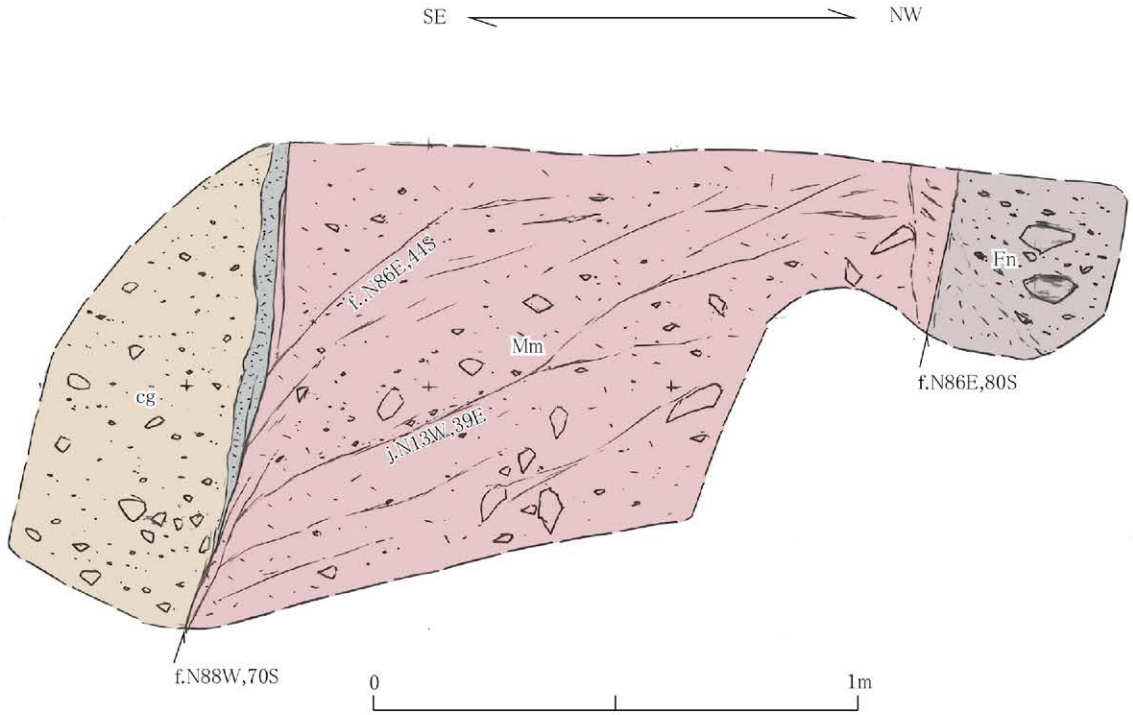
凡 例

- Ⅱpx 弱変質輝石安山岩溶岩
- Ⅱpx 輝石安山岩自破砕溶岩
- Ⅱpx 凝灰角礫岩
- 角礫破砕部

} 北薩火山岩類Ⅱ

f.N87E,55S 断層面の走向・傾斜

第 7.3.2.68 図(3)　露頭スケッチ（Loc. Hg-3，薩摩川内市日笠山南方）



露頭南側に南東側の礫岩層と北西側の百次火砕流堆積物とを境する正断層が，露頭北側に南東側の百次火砕流堆積物と北西側の舟川火砕流堆積物とを境する高角度断層が認められる。

いずれの断層面も湾曲し，癒着しており，破砕部も固結している。

凡例

- 礫岩 } 礫岩層
- スコリア流堆積物 } 舟川火砕流堆積物
- 溶結凝灰岩 } 百次火砕流堆積物
- 細粒破砕部

f.N88W,70S　断層面の走向・傾斜
j.N13W,39E　節理面の走向・傾斜

第 7.3.2.68 図(4)　露頭スケッチ（Loc.Hg-4，薩摩川内市大原野東方）